

平成24年度

水道事業年報

平成24年4月1日～平成25年3月31日

岩国市水道局

目 次

水道事業

	ページ
(Ⅰ) 概 要	
1 水道事業の沿革	1
2 水道事業の歩み	2
3 拡張事業の推移	6
4 平成24年度事業概況	6
5 写真で見る概要	7
(Ⅱ) 施 設	
1 給水区域図	10
2 施設位置図	11
3 主要配水管ルート図	14
4 各施設フロー図	17
5 浄水・送水・配水施設	27
6 配水管	43
7 施設写真	45
(Ⅲ) 業 務	
1 給水普及状況	52
2 配水量	53
3 取水量	56
4 電気使用量	58
5 給水状況	60
6 メーター設置状況	60
7 給水収益	61
8 水道料金早見表	63
9 加入金	64
10 職員構成	64
11 平成24年度建設改良工事	66
(Ⅳ) 財 政	
1 平成24年度財政概況	70
2 平成24年度決算報告書	71
3 年度別収益費用明細書比較	87

	ページ
4 年度別貸借対照表比較	89
5 経営分析	93

工業用水道事業

(I) 概 要

1 工業用水道事業の沿革	101
2 工業用水道事業の歩み	102
3 平成24年度事業概況	103
4 写真で見る概要	103

(II) 施 設

1 各施設及び給水先事業所位置図	106
2 工業用水道施設	107
3 工業用水道管路施設	108
4 施設写真	109

(III) 業 務

1 給水普及状況	111
2 取水量	112
3 配水量	113
4 基本使用(契約)水量	114
5 工業用水道料金	114
6 職員構成	115

(IV) 財 政

1 平成24年度財政概況	117
2 平成24年度決算報告書	118
3 年度別収益費用明細書比較	132
4 年度別貸借対照表比較	134
5 経営分析	138

そ の 他

1 水道局の機構	144
2 職員構成	145
3 事務分掌	149
4 防災関係	154

水 道 事 業

- (I) 概 要
- (II) 施 設
- (III) 業 務
- (IV) 財 政

(I) 概 要

- 1 水道事業の沿革
- 2 水道事業の歩み
- 3 拡張事業の推移
- 4 平成24年度事業概況
- 5 写真で見る概要

1 水道事業の沿革

大正末期、麻里布町は徐々に発展し、町民の保健衛生、消防の観点からも上水道整備の必要性が求められ、昭和14年4月に施設能力3,200m³とする麻里布水道が新設された。

その後、国から旧陸軍燃料廠水道施設の無償譲渡を受け、昭和23年11月から昭和24年4月にかけて、計画給水人口26,000人、計画1日最大給水量7,280m³とする第1次拡張事業を行い、西岩国地区全域、川下地区及び和木村(現和木町)の一部に給水区域を拡大した。

昭和25年3月から昭和36年12月にかけて、第2次拡張事業として牛野谷水源地と錦見浄水場の拡張工事を行い、昭和34年6月には大蔵省(現財務省)から駐留軍専用水道であった川下水源地(日量2,800m³)、第2牛野谷水源地(日量2,800m³)の無償譲渡を受け、計画給水人口49,000人、計画1日最大給水量33,000m³とし、川下地区・門前川以南地区を給水区域に加えた。

さらに、昭和41年から昭和48年にかけて計画給水人口115,000人、計画1日最大給水量63,000m³とする第3次拡張事業を行い、市内全域にわたる配水システムの整備拡充強化を図り、新たに平田地区の一部を給水区域とした。

しかし、昭和49年以降、海岸部一帯の地下水の塩水化現象が進行したため、牛野谷系統(川下牛野谷第1、牛野谷第2)における地下水の取水を廃止した。そして、水源を錦川の表流水のみとし、昭和53年から昭和58年にかけて、計画給水人口112,000人、計画1日最大給水量95,000m³とした第4次拡張事業を行った。

その後、社会的に節水意識が高まり、水需要が漸減傾向にあったことから、水需要予測の見直しを行い、さらに平成10年6月に一日最大取水量79,640m³とする水利権の許可を受けたことから、給水区域拡大事業として通津地区、藤河・御庄地区への給水を計画することとなり、平成13年9月に計画給水人口110,000人、計画1日最大給水量73,000m³とする事業変更認可を受けた通津地区においては平成17年度に給水区域拡大を完了し、藤河・御庄地区においては平成21年度から事業を開始し、平成25年度に完了予定である。

平成18年3月20日には市町村合併に伴い、旧岩国市、旧由宇町(計画給水人口8,800人、計画1日最大給水量5,600m³)旧玖珂町(計画給水人口11,000人、計画1日最大給水量4,280m³)の上水道事業を統合し、そして、平成23年3月には、簡易水道事業統合計画を主とする第二次給水区域拡大の事業変更認可を受け、計画給水人口122,200人、計画1日最大給水量65,300m³となった。

この簡易水道事業統合計画に従って、平成23年4月には小瀬及び阿品簡易水道を、平成24年4月には高森南簡易水道を上水道に統合した。

2 水道事業の歩み

年 月	事 項
昭和 11 年 1 月	麻里布町議会上水道計画案について審議
昭和 11 年 3 月	麻里布町議会上水道予算案調査費可決
昭和 11 年 8 月	麻里布町議会上水道設置可決
昭和 11 年 8 月	麻里布町水道認可申請・国庫補助申請・県費補助申請
昭和 12 年 3 月	起債認可
昭和 12 年 5 月	麻里布町水道課新設
昭和 12 年 6 月	水道工事実施設計申請
昭和 12 年 7 月	水道工事実施設計認可
昭和 12 年 7 月	麻里布町上水道起工式
昭和 12 年 9 月	麻里布町上水道起工
昭和 13 年 6 月	水道使用条例制定
昭和 13 年 9 月	起債変更許可申請
昭和 14 年 1 月	麻里布町水道課事務所建設が決定(今津1168番地)
昭和 14 年 3 月	竣工期限延期申請
昭和 14 年 4 月	麻里布町上水道通水式挙行
昭和 14 年 5 月	水道料金設定申請
昭和 14 年 6 月	水道料金設定許可
昭和 14 年 7 月	錦川分水問題について関係町村長山口県知事に反対陳情
昭和 14 年 8 月	麻里布町水道課事務所が完成し移転(今津1168番地)
昭和 14 年 9 月	麻里布町上水道完成
昭和 15 年 3 月	陸軍燃料廠給水開始議決
昭和 15 年 4 月	岩国市制施行
昭和 15 年 7 月	岩国海軍航空隊開設通水
昭和 15 年 8 月	陸軍燃料廠給水開始
昭和 16 年 3 月	向道ダム完成
昭和 16 年 4 月	陸軍燃料廠岩国工場地(現錦見浄水場)起工
昭和 17 年 3 月	和木村(現和木町)陸軍燃料廠宿舎へ給水のため、区域外給水を提案可決
昭和 17 年 3 月	区域外給水認可申請
昭和 20 年 8 月	岩国駅を中心に付近一帯被爆し配水管の被害を受ける
昭和 20 年 11 月	料金改定
昭和 21 年 1 月	旧陸軍燃料廠水道施設(現錦見浄水場)譲渡申請
昭和 21 年 4 月	料金改定
昭和 21 年 7 月	料金改定
昭和 22 年 3 月	料金改定
昭和 22 年 7 月	旧陸軍燃料廠水道施設一時使用申請
昭和 22 年 8 月	料金改定
昭和 22 年 9 月	市議会協議会に第1次拡張計画を説明
昭和 23 年 6 月	料金改定
昭和 23 年 7 月	第1次拡張計画可決
昭和 23 年 7 月	第1次拡張工事認可申請
昭和 23 年 9 月	第1次拡張工事認可
昭和 23 年 10 月	料金改定
昭和 23 年 11 月	第1次拡張工事起工
昭和 24 年 2 月	第1次拡張工事起工式
昭和 24 年 3 月	旧陸軍燃料廠水道施設譲渡許可
昭和 24 年 4 月	第1次拡張工事完成
昭和 24 年 5 月	第2次拡張計画可決
昭和 24 年 5 月	第2次拡張工事認可申請
昭和 24 年 8 月	料金改定
昭和 24 年 12 月	第2次拡張工事認可
昭和 25 年 9 月	キジヤ台風により錦帯橋流出

年 月	事 項
昭和 27 年 8 月	地方公営企業法施行
昭和 28 年 1 月	錦帯橋再建完成渡り初め
昭和 29 年 2 月	公営企業組織条例制定
昭和 29 年 2 月	指定工事店5店を指定
昭和 29 年 4 月	公営企業局発足(岩国市公営企業局水道課となる)
昭和 29 年 4 月	第2次拡張事業第1回設計変更工事認可申請
昭和 29 年 6 月	第2次拡張事業第1回設計変更工事申請認可
昭和 30 年 4 月	周辺7か村と合併
昭和 30 年 8 月	公営企業局庁舎移転(錦見136番地)
昭和 30 年 9 月	料金改定
昭和 31 年 9 月	第2次拡張事業第2回設計変更工事認可申請
昭和 31 年 10 月	米軍岩国基地給水開始
昭和 31 年 12 月	第2次拡張事業第2回設計変更工事申請認可
昭和 32 年 6 月	水道法制定
昭和 32 年 8 月	第2次拡張事業第3回設計変更工事認可申請
昭和 32 年 9 月	水道局発足
昭和 32 年 10 月	第2次拡張事業第3回設計変更工事申請認可
昭和 34 年 6 月	基地給水施設(第2牛野谷水源地、川下水源地)貸し付けを受ける
昭和 34 年 7 月	市庁舎完成
昭和 34 年 8 月	水道局庁舎移転(市庁舎西隣)
昭和 35 年 4 月	水道局庁舎移転(今津町六丁目2番23号)
昭和 35 年 11 月	岩日線(現錦川鉄道)開通
昭和 35 年 12 月	和木村(現和木町)拡張工事完成
昭和 36 年 6 月	和木町内水道料金徴収事務委託
昭和 36 年 12 月	第2次拡張事業完成
昭和 37 年 4 月	水道料金計算事務加算機付きタイプライター導入
昭和 37 年 6 月	菅野ダム建設に関する協定締結
昭和 38 年 6 月	第2牛野谷水源地、川下水源地譲渡を受ける
昭和 41 年 1 月	第3次拡張事業認可申請
昭和 41 年 2 月	第3次拡張事業認可
昭和 41 年 3 月	菅野ダム完成
昭和 41 年 12 月	第3次拡張事業起工
昭和 42 年 4 月	料金改定
昭和 45 年 10 月	水道料金徴収事務電子作表計算機導入
昭和 46 年 3 月	第1、第2牛野谷水源地を統合
昭和 46 年 4 月	隔月検針の実施
昭和 47 年 3 月	錦見浄水場管理棟完成
昭和 47 年 10 月	水道料金徴収口座制導入
昭和 48 年 4 月	料金改定
昭和 48 年 6 月	現水道局庁舎完成(山手町四丁目4番14号)
昭和 49 年 3 月	第3次拡張事業完成今津浄水場及び前川原水源地廃止
昭和 49 年 10 月	川下水源地取水中止
昭和 50 年 2 月	初めて配水管更生工事施工
昭和 50 年 7 月	水道料金集金制廃止
昭和 51 年 2 月	料金改定
昭和 51 年 4 月	水道料金予納金制度廃止
昭和 51 年 12 月	今津浄水場水利権を錦見浄水場に変更
昭和 52 年 6 月	配水管整備事業起工(昭和52~57年度)
昭和 52 年 12 月	第4次拡張事業認可申請
昭和 53 年 2 月	年次計画による漏水調査開始
昭和 53 年 3 月	第4次拡張事業認可

年 月	事 項
昭和 53 年 4 月	第4次拡張事業起工
昭和 53 年 6 月	水道料金徴収事務コンピューター導入
昭和 54 年 3 月	愛宕水管橋完成
昭和 56 年 2 月	料金改定
昭和 58 年 10 月	牛野谷水源地取水中止
昭和 59 年 3 月	第4次拡張事業完成
昭和 59 年 3 月	生見川ダム完成
昭和 60 年 4 月	料金改定
昭和 63 年 4 月	和木町内の検針業務委託(和木町へ委託)
平成 元 年 4 月	料金改定(消費税導入分)
平成 2 年 4 月	既設高台団地検針業務委託
平成 2 年 4 月	料金改定
平成 2 年 11 月	高度処理実験プラント完成
平成 5 年 4 月	中高層建築物への直結給水開始
平成 5 年 12 月	新水質検査項目の追加(46項目)
平成 6 年 7 月	浄水施設整備事業開始(平成6~11年度)
平成 6 年 8 月	既設高台団地(30団地)の給水施設引き取り覚書締結
平成 7 年 3 月	既設高台団地(2団地)の引き取り完了
平成 8 年 2 月	牛野谷加圧設備(電気計装)更新工事完成
平成 8 年 3 月	平田第1ブロック配水池完成(緊急遮断弁設置)
平成 8 年 4 月	電算端末機及び検針業務のハンディーターミナル導入
平成 9 年 4 月	料金改定(消費税増税分)
平成 10 年 6 月	水利権変更許可申請(79,640㎡)山口県より許可
平成 11 年 4 月	和木町検針業務にハンディーターミナル導入
平成 11 年 10 月	第2次浄水施設整備事業設計委託
平成 12 年 2 月	第1次浄水施設整備事業完成
平成 13 年 1 月	水道料金業務システム更新
平成 13 年 3 月	水道事業変更認可申請書厚生労働省より認可
平成 14 年 4 月	検針業務委託開始
平成 14 年 8 月	和木町滞納閉栓業務実施
平成 15 年 2 月	通津地区給水区域拡大事業着工
平成 15 年 10 月	情報処理システム(IT化)導入
平成 16 年 2 月	原水ポンプ設備更新工事完成
平成 16 年 12 月	監視設備等整備事業完成
平成 17 年 3 月	2号ろ過池電気機械設備更新工事完成
平成 17 年 3 月	パック注入設備更新工事完成
平成 17 年 3 月	水道局LGWAN接続
平成 17 年 10 月	通津地区給水区域拡大事業完成
平成 18 年 3 月	市町村合併に伴い旧岩国市、旧由宇町、旧玖珂町水道事業統合
平成 18 年 5 月	由宇地区水道料金を岩国地区水道料金に統一
平成 18 年 9 月	ペットボトル(大吟浄の水)製作(災害時の緊急飲料水・PR用)
平成 19 年 2 月	給水車(2トン)購入
平成 19 年 3 月	和木町内の検針業務委託廃止(和木町への委託を廃止)
平成 19 年 4 月	水道料金業務システム更新
平成 19 年 4 月	玖西営業所開設
平成 19 年 8 月	由宇地区給水事業開始
平成 20 年 3 月	第3次浄水施設整備事業開始
平成 20 年 4 月	玖珂地区水道料金を岩国地区水道料金に統一
平成 20 年 7 月	山手ブロック配水池工事着工
平成 20 年 12 月	岩国市地域水道ビジョン策定
平成 21 年 4 月	梅ヶ丘団地専用水道統合
平成 21 年 4 月	藤河御庄地区給水区域拡大事業開始

年 月	事 項
平成 21 年 5 月	耐震化事業開始(錦見浄水場より)
平成 21 年 12 月	水道料金コンビニ収納開始
平成 22 年 3 月	山手ブロック施設完成(高台団地広域監視システム設置)
平成 22 年 4 月	簡易水道統合開始(黒磯団地簡易水道統合)
平成 22 年 12 月	錦見浄水場1号ろ過池更新工事着工
平成 23 年 3 月	水道事業変更認可申請書(第二次給水区域拡大)厚生労働省より認可
平成 23 年 4 月	小瀬・阿品簡易水道統合
平成 23 年 12 月	情報処理システム更新(岩国市情報システムに統合)
平成 24 年 3 月	愛宕加圧設備完成
平成 24 年 4 月	高森南簡易水道統合
平成 24 年 4 月	玖西営業所名称変更(玖西事業所へ)
平成 24 年 4 月	水道施設耐震化10カ年計画策定
平成 24 年 9 月	給水車(2トン)購入(三井化学株式会社より寄贈)
平成 24 年 11 月	玖珂・高森南地区、広域監視システム設置

3 拡張事業の推移

事業名	工期	給水人口	一日最大給水量	水源	給水区域
創設事業	昭和12年 8月 ┆ 昭和14年 4月	20,000人	3,200m ³	錦川(伏流水)	旧麻里布町一円
第1次拡張事業	昭和23年11月 ┆ 昭和24年 4月	26,000人	7,280m ³	錦川(表流水)	旧岩国全域及び川下地区と和木町の一部に拡大
第2次拡張事業	昭和25年 3月 ┆ 昭和36年12月	49,000人	33,000m ³	錦川(表流水) 錦川(伏流水) 地下水	川下地区・門前川以南地区に拡大
第3次拡張事業	昭和41年12月 ┆ 昭和49年 3月	115,000人	63,000m ³	錦川(表流水) 錦川(伏流水) 地下水	平田地区の一部に拡大
第4次拡張事業	昭和52年 4月 ┆ 昭和59年 3月	112,000人	95,000m ³	錦川(表流水)	第3次拡張事業と同じ
給水区域拡大	平成15年 2月 ┆ 平成25年 3月	110,000人	73,000m ³	錦川(表流水)	通津地区、長野地区の一部、藤河・御庄地区に拡大
市町村合併	平成18年 3月	120,200人 (129,800人)	69,300m ³ (82,677m ³)	錦川(表流水) 由宇川(伏流水) 地下水(4ヶ所) 受水(周東町)	旧由宇町、旧玖珂町給水区域を統合
第二次給水区域拡大	平成23年 3月 ┆ 平成28年 3月	122,200人	65,300m ³	表流水(13カ所) 伏流水(1カ所) 地下水(9カ所) 受水(1カ所)	簡易水道統合

4 平成24年度事業概況

平成24年度末現在における給水人口は 113,141人、給水戸数は 54,060戸であり、年間総配水量は 1,561万7,239m³、有収水量は 1,440万6,224m³で、有収水量率は 92.2%となりました。本年度の建設改良事業の主なものは、高所地区配水管等改良事業として配水管布設工事等を 4,554万2,066円で施工し、配水施設整備事業として 2億2,720万7,664円で配水管の新設、布設替、移設工事等を施工しました。由宇地区給水事業では、配水管布設工事等を 1億5,498万2,236円で施工し、浄水施設整備事業では、錦見浄水場 1号急速ろ過池更新第 3期工事等を 2億9,711万1,616円で実施しました。藤河・御庄地区給水区域拡大事業では、配水管布設工事等を 3億4,678万2,104円で施工し、水道施設耐震化事業では、配水池及び配水管の耐震化基本設計業務委託等を 6,981万1,500円で実施しました。簡易水道統合事業では、平成 24年 4月から維持管理を行っております高森南地区の各水道施設の状況を把握するため、広域監視システムを設置しました。

5 写真でみる概要

(1) 給水区域



岩国地区



西岩国地区



由宇地区



玖珂地区

(2) 水源



錦川



由宇川

(3) 水道局庁舎



旧水道局庁舎(今津町6丁目2番23号)



現水道局庁舎(山手町4丁目4番14号)

(4) 錦見浄水場管理棟



錦見浄水場管理棟工事中(昭和46年)

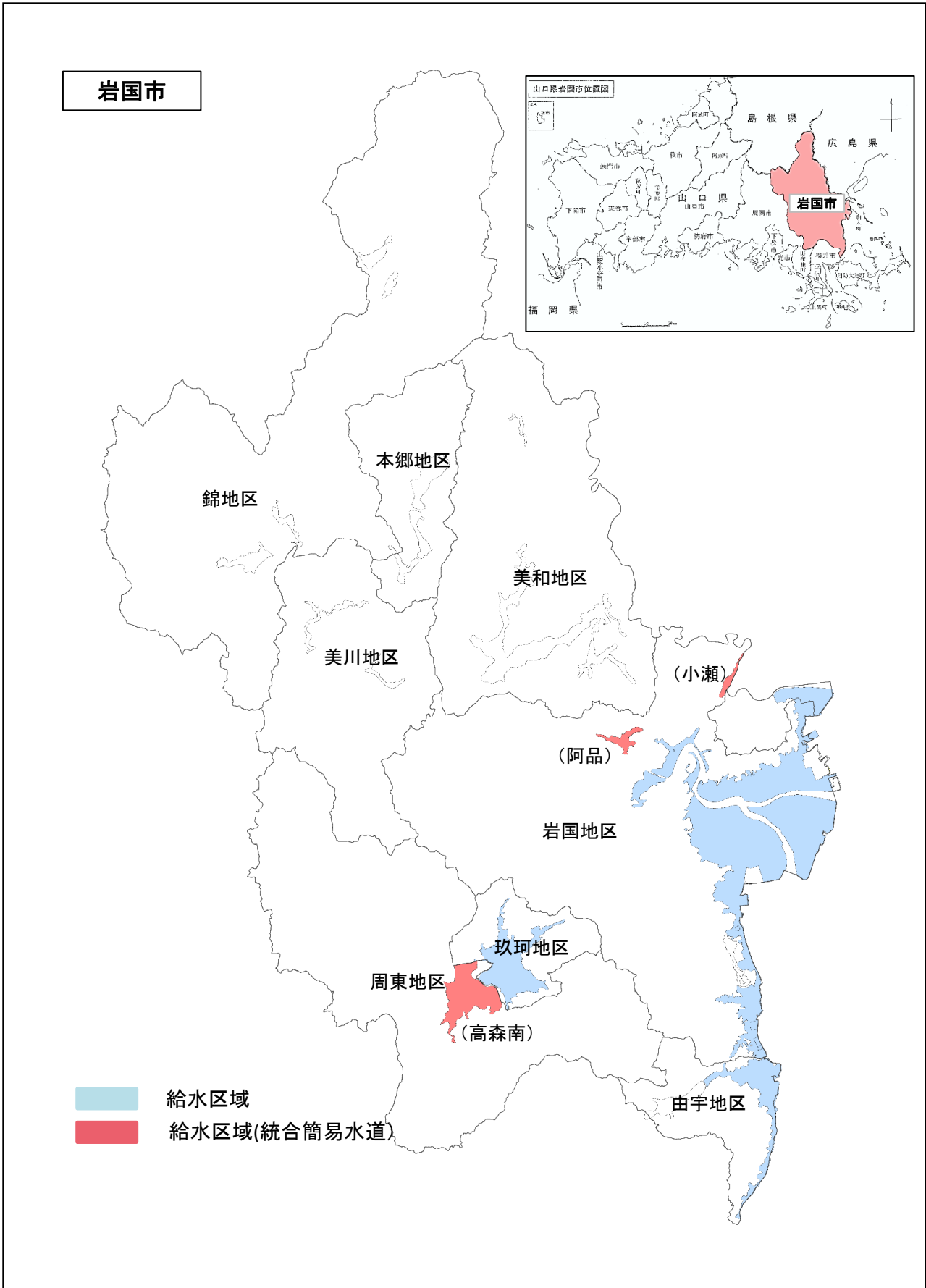


現錦見浄水場管理棟

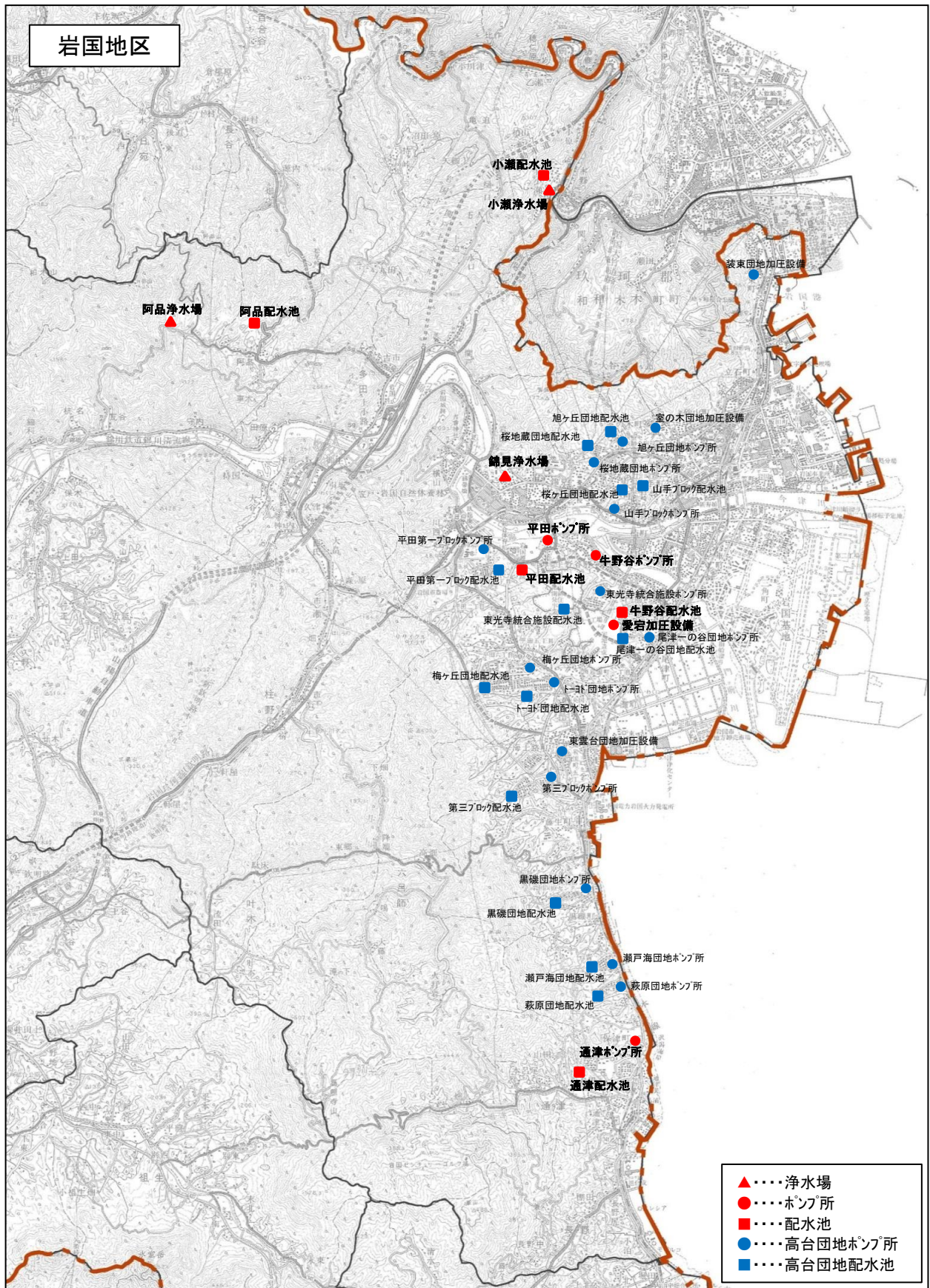
(Ⅱ) 施 設

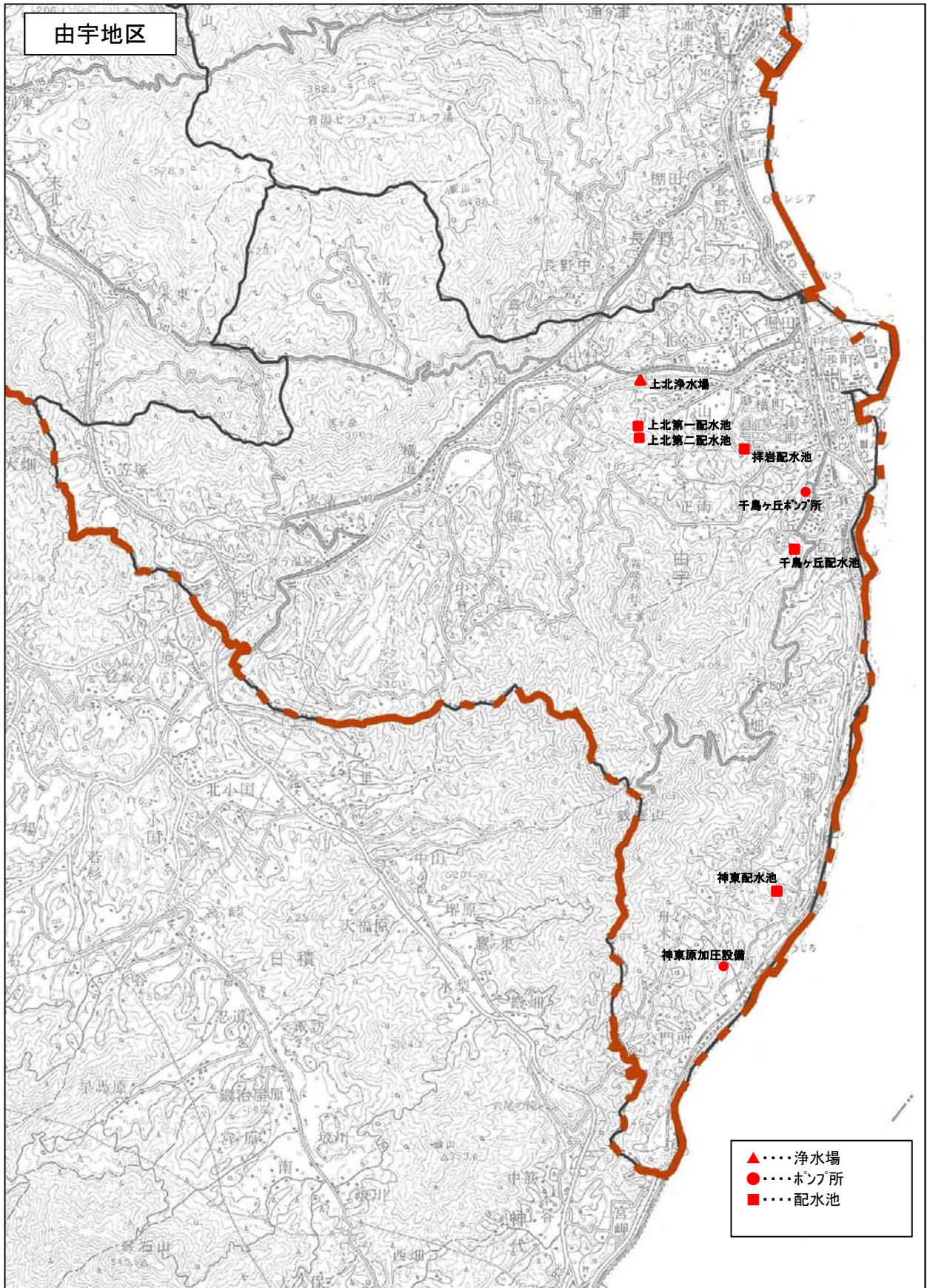
- 1 給水区域図
- 2 施設位置図
- 3 主要配水管ルート図
- 4 各施設フロー図
- 5 浄水・送水・配水施設
- 6 配水管
- 7 施設写真

1 給水区域図

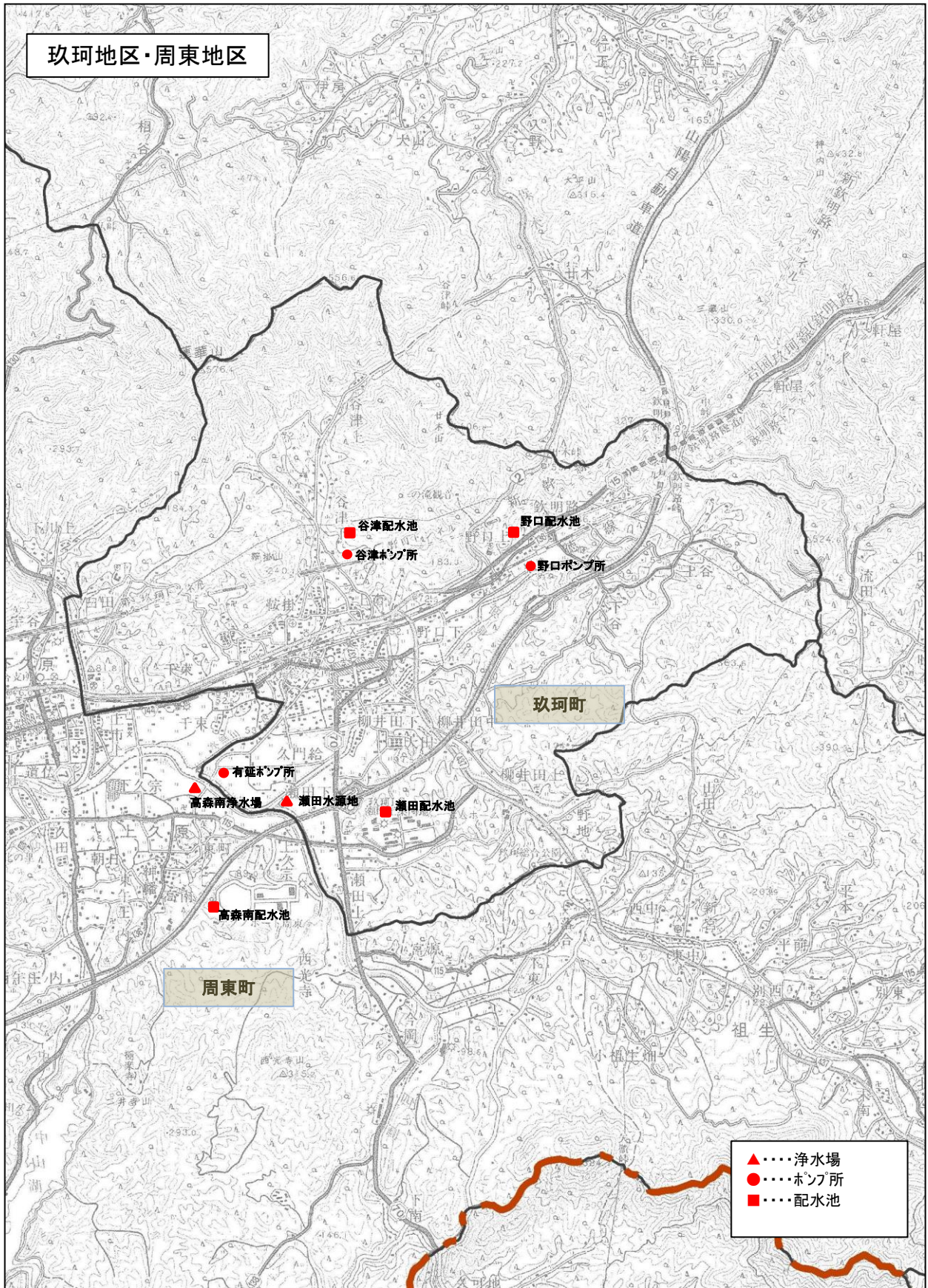


2 施設位置図

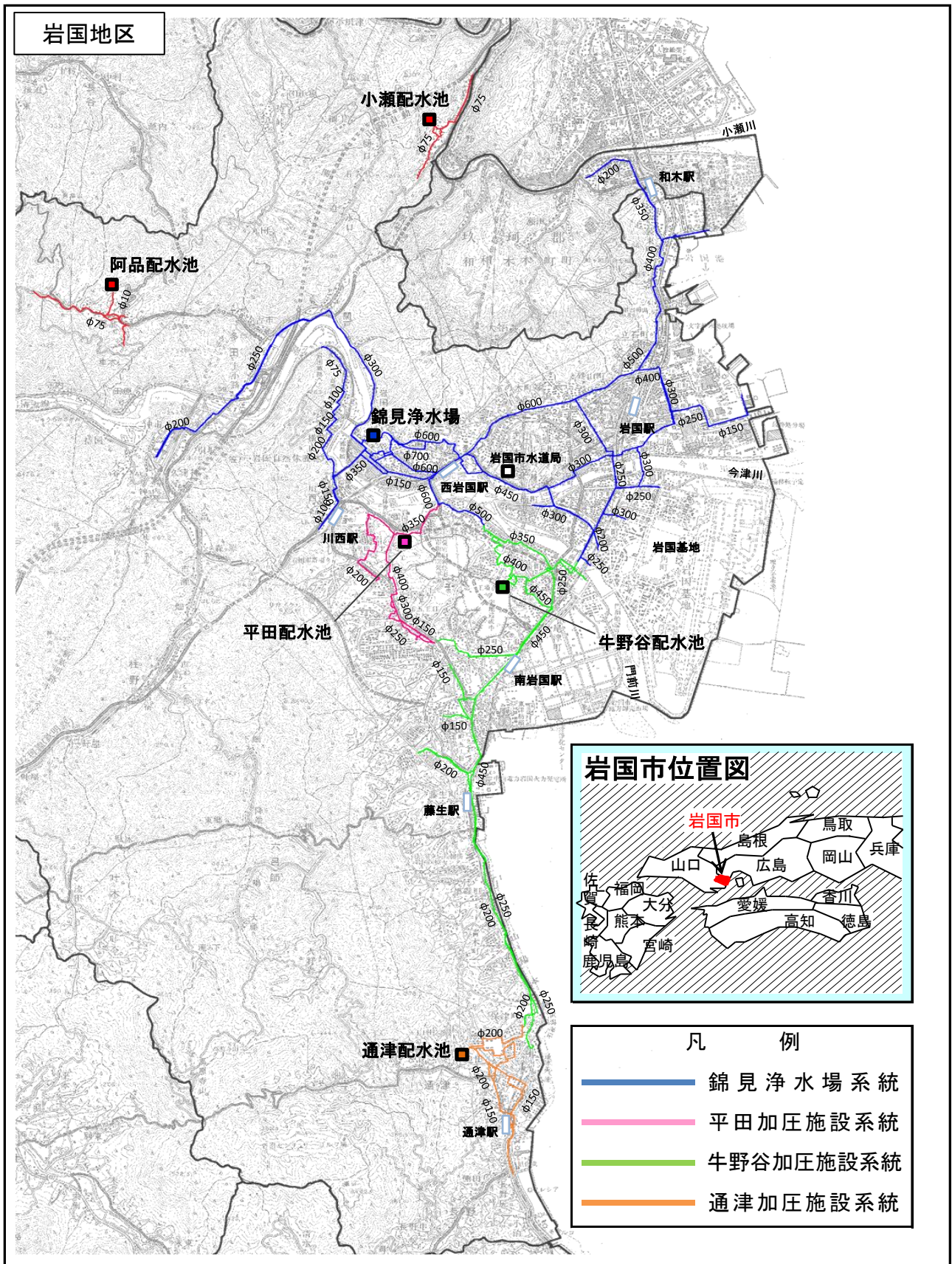




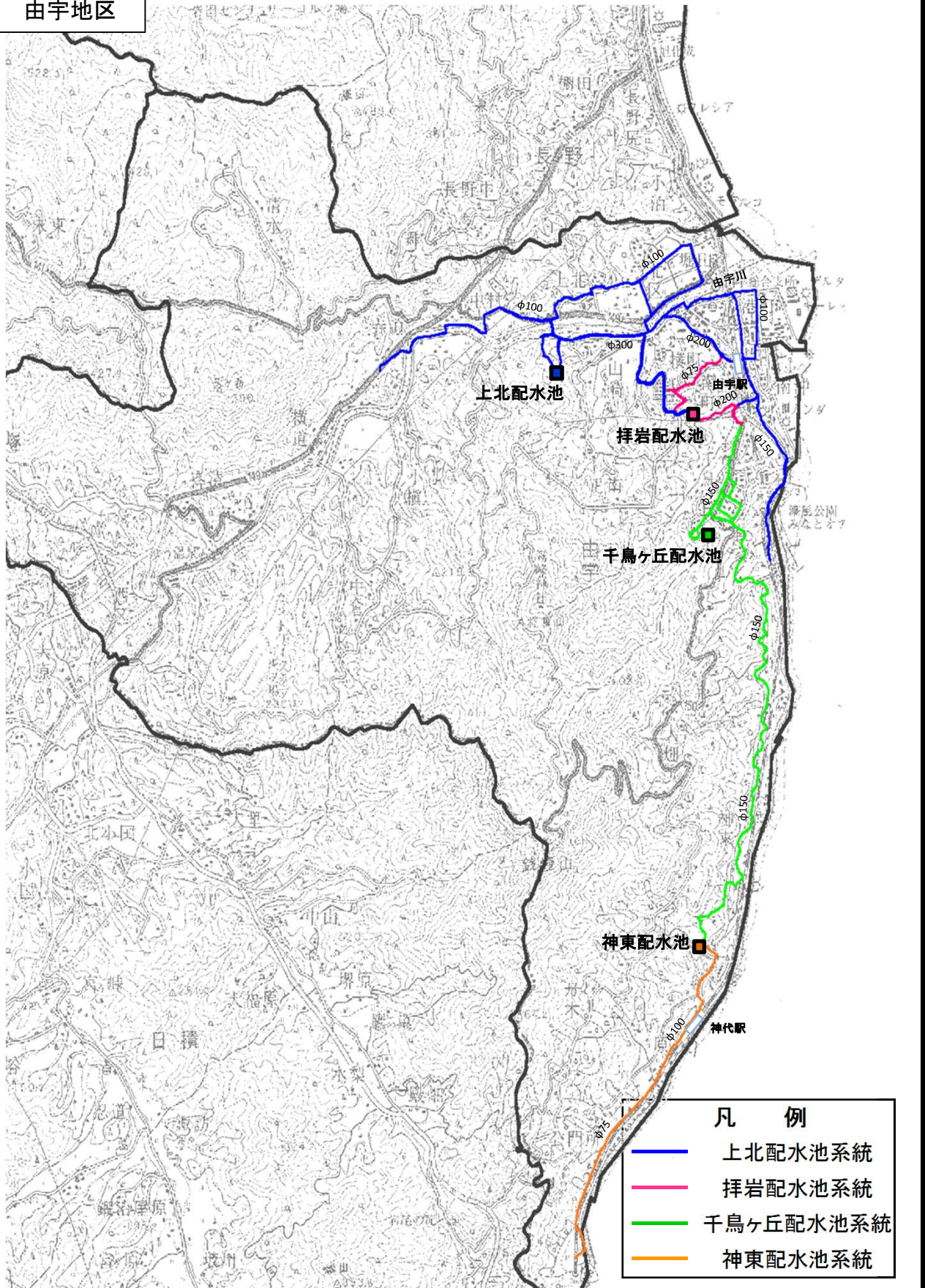
玖珂地区・周東地区



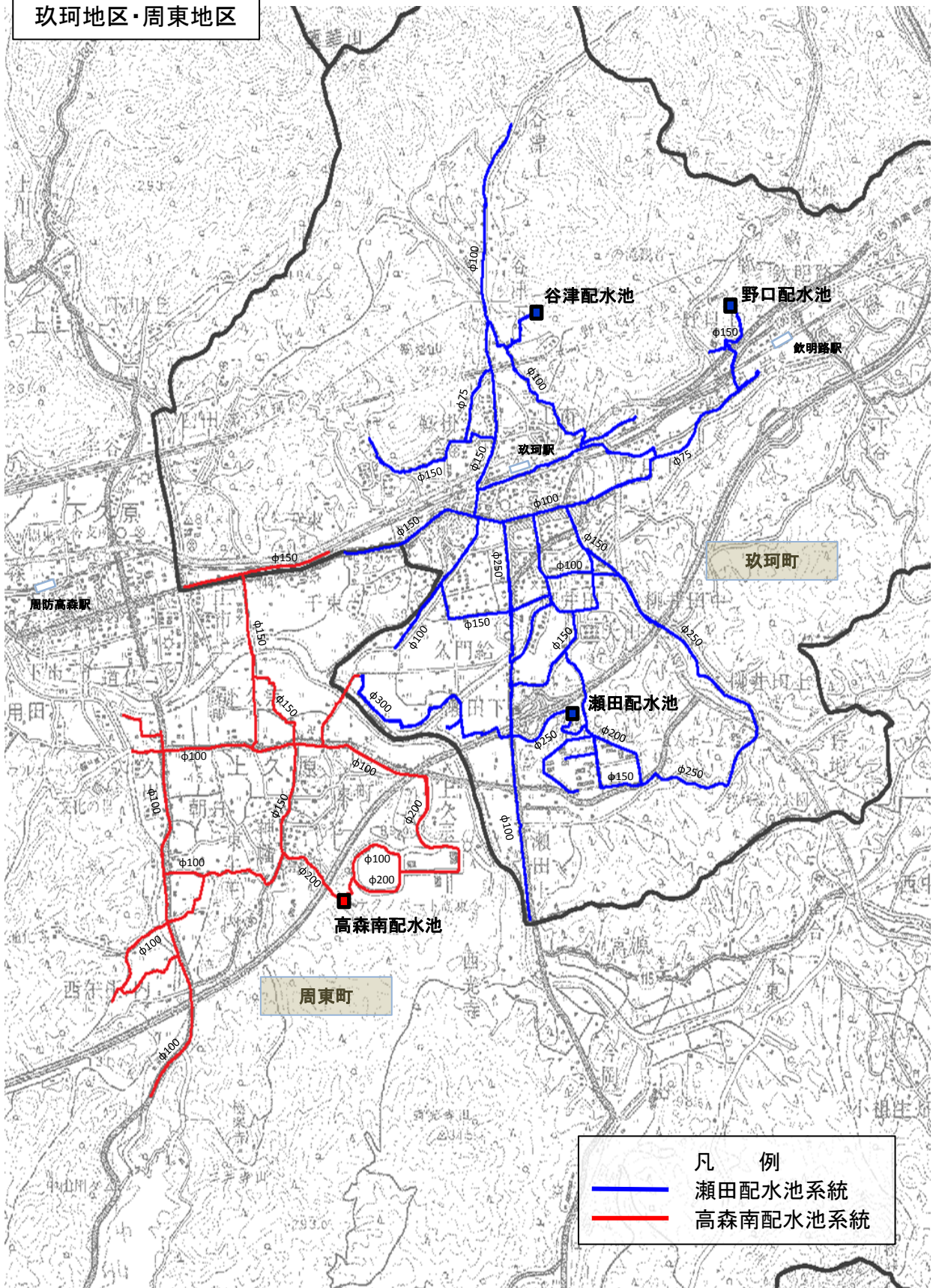
3 主要配水管 ルート図



由宇地区

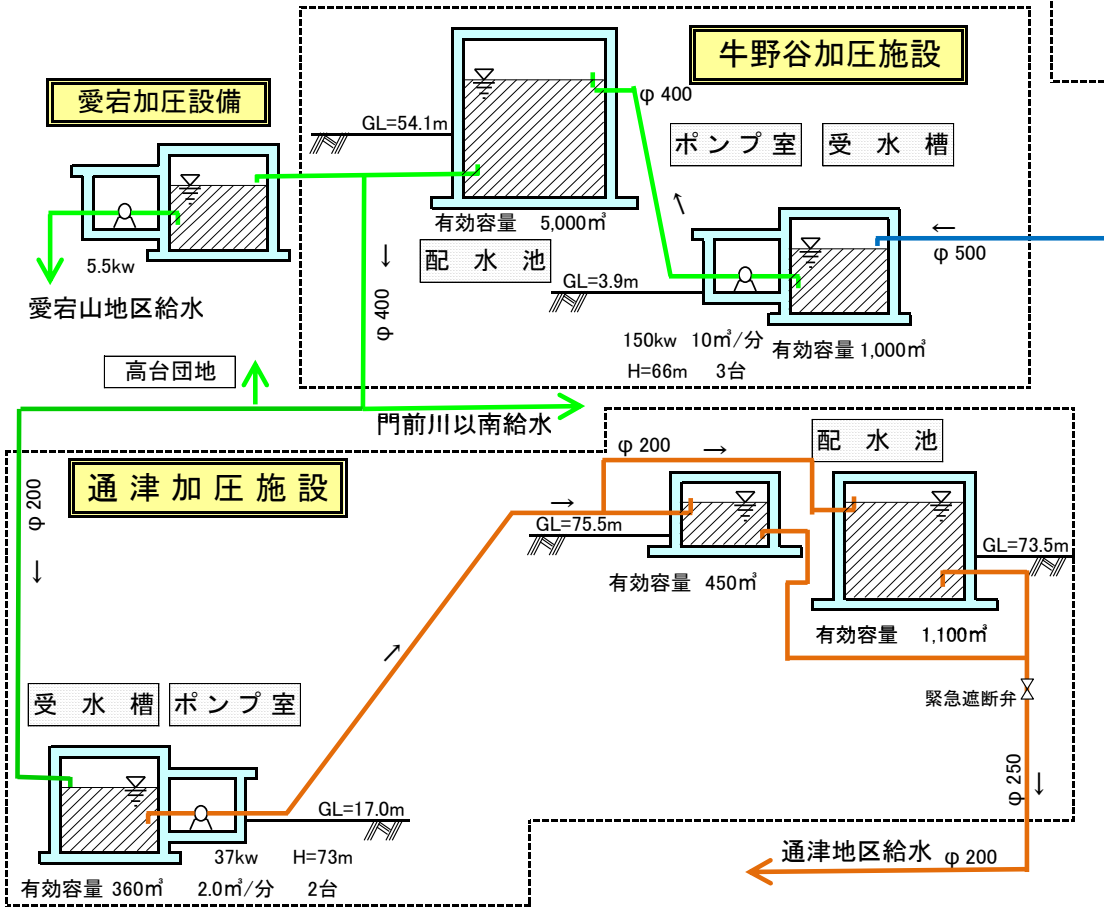
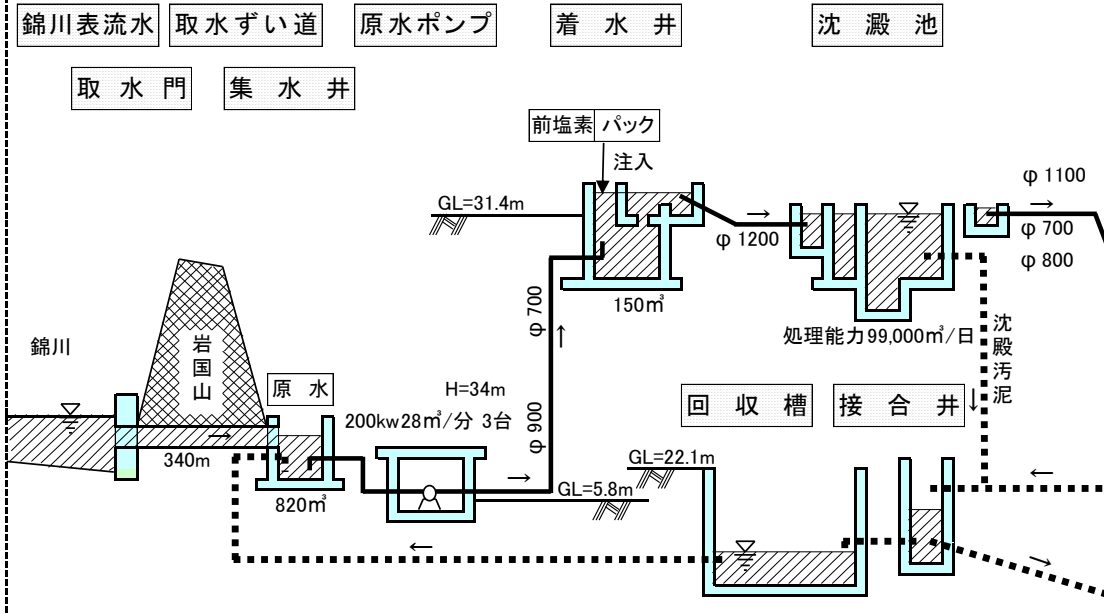


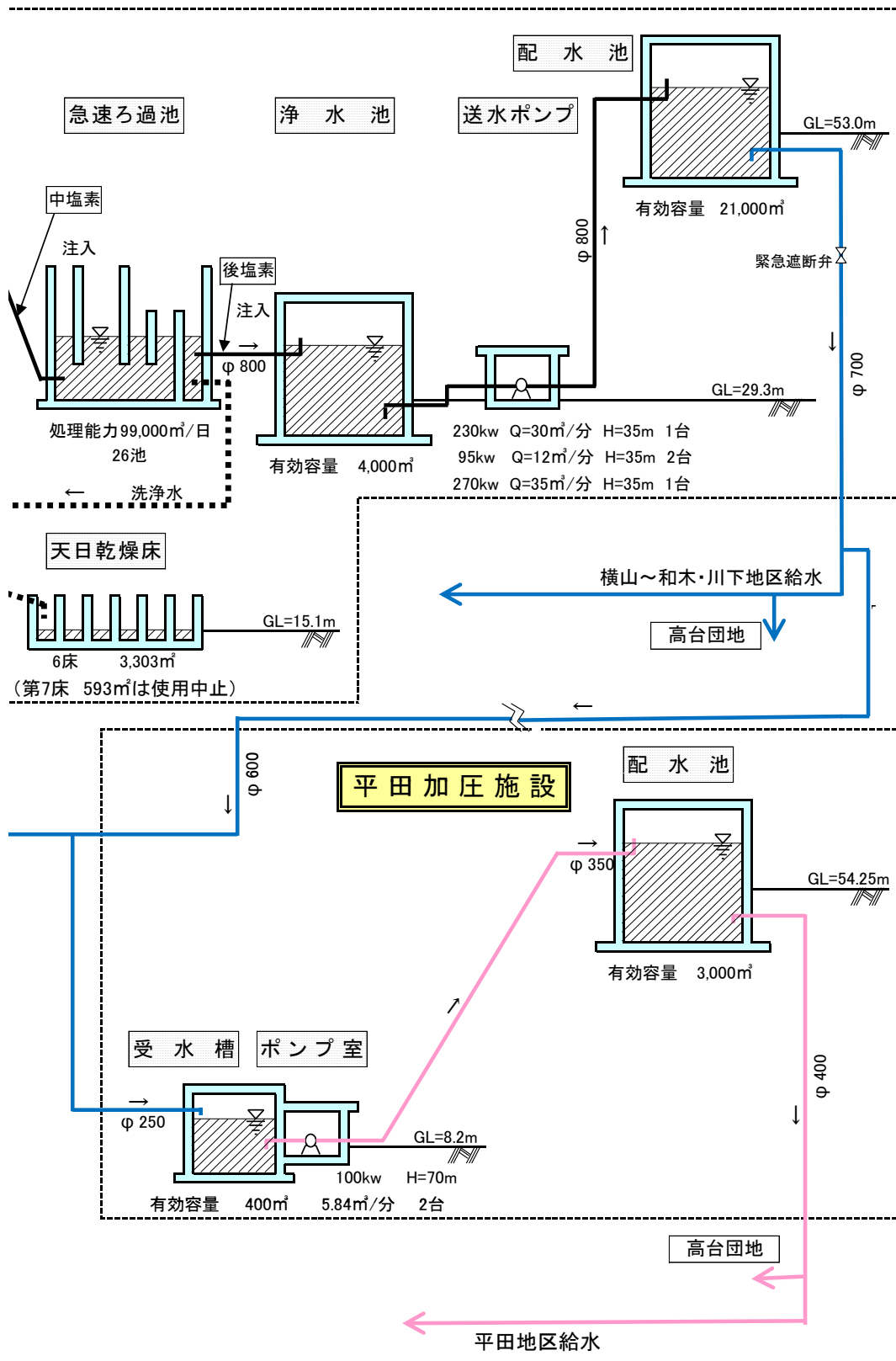
玖珂地区・周東地区



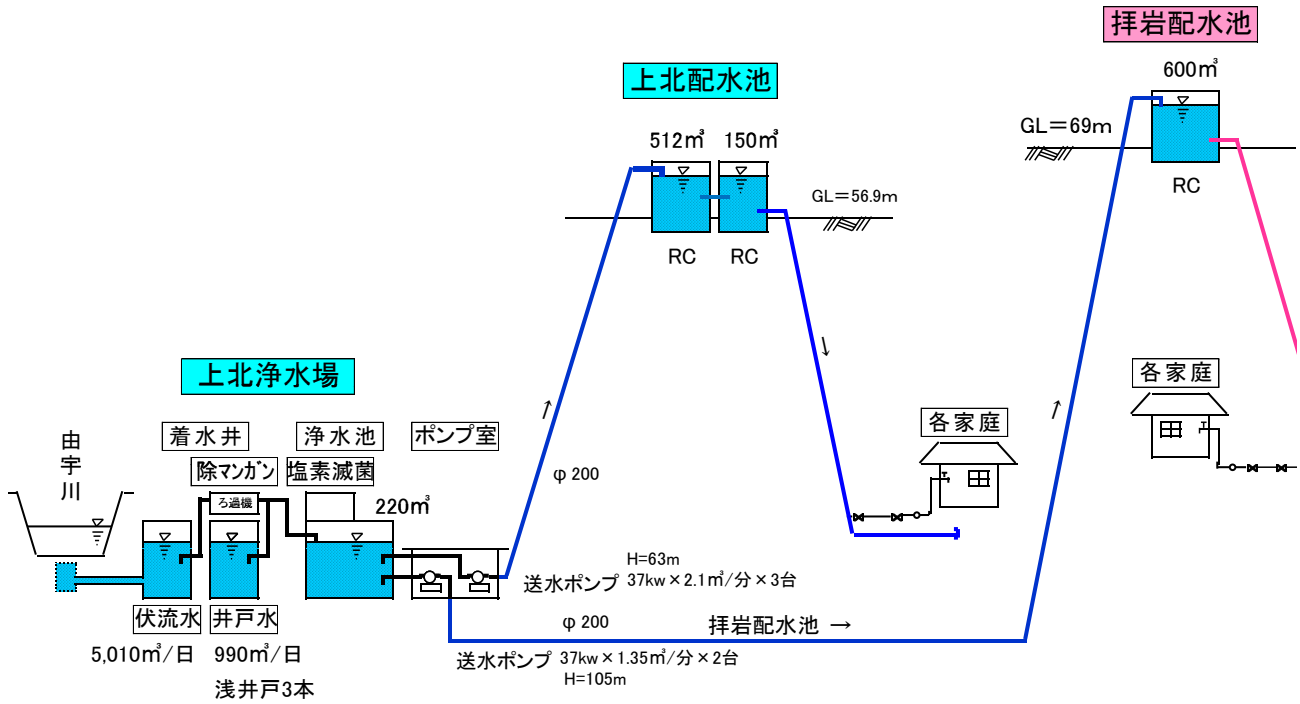
4 各施設フロー図

錦見浄水場

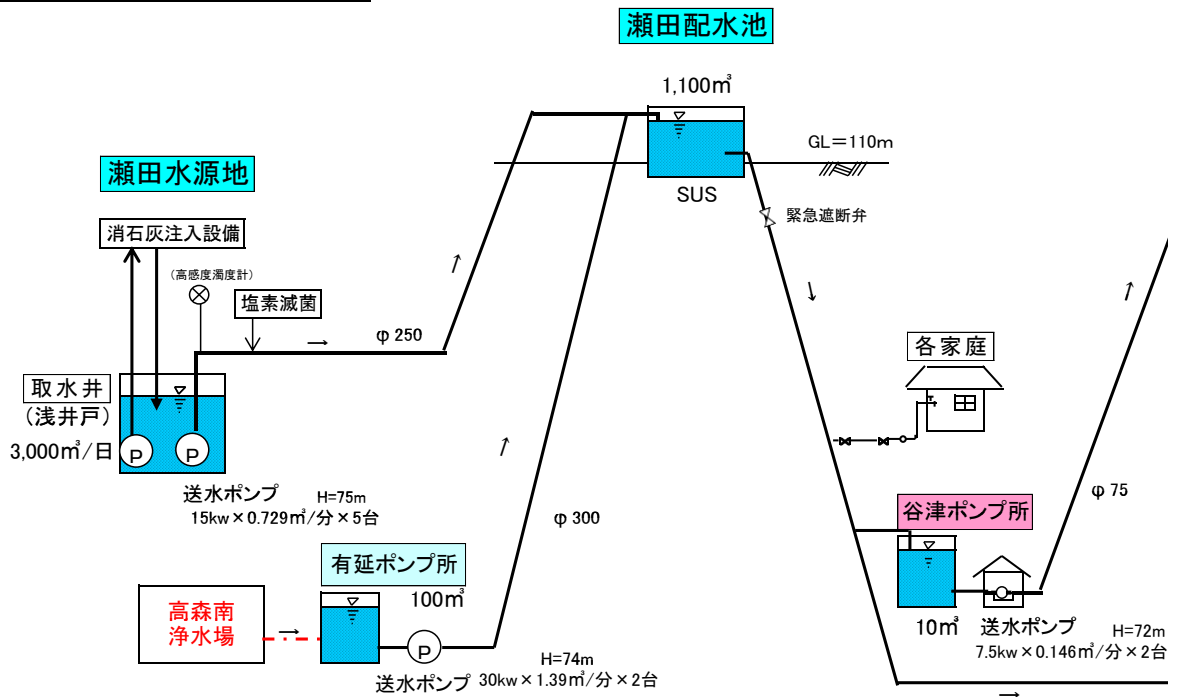


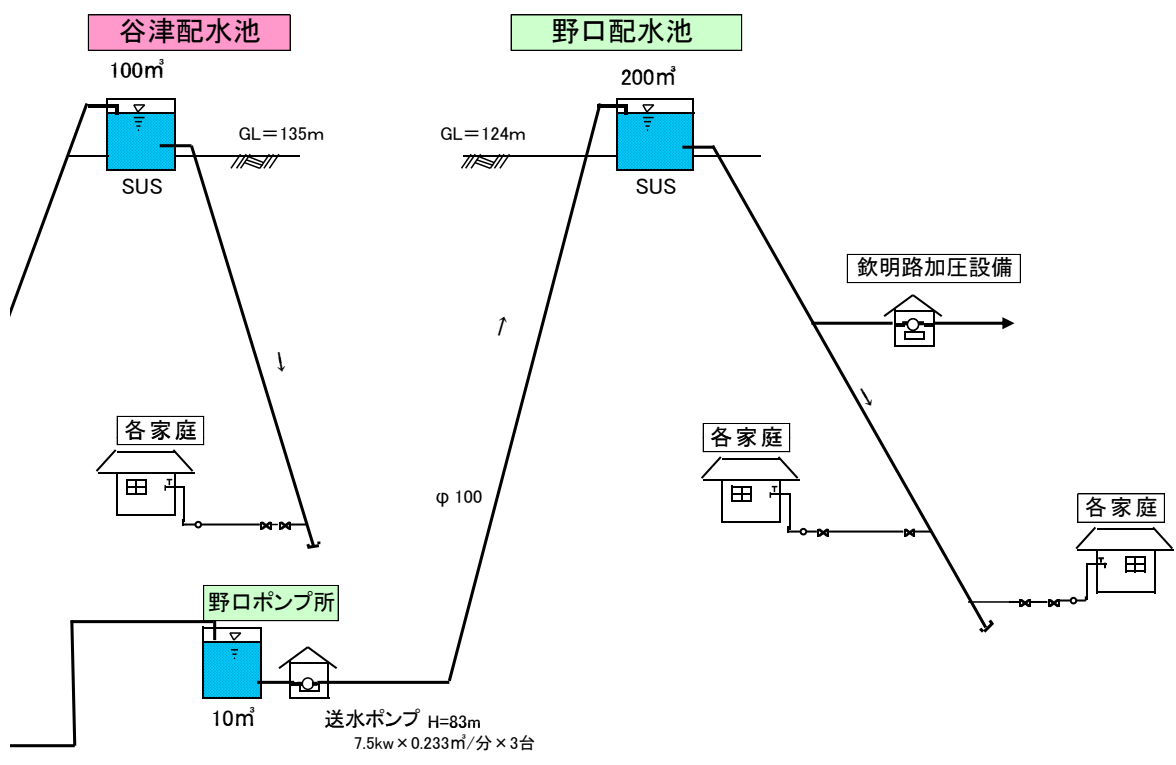
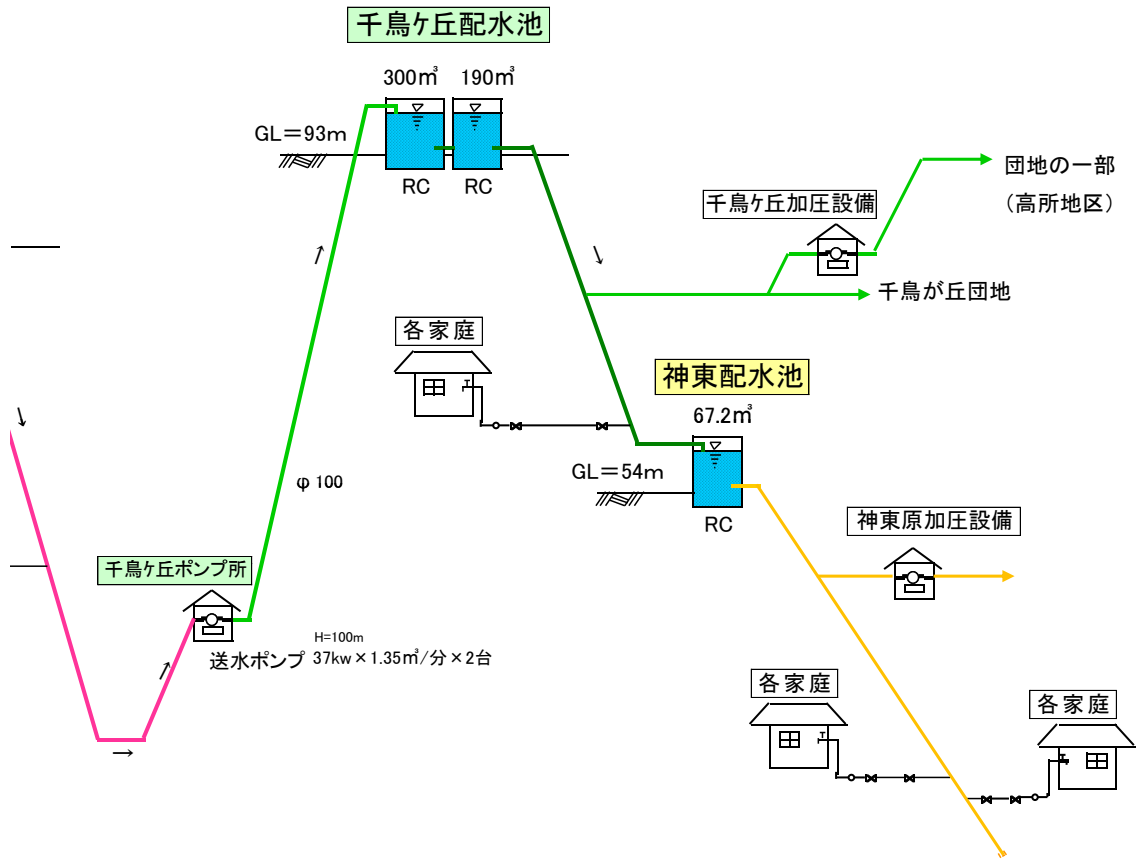


由宇地区配水フロー図

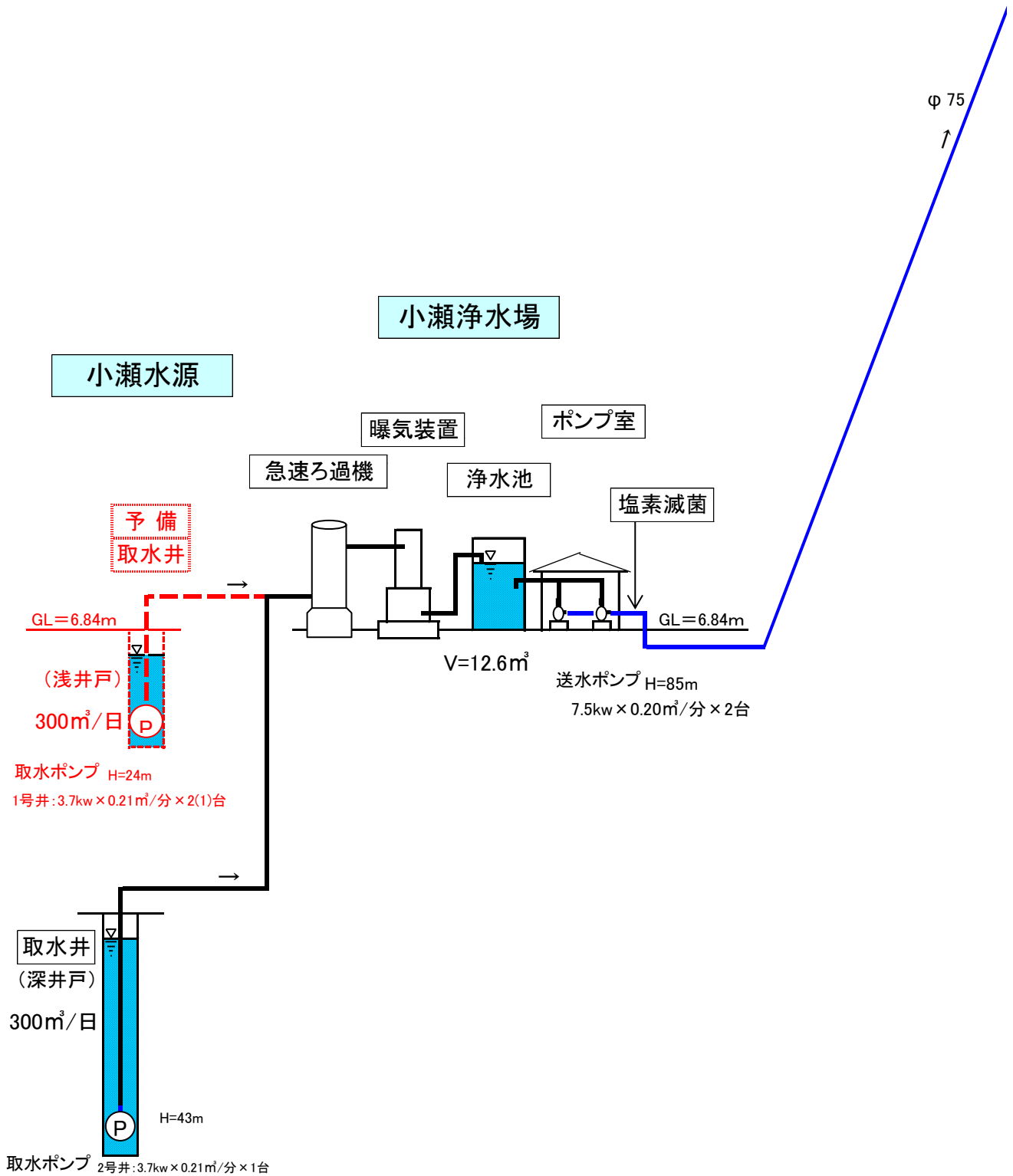


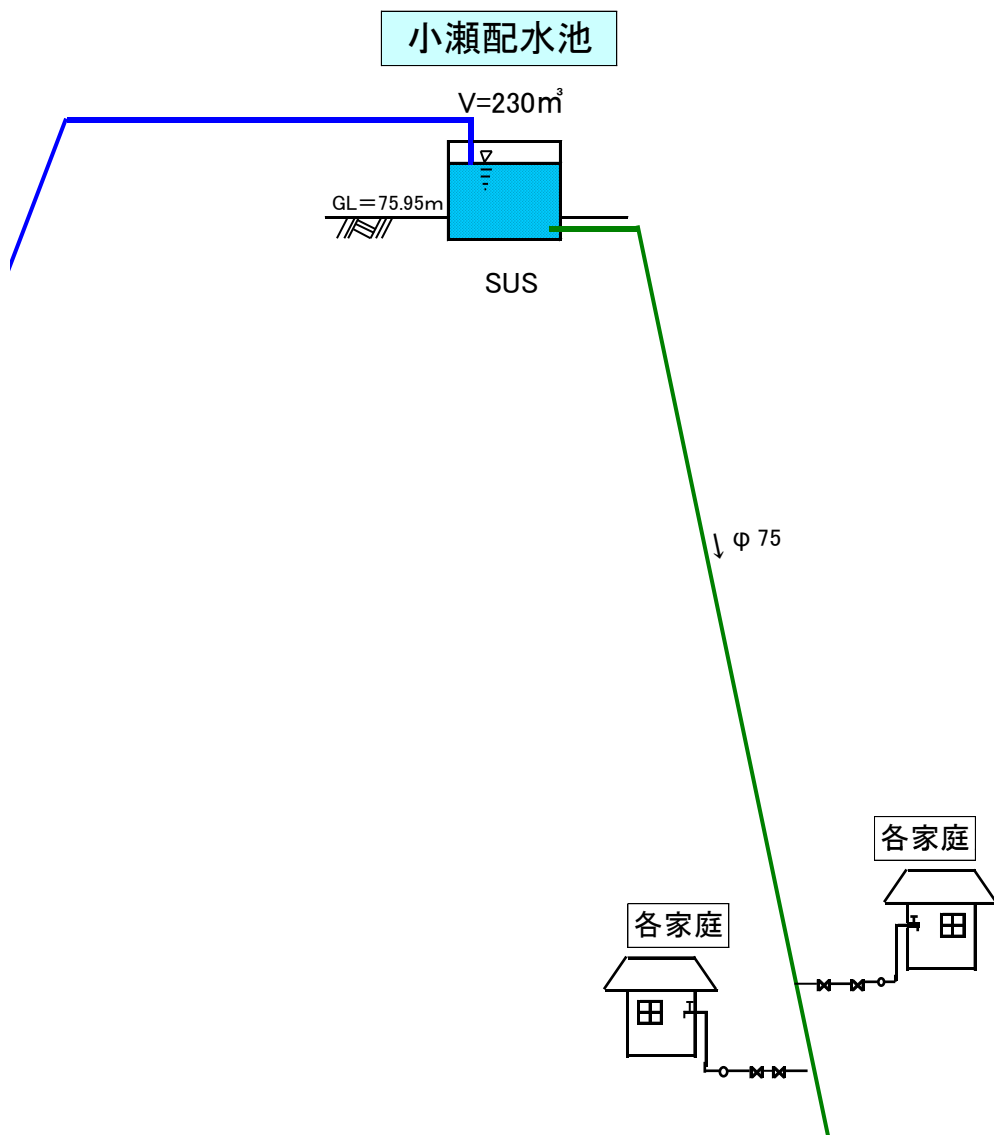
玖珂地区配水フロー図





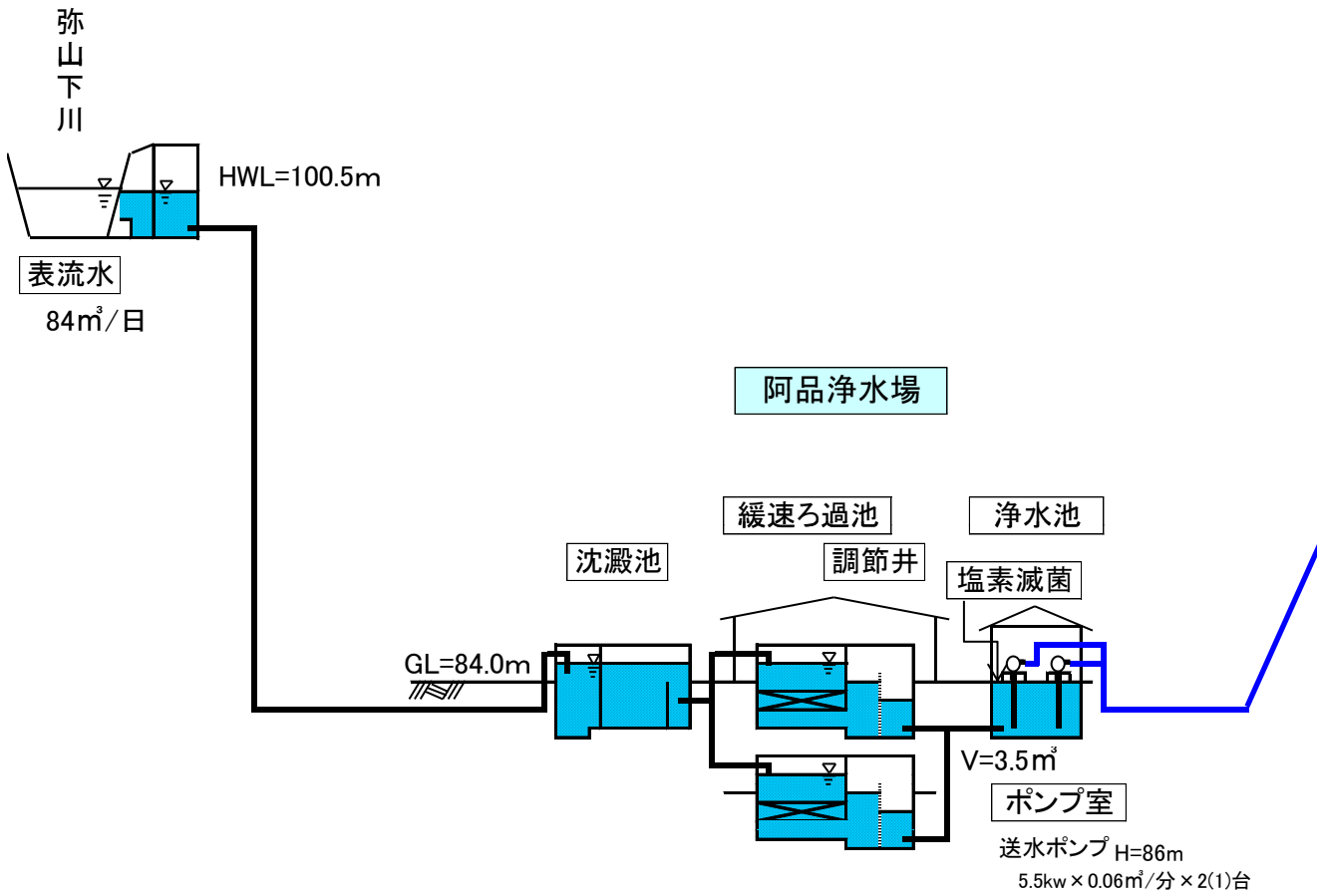
小瀬地区 配水フロー図



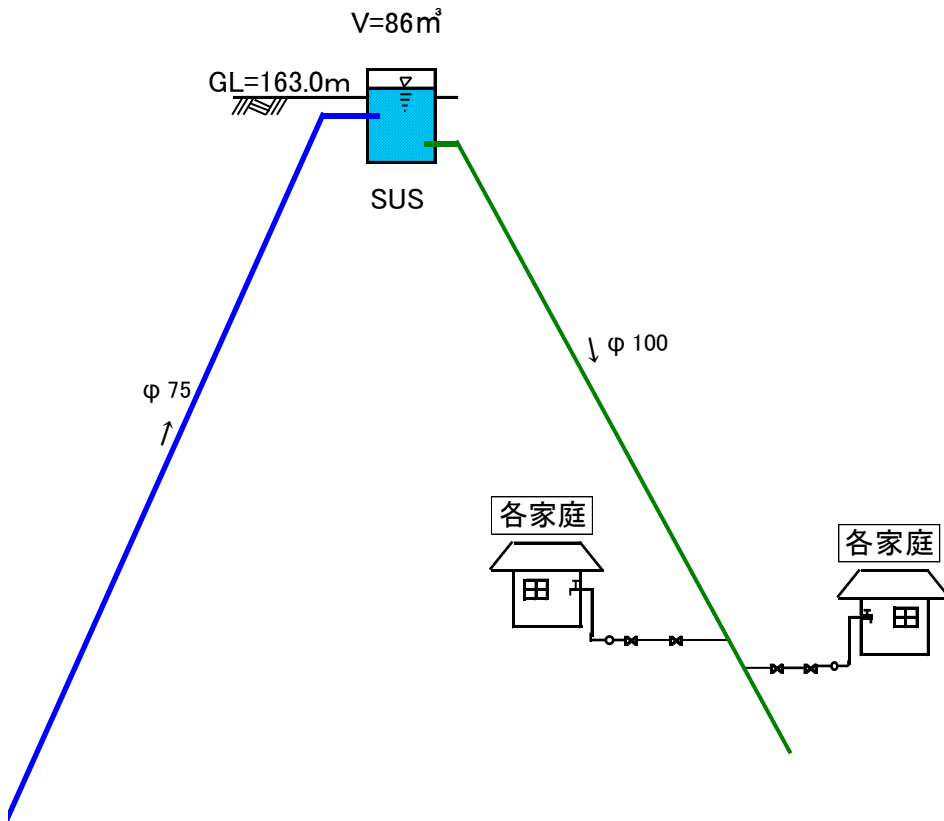


阿品地区 配水フロー図

弥山下川水源



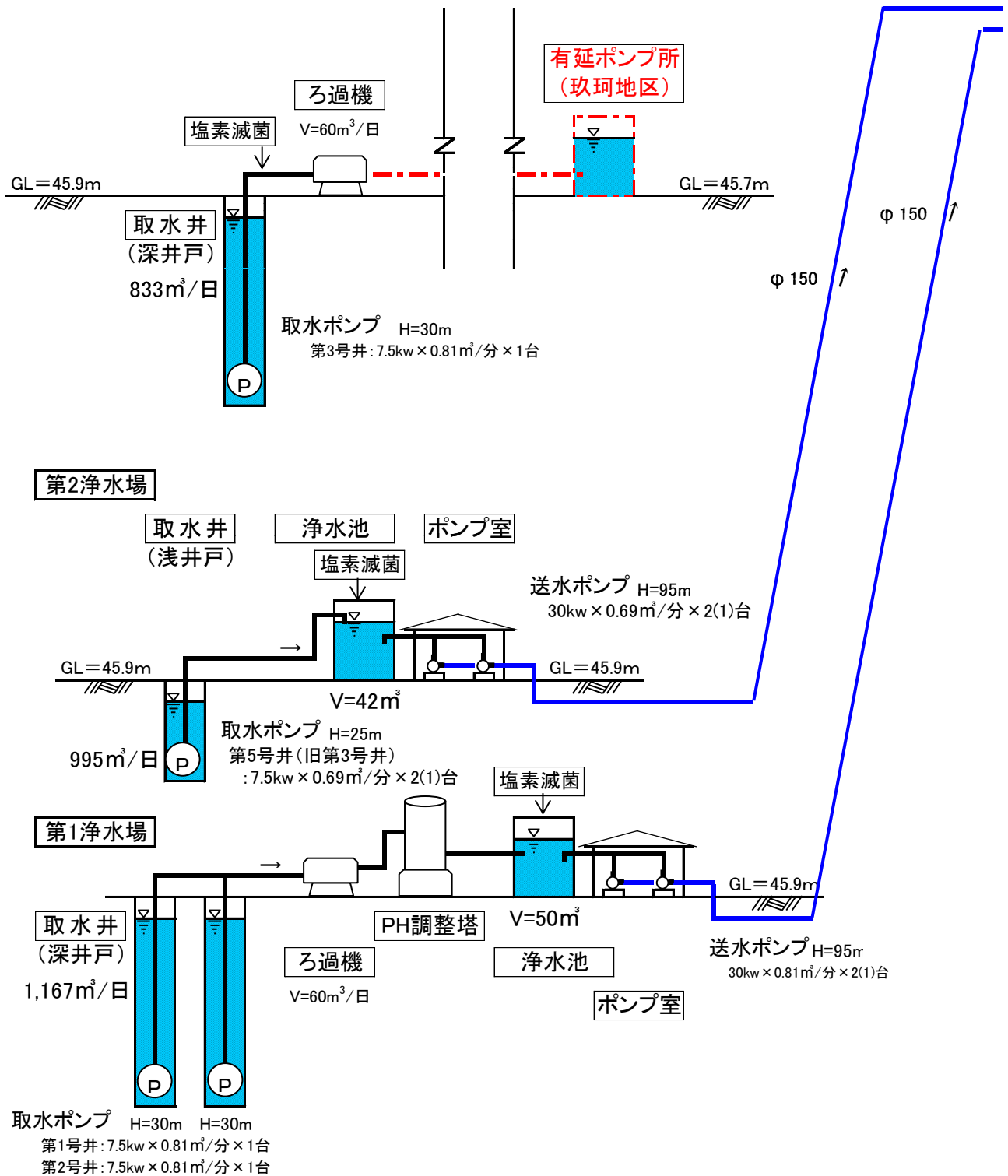
阿品配水池



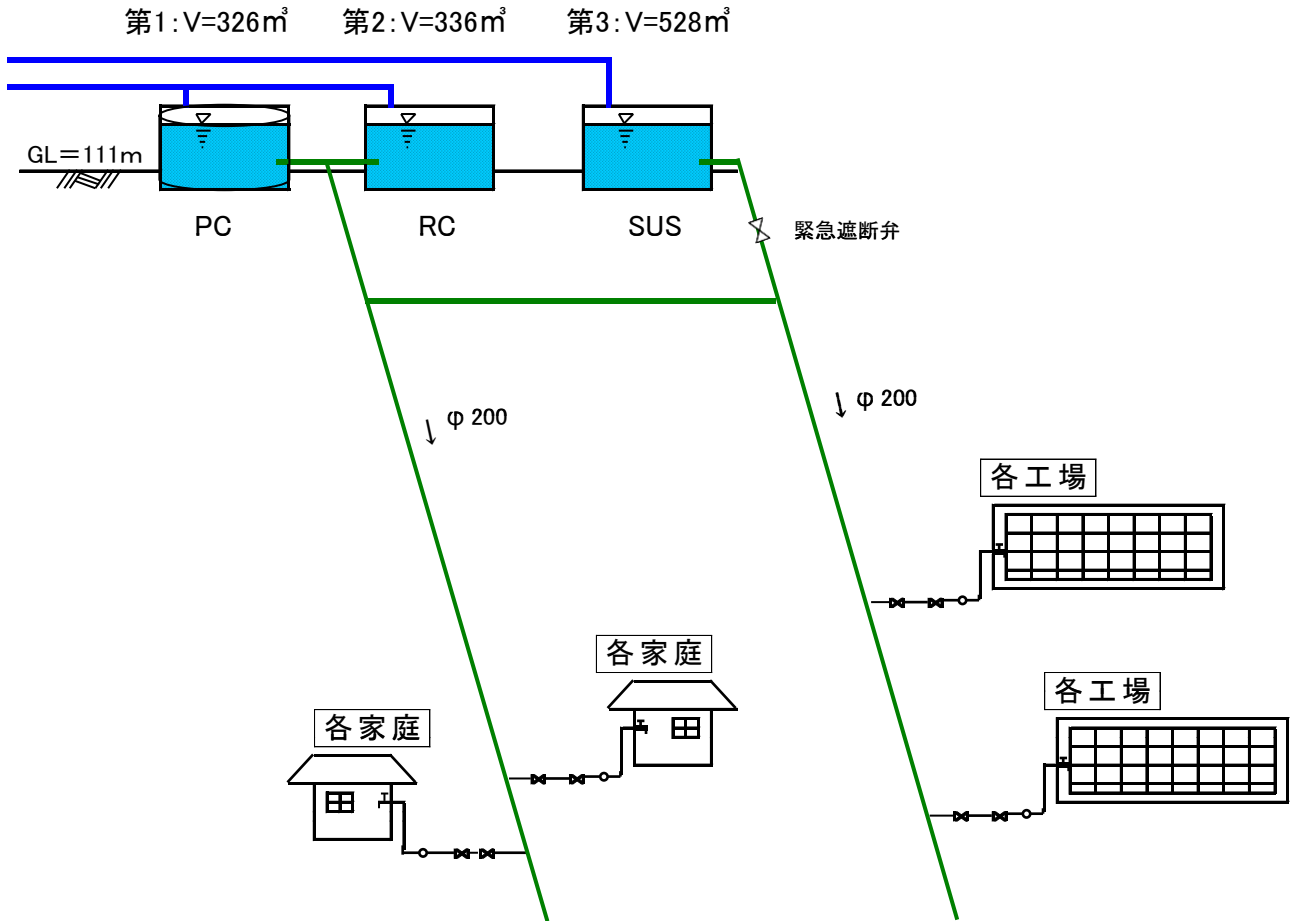
周東地区 配水フロー図

高森南水源地

高森南浄水場



高森南配水池



5 浄水・送水・配水施設

(1) 岩国地区

① 錦見浄水場

位 置	岩国市岩国四丁目10-1
面 積	56,998.05㎡ (うち国有地 18,613.34㎡)
取 水 量	79,640㎡/日 (2級河川 錦川水系 錦川 表流水)
浄 水 量	73,000㎡/日 (水利権 79,640㎡/日)

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
取 水 口	RC造	幅6.80m 深4.00m
導 水 ず い 道	RC造(馬蹄型)	幅2.00m 長340.00m 深2.00m
集 水 井	RC造	幅5.87m 長14.08m 有効深10.00m 有効容量 820.0㎡
原 水 ポ ン プ	両吸込み渦巻きポンプ	200kw Q=28.0㎡/分 H=34.0m 3台
自家発電設備	ディーゼルエンジン	220V×210KVA
着 水 井	RC造	幅12.20m 長6.40m 高さ5.66m 有効容量 150.0㎡
混 和 池	RC造(内面エポキシライニク)	幅4.80m 長4.80m 有効深3.97m 有効容量 91.4㎡ 幅4.80m 長3.00m 有効深2.69m 有効容量 38.7㎡
沈 澱 池	RC造(内面エポキシライニク)	No.1 傾斜管 11.0×40.5×4.5 形成池 4.0×11.0×4.015×3池 処理能力 = 27,500㎡/日 No.2 傾斜管 11.0×40.5×4.5 形成池 4.0×11.0×4.015×3池 処理能力 = 27,500㎡/日 No.3 傾斜管 15.2×19.0×3.76 形成池 3.54×15.2×3.66 処理能力 = 11,000㎡/日 No.4 傾斜管 15.2×19.0×3.76 形成池 3.54×15.2×3.66 処理能力 = 11,000㎡/日 No.5 傾斜板 14.0×27.7×4.15 形成池 3.5×14.0×4.25 形成池 3.6×14.0×4.25 処理能力 = 22,000㎡/日 合計処理能力=99,000㎡/日
薬品注入設備		PAC 15㎡ 2基 次亜塩素酸ナトリウム 8㎡ 4基
滅 菌 設 備	次亜塩素素注入機	250ℓ×2kgf/cm ² 前次亜注入ポンプ 3台 後次亜注入ポンプ 3台(うち1台予備)

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
急 速 ろ 過 池	RC造・重力式開放型	No.1 グリーンリーフ(エバラインフェルコ) 面積=22.45㎡/池 速度=120.0m/日 池数=16 砂厚=60cm 処理能力 = 43,000㎡/日 No.2 エンビコ(クボタ) 面積=46.7㎡/池 速度=120.0m/日 池数=10 砂厚=100cm 処理能力 = 56,000㎡/日 合計処理能力=99,000㎡/日
浄 水 池	RC造フラットスラブ	No.1 GL=29.3m 幅16.00m 長16.00m 高さ3.60m 有効容量 1,800㎡ 池数=2 No.2 幅36.90m 長18.00m 高さ3.60m 有効容量 2,200㎡ 池数=1 合計有効容量≒4,000㎡
送 水 ポ ン プ	両吸込み渦巻きポンプ	230kw Q=30.0㎡/分 H=35.0m 1台 95kw Q=12.0㎡/分 H=35.0m 2台 270kw Q=35.0㎡/分 H=35.0m 1台
配 水 池	RC造フラットスラブ	No.1 GL=53.0m 幅31.50m 長37.60m 有効深4.45m 有効容量 10,540㎡ 池数=2 No.2 ①幅5.60m 長30.8/2m 有効深4.45m 有効容量 380㎡ ②幅30.50m 長30.80m 有効深4.45m 有効容量 4,180㎡ ③幅16.20m 長30.80m 有効深4.45m 有効容量 2,220㎡ ④幅26.40m 長35.40m 有効深4.45m 有効容量 4,160㎡ No.2合計有効容量=10,940㎡ 合計有効容量≒21,000㎡
排泥処理設備	天日乾燥床	No.1 有効深1.00m 面積500㎡ No.2 有効深1.00m 面積510㎡ No.3 有効深1.00m 面積546㎡ No.4 有効深1.00m 面積598㎡ No.5 有効深1.00m 面積565㎡ No.6 有効深1.00m 面積584㎡ 合計面積=3,303㎡

② 牛野谷ポンプ所・配水池

位 置 ポンプ所 ----- 岩国市牛野谷町二丁目11-6

配水池 ----- 岩国市門前町二丁目

面 積 ポンプ所 ----- 1,867.95㎡

配水池 ----- 6,037.96㎡ (うち国有地 1,284.95㎡)

配水能力 23,600m³/日 (水利権配分 17,310m³/日)

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造フラットスラブ " (内面エポキシライニング)	No.1 GL=3.9m 幅20.00m 長8.60m 有効深3.50m 有効容量 600m ³ No.2 幅14.40m 長8.00m 有効深3.50m 有効容量 400m ³ 合計有効容量=1,000m ³
送 水 ポ ン プ	両吸込み渦巻きポンプ	150kw Q=10.0m ³ /分 H=66.0m 3台
配 水 池	RC造フラットスラブ	No.1 GL=54.1m 幅29.60m 長19.00m 高さ2.435m 有効容量 1,200m ³ No.2 幅52.95m 長22.40m 高さ3.60m 有効容量 3,800m ³ 合計有効容量=5,000m ³

③ 愛宕加圧設備

位 置 加圧設備 -----岩国市門前町二丁目61

面 積 加圧設備 ----- 812m²

配水能力 1,269.64m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	SUS製	幅13.00m 長5.00m 高さ4.00m 有効容量 230m ³ 池数=2
加 圧 ポ ン プ	末端圧力一定制御	5.5kw H=27.0m 6台

④ 平田ポンプ所・配水池

位 置 ポンプ所 -----岩国市牛野谷町一丁目5

配水池 -----岩国市平田四丁目

面 積 ポンプ所 ----- 500.00m²

配水池 ----- 3,241.00m²

配水能力 8,400m³/日 (水利権配分 6,220m³/日)

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造フラットスラブ (内面エポキシライニング)	幅6.50m 長6.50m 有効深4.10m 有効容量 400m ³ 池数=2

送水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ	100kw Q=5.84m ³ /分 H=70.0m 2台
配水池	PC造	GL=54.25m 直径25.00m 有効深6.30m 有効容量 3,000m ³

⑤ 通津ポンプ所・配水池

位置 ポンプ所 ----- 岩国市保津町二丁目

配水池 ----- 岩国市通津

面積 ポンプ所 ----- 904.00m²

配水池 ----- 1,762.00m²

配水能力 2,880m³/日

名称	構造	能力・寸法
受水槽	RC造フラットスラブ (内面エポキシライニング)	幅10.50m 長10.50m 有効深3.50m 有効容量 360m ³ 池数=1
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ	37kw Q=2.00m ³ /分 H=73.0m 2台
配水池	RC造フラットスラブ	No.1(新) GL=73.5m 幅10.50m 長10.50m 高さ5.85m 有効容量 1,100m ³ 池数=2 No.2(旧) GL=75.5m 幅15.56m 長10.50m 高さ3.85m 有効容量 450m ³ 合計有効容量≒1,550m ³

⑥ 東光寺統合施設 (山中団地・百合ヶ丘団地・星ヶ迫団地の一部
・平田五丁目、南岩国町二丁目の一部)

位置 ポンプ所 ----- 岩国市牛野谷町三丁目42

配水池 ----- 岩国市平田五丁目

面積 ポンプ所 ----- 264.00m²

配水池 ----- 3,559.00m²

配水能力 1,758m³/日

名称	構造	能力・寸法
受水槽	RC造	幅7.00m 長14.00m 有効深3.00m 有効容量 294m ³ 池数=1
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ	30kw H=75.0m 2台
配水池	RC造	GL=70.00m 幅8.40m 長12.60m 高さ3.70m 有効容量 782m ³ 池数=2

⑦ 山手ブロック

位 置 ポンプ所 ----- 岩国市山手四丁目4
 配水池 ----- 岩国市室の木町四丁目

面 積 ポンプ所 ----- 157.00㎡
 桜ヶ丘配水池 ----- 1,316.00㎡
 山手ブロック配水池 ---- 3,184.00㎡

配水能力 2,900㎡/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
送 水 ポ ン プ	片吸込み渦巻きポンプ	37.0kw H=63.0m 2台
桜 ヶ 丘 配 水 池	PC造	GL=79.90m 半径5.00m 高さ7.10m 有効容量 560㎡ 池数=1
山 手 ブ ロ ッ ク 配 水 池	SUS製	GL=89.70m ① 幅7.50 長10.00m 高さ7.50m ② 幅6.50 長10.00m 高さ7.50m 有効容量 1,000㎡

⑧ 桜地蔵団地

位 置 ポンプ所 ----- 岩国市室の木町五丁目9
 配水池 ----- 岩国市室の木町五丁目

面 積 ポンプ所 ----- 32.00㎡
 配水池 ----- 1,602.00㎡

配水能力 50㎡/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造	幅2.50m 長2.50m 高さ3.00m 有効容量 18㎡ 池数=1
送 水 ポ ン プ	片吸込み渦巻きポンプ	3.7kw 2台
配 水 池	RC造	GL=46.00m 幅3.00m 長3.00m 高さ3.00m 有効容量 27㎡ 池数=1

⑨ 旭ヶ丘団地

位 置 ポンプ所 ----- 岩国市室の木町三丁目7

配水池 ----- 岩国市室の木町三丁目

面 積 ポンプ所 ----- 38.00^m²

配水池 ----- 2,630.00^m²

配水能力 112.5^m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造	幅2.00m 長2.00m 高さ2.75m 有効容量 11 ^m ³ 池数=1
送 水 ポ ン プ	片吸込み渦巻きポンプ	3.7kw 2台
配 水 池	RC造	GL=54.00m 幅3.00m 長4.00m 高さ3.00m 有効容量 36 ^m ³ 池数=1

⑩ 平田第一ブロック (明生台団地・ガーデンシティ岩国・すみれヶ丘団地
・平田一丁目、平田二丁目の一部)

位 置 ポンプ所 ----- 岩国市川西四丁目

配水池 ----- 岩国市川西四丁目・平田一丁目

面 積 ポンプ所 ----- 124.00^m²

配水池 ----- 4,172.66^m²

配水能力 1,930^m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造	幅3.00m 長10.00m 高さ3.80m 有効容量 114 ^m ³ 池数=1
送 水 ポ ン プ	片吸込み渦巻きポンプ	30kw H=60.0m 2台
配 水 池	RC造	(新) GL=80.00m 幅5.00m 長25.00m 高さ3.20m 有効容量 869 ^m ³ 池数=2 (旧) GL=80.00m 有効容量 303 ^m ³ 合計有効容量=1,172 ^m ³

⑪ 東雲台団地

位 置 加圧設備 ----- 岩国市南岩国町五丁目

面 積 加圧設備 ----- 361.23^m²

配水能力 206m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造	幅3.00m 長6.00m 高さ3.10m 有効容量 113m ³ 池数=2
加 圧 ポ ン プ	圧力制御	5.5kw H=37.0m 2台

⑫ トーヨド団地

位 置 ポンプ所 -----岩国市南岩国町二丁目80

配水池 -----岩国市南岩国町二・四丁目

面 積 ポンプ所 ----- 202.00m²

配水池 ----- 1,065.00m²

配水能力 420m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造	幅5.00m 長5.00m 高さ3.00m 有効容量 74m ³ 池数=1
送 水 ポ ン プ	片吸込み渦巻きポンプ	15kw H=72.0m 2台
配 水 池	RC造	GL=63.00m 幅5.00m 長10.00m 高さ4.90m 有効容量 245m ³ 池数=1

⑬ 室の木団地

位 置 加圧設備 -----岩国市室の木町二丁目10

面 積 加圧設備 ----- 163.00m²

配水能力 84m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	SUS製	幅3.00m 長2.50m 高さ2.00m 有効容量 15m ³ 池数=1
加 圧 ポ ン プ	末端圧力一定制御	7.5kw H=40.0m 2台

⑭ 第三ブロック (海土路団地・一本杉団地・中電、中電プラント社宅
・警察宿舎・海土路町二丁目の一部)

位 置 ポンプ所 ----- 岩国市藤生町三丁目
配水池 ----- 岩国市藤生町五丁目・海土路町二丁目

面 積 ポンプ所 ----- 100.00㎡
配水池 ----- 1,985.00㎡

配水能力 1,120㎡/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造	幅6.20m 長7.30m 高さ3.10m 有効容量 140㎡ 池数=1
送 水 ポ ン プ	片吸込み渦巻きポンプ	18.5kw H=70.0m 2台
配 水 池	RC造	GL=76.00m 幅7.00m 長11.00m 高さ3.90m 有効容量 600㎡ 池数=2

⑮ 装束団地

位 置 加圧設備 ----- 岩国市装束町二丁目6

面 積 加圧設備 ----- 86.00㎡

配水能力 66㎡/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
加 圧 ポ ン プ	末端圧力一定制御	1.5kw H=30.0m 2台

⑯ 尾津一の谷団地

位 置 ポンプ所 ----- 岩国市尾津町二丁目
配水池 ----- 岩国市尾津町二丁目

面 積 ポンプ所 ----- 78.00㎡
配水池 ----- 126.00㎡

配水能力 175㎡/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	SUS製	幅3.00m 長3.00m 高さ3.50m 有効容量 27㎡ 池数=1

送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ	5.5kw H=60.0m 2台
配水池	SUS製	GL=86.00m 幅5.50m 長7.00m 高さ5.50m 有効容量 142m ³ 池数=2

⑰ 瀬戸海団地

位置 ポンプ所 ----- 岩国市青木町三丁目5

配水池 ----- 岩国市青木町三丁目

面積 ポンプ所 ----- 48.00m²

配水池 ----- 298.00m²

配水能力 222.6m³/日

名称	構造	能力・寸法
受水槽	RC造	幅2.50m 長4.00m 高さ3.00m 有効容量 30m ³ 池数=1
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ	5.5kw H=48.0m 2台
配水池	RC造	GL=44.00m 幅3.60m 長7.00m 高さ2.50m 有効容量 125m ³ 池数=2

⑱ 萩原団地

位置 ポンプ所 ----- 岩国市青木町三丁目34

配水池 ----- 岩国市青木町三丁目

面積 ポンプ所 ----- 70.00m²

配水池 ----- 367.00m²

配水能力 350m³/日

名称	構造	能力・寸法
受水槽	RC造	幅4.00m 長4.00m 高さ2.80m 有効容量 44m ³ 池数=1
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ	7.5kw H=78.0m 2台
配水池	RC造	GL=61.00m 幅6.00m 長10.00m 高さ3.00m 有効容量 180m ³ 池数=1

⑱ 梅ヶ丘団地

位 置 ポンプ所 ----- 岩国市平田六丁目

配水池 ----- 岩国市平田六丁目

面 積 ポンプ所 ----- 498m²

配水池 ----- 1,727m²

配水能力 2,011m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造	幅7.5m 長8.0m 高さ3.4m 有効容量 408m ³ 池数2
送 水 ポ ン プ	片吸込み渦巻きポンプ	37kw H=97m 2台
配 水 池	PC造	GL=93m 直径 16.0m 有効深4.98m 有効容量 1,000m ³ 池数=1

⑳ 黒磯団地

位 置 ポンプ所 ----- 岩国市黒磯町二丁目419-1

配水池 ----- 岩国市黒磯町二丁目53

面 積 ポンプ所 ----- 225.76m²

配水池 ----- 403.74m²

配水能力 954.3m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	RC造	幅5.5m 長8.0m 高さ3.0m 有効容量 132m ³ 池数1
送 水 ポ ン プ	片吸込み渦巻きポンプ	22kw H=90m 2台
配 水 池	RC造	GL=80.9m 幅5.5m 長4.5m 高さ2.9m 幅10m 長8.5m 高さ3.6m 有効容量 255+60=315m ³ 池数=2

㉑ 小瀬浄水場、配水池

位 置 浄水場 ----- 岩国市小瀬298-1

配水池 ----- 岩国市小瀬字墨屋

面 積 浄水場 ----- 217m²

配水池 ----- 1,055^m²

配水能力 300^m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
取 水 井	浅井戸 HP 深井戸 VU	φ 1.5m × 深8.0m (予備) φ 0.2m × 深27.7m
取 水 ポ ン プ	水中ポンプ	3.7kw Q=0.21 ^m ³ /分 H=24.0m 2台 3.7kw Q=0.21 ^m ³ /分 H=43.0m 1台
滅 菌 設 備		ダイヤフラム式 20.0 ^{ml} /分 × 2台
急 速 ろ 過 機	次亜塩素素注入機	φ 2.0m × 高さ6.0m 1基 V=12.6 ^m ³
曝 気 装 置	SUS製 通風充填塔式	φ 0.8m × 高さ3.5m 1基
送 水 ポ ン プ	多段タービンポンプ	7.5kw Q=0.2 ^m ³ /分 H=85.0m 2台
配 水 池	SUS製	GL=75.95m 幅6.0m 長13.0m 高さ3.0m 有効容量230 ^m ³

② 阿品浄水場、配水池

位 置 浄水場 ----- 岩国市阿品字麓1163

配水池 ----- 岩国市阿品字大人原486

面 積 浄水場 ----- 119^m²

配水池 ----- 281.54^m²

配水能力 84^m³/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
取 水 口	取水堰 RC造 取水柵 RC造	上巾0.2m 下巾0.6m 高さ2.25m 長さ13.4m 内径1.5m × 2m × 1.65m
導 水 管	T型ダグタイル 鋳鉄管	φ 75mm L=406.5m
沈 澱 池	RC造	2.0m × 7.6m × 2.8m × 1池 有効容量 28 ^m ³
緩 速 ろ 過 池	RC造	3.5m × 5.0m × 2池 ろ過面積 16.8 ^m ² ろ過速度5 ^m ³ /日
浄 水 池	RC造	2.0m × 3.0m × 有効水深0.58m × 1池 有効容量3.5 ^m ³
滅 菌 設 備		次亜塩素素注入ポンプ 2台
送 水 ポ ン プ	多段タービンポンプ	5.5kw Q=0.06 ^m ³ /分 H=86.0m 2台 (内1台予備)
配 水 池	RC造	GL=163.0m 幅4.0m 長6.0m 有効水深3.6m 有効容量86 ^m ³

(2) 由宇地区

① 上北浄水場、配水池

位 置	浄水場 ----- 岩国市由宇町4786-3
	上北配水池 ----- 岩国市由宇町4792-4他
	拝岩配水池 ----- 岩国市由宇町3959他
	千鳥ヶ丘配水池 ----- 岩国市由宇町7655-4
面 積	浄水場 ----- 570.78㎡
	上北配水池 ----- 862㎡
	拝岩配水池 ----- 1,172㎡
	千鳥ヶ丘配水池 ----- 540㎡
取 水 量	3,600㎡/日 (2級河川 由宇川 伏流水、地下水)
浄 水 量	5,600㎡/日 (水利権 5,010㎡/日)

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
集 水 埋 管	有孔HP管φ 300mmL=50m 有孔HP管φ 600mmL=162m	第1-104.00㎡ 第2-145.50㎡ 第3-186.96㎡ 第4-186.96㎡ 導水管8.47㎡
取 水 井	RC造 コルゲート造、ボーリング	第1 内径1.9m×深7.8m 第2 内径6.0m×深18.0m 第3 内径1.5m×深9.0m 第4 内径0.4m×深25.5m
取 水 ポ ン プ	水中モーターポンプ	φ 100×15.0kw×2台 φ 100×11.0kw×2台
発 電 設 備	ディーゼルエンジン	220V×200KVA
ろ過設備 (除マンガン)	鋼板製 高流速除マンガンろ過機	速度=600m/日 ろ過池洗浄方式 逆流洗浄+空気洗浄 凝集剤 PAC 処理能力 = 4,800㎡/日
浄 水 池	RC造	幅8.00m 長9.00m 高さ3.20m 有効容量 220㎡ 池数=1
滅 菌 設 備	次亜塩素素注入機	注入ポンプ74mℓ/分×2台 薬注タンク V=0.4㎡×1基
送 水 ポ ン プ	片吸込み渦巻きポンプ(上北) 多段タービンポンプ(拝岩) 多段渦巻きポンプ(千鳥ヶ丘)	37kw Q=2.1㎡/分 H=63m 3台 37kw Q=1.35㎡/分 H=105m 2台 37kw Q=1.35㎡/分 H=100m 2台
配 水 池	RC造	上北第1 GL=56.9m φ 8.0m 高さ3.0m 有効容量150㎡ 上北第2 GL=56.9m 幅 18.0m 長12.0m 高さ2.38m 有効容量512㎡

		拝岩 GL=69.0m 幅15.5m 長 10.0m 高さ4.0m 有効容量600m ³ 千鳥ヶ丘 GL=93.0m 幅10.0m 長 10.0m 高さ3.0m 有効容量300m ³ 幅10.0m 長6.35m 高さ3.5m 有効容量190m ³ 神束 GL=54m 幅 7.0m 長4.0m 高さ2.4m 有効容量67.2m ³
--	--	--

(3) 玖珂地区

① 瀬田水源地、配水池

位 置	水源地 ----- 岩国市玖珂町鍛冶屋田4861-1
	配水池 ----- 岩国市玖珂町瀬田山1710-2
面 積	水源地 ----- 882.756㎡
	配水池 ----- 6,192.17㎡
取 水 量	3,000㎡/日 (地下水)
浄 水 量	3,000㎡/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
取 水 井	RC造	内径5.0m×深12.0m
取 水 ポ ン プ	水中モーターポンプ	φ 80×0.729㎡/分×75m×15kw×5台
発 電 設 備	ディーゼルエンジン	220V×150KVA
消石灰注入設備	溶解槽 SS製 攪拌機 未溶解物槽 SS製 攪拌機 未溶解物ポンプ(ダイヤフラム自給式)	V=29㎡ φ 3.35m×4.0mH 0.75kw×1台 V=4㎡ φ 1.6m×2.0mH 0.75kw×1台 0.4ℓ/分×0.2kw
消石灰注入設備	ラインミキサー SGP 1台沈降槽 SS製 チェンブロック 消石灰倉庫 RC造	V=4㎡ 2.0m×2.5m×0.8mH 1t吊 1台 7.0m×3.0m=21㎡
滅 菌 設 備	次亜塩素素注入機	注入ポンプ 31mℓ/分×2台 薬注タンク V=1.2㎡×1基
配 水 池	SUS製	GL=110m 幅10.0m 長21.0m 高さ6.0m 有効容量1,100㎡

② 野口ポンプ所、配水池

位 置	ポンプ所 ----- 岩国市玖珂町野口字光ヶ迫3131-1
	配水池 ----- 岩国市玖珂町野口上501-105
面 積	ポンプ所 ----- 989.09㎡
	配水池 ----- 1,205㎡
配 水 能 力	420㎡/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
受 水 槽	SUS製	V=10㎡

送水ポンプ	タービンポンプ	$\phi 50 \times 0.233\text{m}^3/\text{分} \times 83\text{m} \times 7.5\text{kw} \times 3\text{台}$
配水池	SUS製	GL=124m 幅 7.0m 長14m 高さ 2.5m 有効容量200 m^3

③ 谷津ポンプ所、配水池

位置 ポンプ所 ----- 岩国市玖珂町谷津上679-7

配水池 ----- 岩国市玖珂町谷津上675-4

面積 ポンプ所 ----- 108.89 m^2

配水池 ----- 749 m^2

配水能力 280 $\text{m}^3/\text{日}$

名称	構造	能力・寸法
受水槽	SUS製	V=10 m^3
送水ポンプ	多段渦巻きポンプ	7.5kw Q=146 $\text{l}/\text{分}$ H=72m 2台
配水池	SUS製	GL=135m 幅4.0m 長10.0m 高さ3.0m 有効容量100 m^3

④ 有延ポンプ所

位置 岩国市玖珂町有延5652

面積 2,545 m^2

※高森南浄水場から受水

名称	構造	能力・寸法
受水槽	SUS製	6.0m \times 8.0m \times 3.0mH V=100 m^3
送水ポンプ	多段渦巻きポンプ	30kw Q=1.39 $\text{m}^3/\text{分}$ H=74m 2台

(4) 周東地区

① 高森南浄水場、配水池

位 置	浄水場 -----周東町上久原488-1
	配水池 -----周東町上久原13
面 積	浄水場 ----- 931 ^{m²}
	配水池 ----- 4,974 ^{m²}
取 水 量	2,995 ^{m³} /日 (地下水)
浄 水 量	2,995 ^{m³} /日

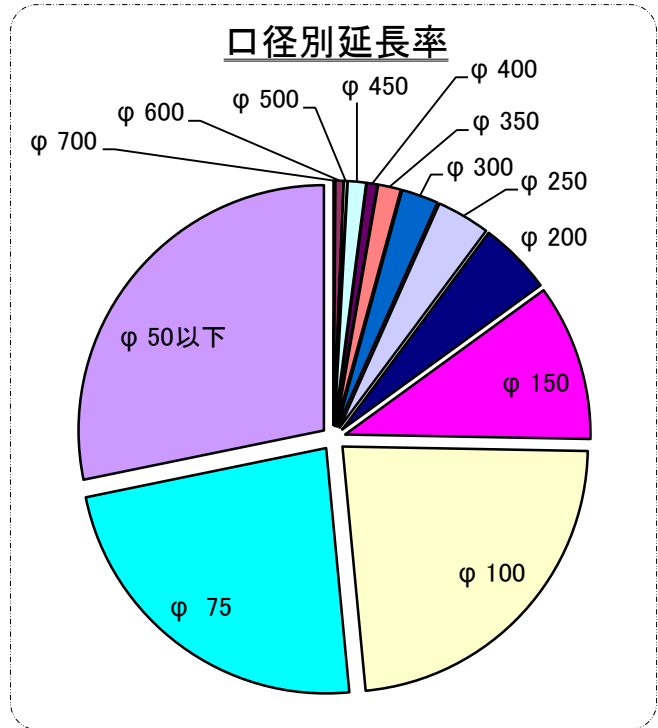
名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
取 水 井	RC造	深井戸 内径0.2m × 深25.0m × 2本 内径0.3m × 深25.0m × 1本 浅井戸 内径1.0m × 深15.0m × 1本
取 水 ポ ン プ	水中モーターポンプ	φ 100 × 0.81 ^{m³} /分 × 30m × 7.5kw × 3台 φ 100 × 0.69 ^{m³} /分 × 25m × 7.5kw × 2台
発 電 設 備	ディーゼルエンジン	220V × 45KVA 220V × 95KVA
滅 菌 設 備	次亜塩素注入機	注入ポンプ 25ml/分 × 4台 6ml/分 × 2台 薬注タンク V=200ℓ × 4基
浄 水 池	RC造 SUS製	V=50 ^{m³} 4 × 2.5 × 3 × 2池 V=42 ^{m³} 2.5 × 4.5 × 2.5 × 2池
送 水 ポ ン プ	多段渦巻きポンプ (フライホイール付)	φ 100 × 0.81 ^{m³} /分 × 95m × 30kw × 2台 φ 100 × 0.69 ^{m³} /分 × 95m × 30kw × 2台
配 水 池	PC造 RC造 SUS製	第1:V=326 ^{m³} 第2:V=336 ^{m³} 第3:V=528 ^{m³} GL=111m

6 配水管

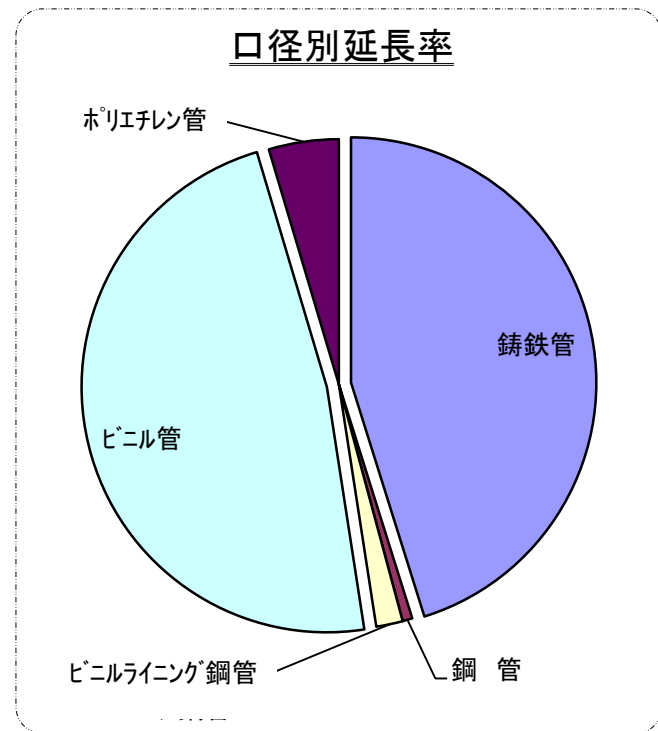
(1) 年度別布設延長表

管種	口径(mm)	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度	
					当年度分	年度末累計
鑄 鉄 管	700	755.0	755.0	755.0	0.0	755.0
	600	3,521.0	3,521.0	3,521.0	0.0	3,521.0
	500	1,472.0	1,472.0	1,472.0	0.0	1,472.0
	450	8,033.0	8,033.0	8,033.0	0.0	8,033.0
	400	4,507.0	4,507.0	4,507.0	0.0	4,507.0
	350	7,339.0	9,333.0	9,333.0	632.0	9,965.0
	300	7,791.0	9,925.0	13,618.0	728.0	14,346.0
	250	19,449.9	22,207.9	22,434.9	32.0	22,466.9
	200	26,413.5	28,114.5	28,114.5	743.0	28,857.5
	150	50,571.4	52,544.4	53,697.4	5,259.9	58,957.3
	100	69,474.2	70,506.2	73,040.2	17,256.0	90,296.2
	75	36,548.0	38,432.0	46,848.0	8,543.0	55,391.0
50以下	15.1	15.1	15.1	0.0	15.1	
小計		235,890.1	249,366.1	265,389.1	33,193.9	298,583.0
鋼 管	450	216.0	216.0	216.0	0.0	216.0
	400	18.0	18.0	18.0	0.0	18.0
	350	393.0	393.0	393.0	0.0	393.0
	300	252.0	252.0	252.0	0.0	252.0
	250	387.9	387.9	387.9	0.0	387.9
	200	202.2	202.2	202.2	0.0	202.2
	150	995.5	995.5	995.5	0.0	995.5
	100	188.9	188.9	188.9	0.0	188.9
	75	322.0	322.0	377.0	0.0	377.0
	50以下	1,224.3	1,228.3	1,293.3	0.0	1,293.3
小計		4,199.8	4,203.8	4,323.8	0.0	4,323.8
ラ イ ニ ン グ 鋼 管	450	17.0	17.0	17.0	0.0	17.0
	400	39.0	39.0	39.0	0.0	39.0
	350	13.0	13.0	13.0	0.0	13.0
	300	24.0	87.0	87.0	0.0	87.0
	250	26.5	70.5	70.5	184.0	254.5
	200	222.0	222.0	222.0	0.0	222.0
	150	268.1	278.1	282.1	20.0	302.1
	100	888.8	888.8	940.8	0.0	940.8
	75	1,899.8	1,900.8	1,954.8	0.0	1,954.8
	50以下	7,520.8	7,539.8	7,825.8	△ 66.0	7,759.8
小計		10,919.0	11,056.0	11,452.0	138.0	11,590.0
石 綿 管	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビ ニ ル 管	250	111.0	83.0	83.0	0.0	83.0
	200	580.5	394.5	394.5	0.0	394.5
	150	7,934.7	7,595.7	7,221.7	△ 81.0	7,140.7
	100	56,813.9	57,768.9	57,397.9	△ 276.0	57,121.9
	75	86,882.9	88,431.9	92,258.9	532.0	92,790.9
	50	121,022.1	121,992.1	123,906.0	6,272.0	130,178.0
	40以下	23,652.1	24,022.1	25,779.1	2,689.0	28,468.1
	小計	296,997.2	300,288.2	307,041.1	9,136.0	316,177.1
ポ リ エ チ レ ン 管	300	1,314.8	1,314.8	1,314.8	0.0	1,314.8
	200	262.8	262.8	262.8	1,887.0	2,149.8
	150	436.5	436.5	477.5	262.0	739.5
	100	1,951.2	1,951.2	1,951.2	2,864.0	4,815.2
	75	2,767.7	2,767.7	3,377.7	85.0	3,462.7
	50	7,439.4	7,439.4	7,714.4	5,826.0	13,540.4
	40以下	3,994.8	3,994.8	4,192.8	298.0	4,490.8
小計	18,167.2	18,167.2	19,291.2	11,222.0	30,513.2	
合 計		566,173.3	583,081.3	607,497.2	53,689.9	661,187.1

口径(mm)	延長(m)	割合(%)
φ 700	755.0	0.11
φ 600	3,521.0	0.53
φ 500	1,472.0	0.22
φ 450	8,266.0	1.20
φ 400	4,564.0	0.69
φ 350	10,371.0	1.50
φ 300	15,999.8	2.42
φ 250	23,192.3	3.51
φ 200	31,826.0	4.81
φ 150	68,135.1	10.30
φ 100	153,363.0	23.20
φ 75	153,976.4	23.29
φ 50以下	185,745.5	28.22
合計	661,187.1	100.00



管種	延長(m)	割合(%)
鋳鉄管	298,583.0	45.16
鋼管	4,323.8	0.65
ビニルライニング鋼管	11,590.0	1.75
ビニル管	316,177.1	47.83
ポリエチレン管	30,513.2	4.61
合計	661,187.1	100.0



7 施設写真

(1) 錦見浄水場



全景



運転管理室



原水ポンプ室



急速ろ過池

(2) 牛野谷加圧施設



牛野谷ポンプ所



牛野谷配水池

(3) 愛宕加圧設備



愛宕加圧設備



加圧ポンプ

(4) 平田加圧施設



平田ポンプ所



平田配水池

(5) 通津加圧施設



通津ポンプ所



通津配水池

(6) 高台団地施設



尾津一の谷団地ポンプ所



尾津一の谷団地配水池



山手ブロックポンプ所



山手ブロック配水池

(7) 由宇地区施設



上北浄水場



拝岩配水池

(8) 玖珂地区施設



瀬田水源地



瀬田配水池



野口配水池



有延ポンプ所

(9) 周東地区施設



高森南浄水場



高森南配水池

(10) 配水管



愛宕橋水管橋



新寿橋添架配水管



長野川横断配水管



御庄大橋添架配水管

(Ⅲ) 業 務

- 1 給水普及状況
- 2 配水量
- 3 取水量
- 4 電気使用量
- 5 給水状況
- 6 メーター設置状況
- 7 給水収益
- 8 水道料金早見表
- 9 加入金
- 10 職員構成
- 11 平成24年度建設改良工事

1 給水普及状況

(1) 年度別給水普及状況

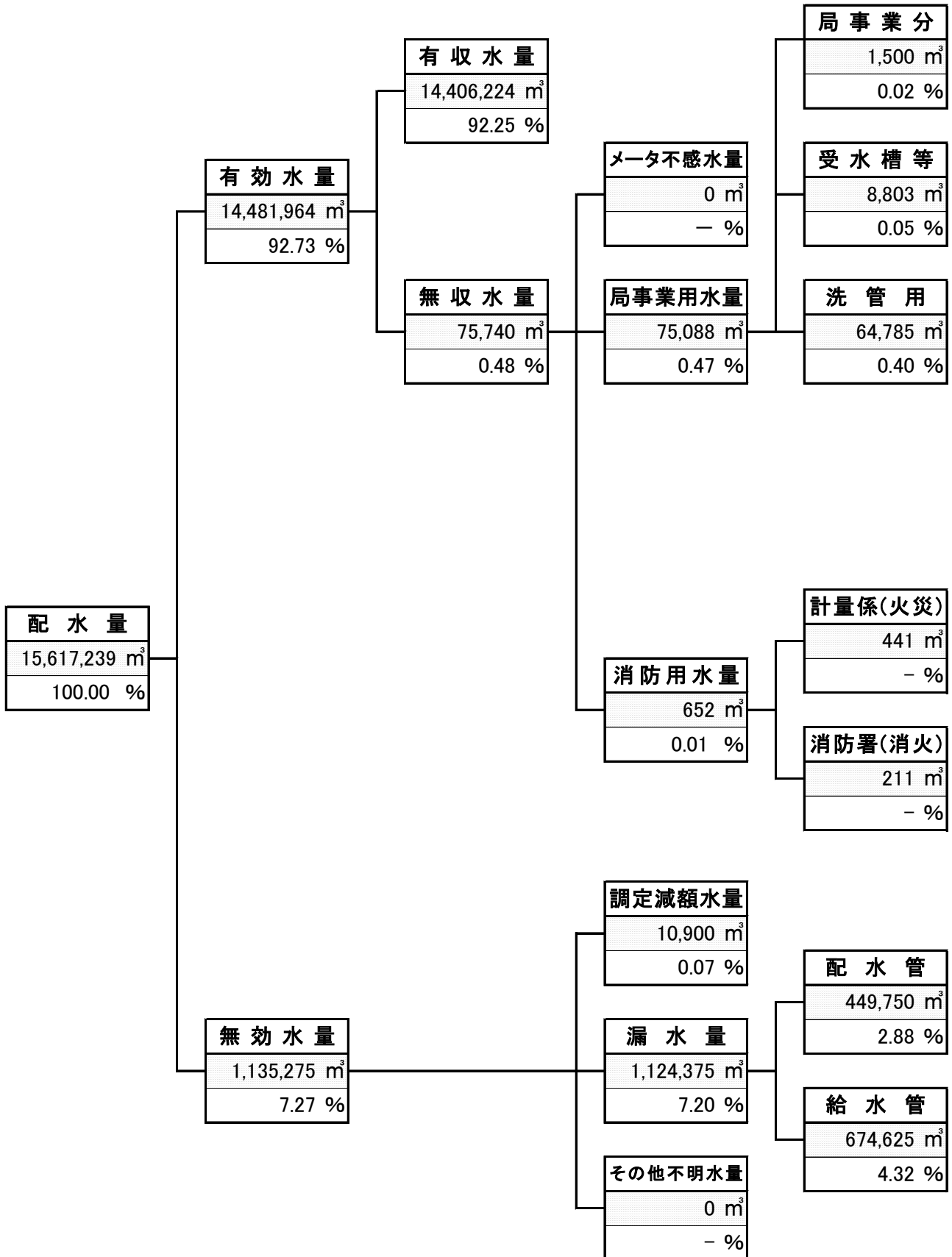
区分		年度				平成23年度比較	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増△減	比率
行政区域内世帯数 (A)		67,186	67,099	66,879	66,827	△ 52	99.9 %
行政区域内人口 (a)		148,187	146,932	145,428	144,124	△ 1,304	99.1 %
岩国市	給水区域内世帯数(B)	52,768	52,750	53,089	54,825	1,736	103.3 %
	給水区域内人口(b)	116,680	116,020	116,176	119,214	3,038	102.6 %
和木町	給水区域内世帯数(C)	1,952	1,960	1,968	1,970	2	100.1 %
	給水区域内人口(c)	4,615	4,566	4,551	4,515	△ 36	99.2 %
給水区域内世帯数計(B+C)		54,720	54,710	55,057	56,795	1,738	103.2 %
給水区域内人口計 (b+c)		121,295	120,586	120,727	123,729	3,002	102.5 %
岩国市	現在給水世帯数(D)	48,502	48,457	48,720	49,924	1,204	102.5 %
	現在給水人口 (d)	107,777	107,062	106,653	108,626	1,973	101.8 %
和木町	現在給水世帯数(E)	1,952	1,960	1,968	1,970	2	100.1 %
	現在給水人口 (e)	4,615	4,566	4,551	4,515	△ 36	99.2 %
現在給水世帯数計 (D+E)		50,454	50,417	50,688	51,894	1,206	102.4 %
現在給水人口計 (d+e)		112,392	111,628	111,204	113,141	1,937	101.7 %
行政区域内世帯数普及率(%)		72.19	72.22	72.85	74.71	1.86	102.6 %
行政区域内人口普及率(%) (d/a)		72.73	72.86	73.34	75.37	2.03	102.8 %
給水区域内(岩国市)世帯数普及率(%) (D/B)		91.92	91.86	91.77	91.06	△ 0.71	99.2 %
給水区域内(岩国市)人口普及率(%) (d/b)		92.37	92.28	91.80	91.12	△ 0.68	99.3 %
給水区域内(和木含む)世帯数普及率(%)		92.20	92.15	92.06	91.37	△ 0.69	99.3 %
給水区域内(和木含む)人口普及率(%)		92.66	92.57	92.11	91.44	△ 0.67	99.3 %

2 配水量

(1) 平成24年度月別配水量

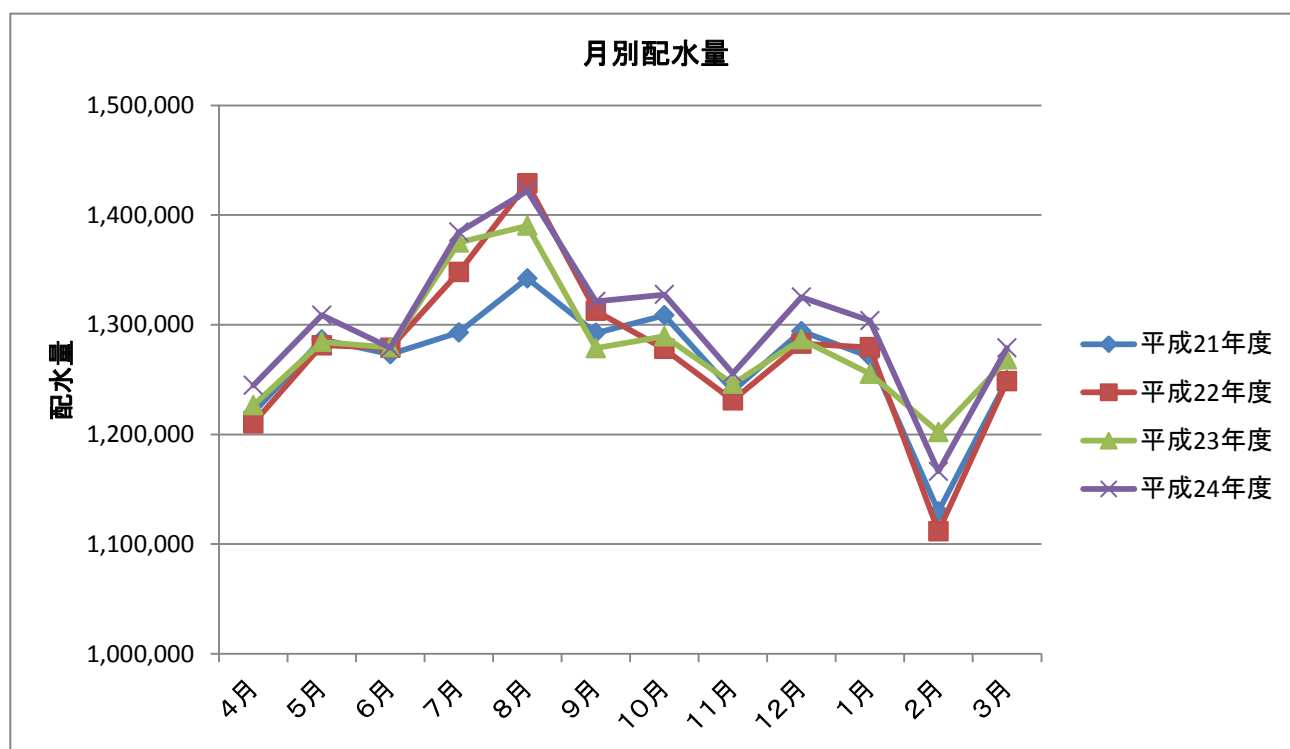
月別	総配水量	1日最大	1日最小	1日平均	1人1日平均	備考
	m ³	m ³	m ³	m ³	ℓ	
4月	1,244,652	44,374	39,100	41,488	367	
5月	1,308,667	45,087	39,229	42,215	373	
6月	1,278,964	45,559	38,785	42,632	377	
7月	1,384,464	49,688	40,627	44,660	395	最大平24. 7. 30
8月	1,422,109	48,610	41,097	45,874	405	
9月	1,321,149	46,911	39,424	44,038	389	
10月	1,327,551	44,704	39,349	42,824	379	
11月	1,255,722	43,749	39,484	41,857	370	
12月	1,325,161	46,673	40,247	42,747	378	
1月	1,303,758	43,905	38,714	42,057	372	最小平25. 1. 13
2月	1,166,231	43,858	39,792	41,651	368	
3月	1,278,811	42,955	39,021	41,252	365	
	15,617,239					
	1,301,437			42,787	378	

(2) 平成24年度配水量分析



(3) 年度別総配水量

年度 月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度比較	
					増△減	比 率
4月	1,219,781	1,209,956	1,226,519	1,244,652	18,133	101.5 %
5月	1,286,482	1,281,290	1,284,301	1,308,667	24,366	101.9 %
6月	1,273,042	1,278,837	1,279,336	1,278,964	△ 372	100.0 %
7月	1,292,897	1,347,884	1,374,993	1,384,464	9,471	100.7 %
8月	1,342,256	1,428,815	1,390,256	1,422,109	31,853	102.3 %
9月	1,292,478	1,312,668	1,278,568	1,321,149	42,581	103.3 %
10月	1,308,535	1,277,850	1,289,448	1,327,551	38,103	103.0 %
11月	1,239,672	1,231,045	1,246,047	1,255,722	9,675	100.8 %
12月	1,294,142	1,282,650	1,286,688	1,325,161	38,473	103.0 %
1月	1,270,921	1,279,296	1,255,334	1,303,758	48,424	103.9 %
2月	1,129,802	1,111,547	1,202,165	1,166,231	△ 35,934	97.0 %
3月	1,249,218	1,248,453	1,268,196	1,278,811	10,615	100.8 %
計	15,199,226	15,290,291	15,381,851	15,617,239	235,388	101.5 %
平均	1,266,602	1,274,191	1,281,821	1,301,437	19,616	101.5 %



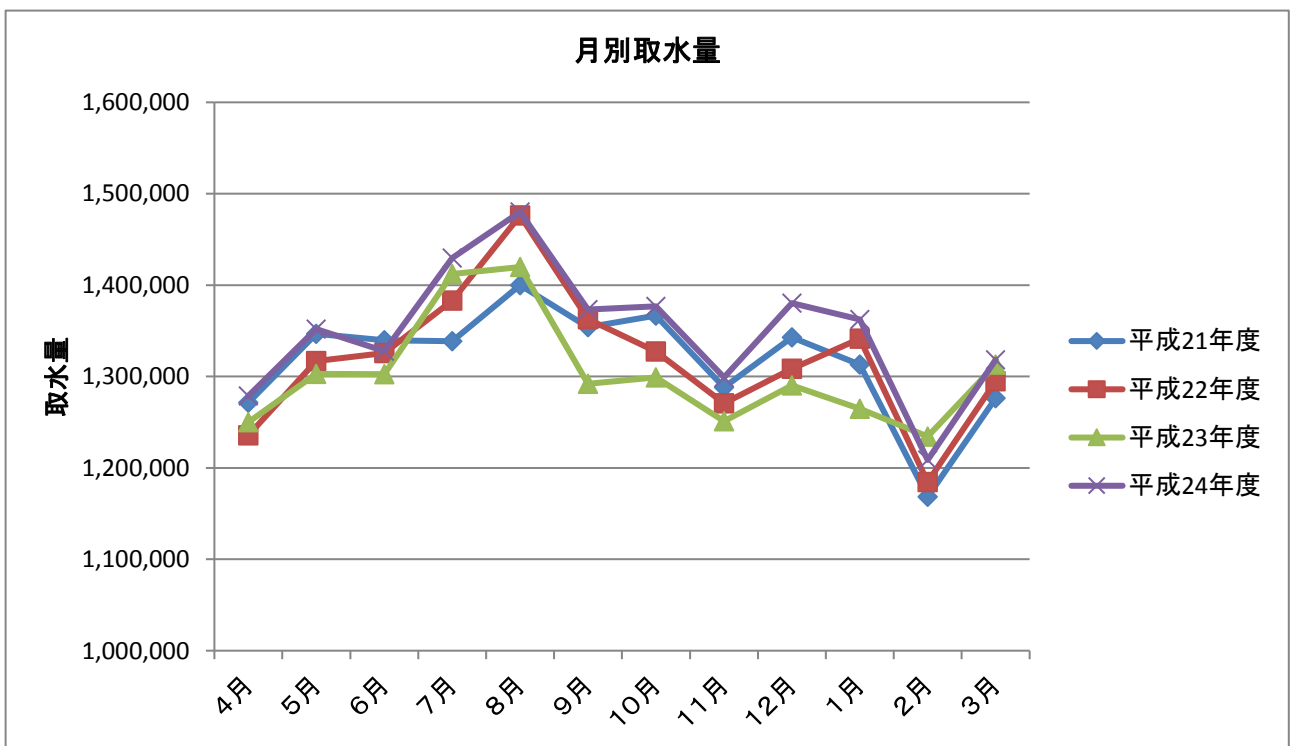
3 取水量

(1) 平成24年度月別取水量

月別	総取水量	1日最大	1日最小	1日平均	1人1日平均	備考
4月	1,278,714 m ³	46,081 m ³	39,839 m ³	42,624 m ³	377 ℓ	
5月	1,351,937	46,754	39,889	43,611	385	
6月	1,327,735	47,887	39,900	44,258	391	
7月	1,429,524	51,551	40,872	46,114	408	
8月	1,480,091	53,429	42,906	47,745	422	最大平24.8.9
9月	1,373,449	48,690	40,503	45,782	405	
10月	1,376,649	47,714	40,814	44,408	393	
11月	1,299,200	46,220	40,065	43,307	383	
12月	1,380,320	48,957	40,473	44,526	394	
1月	1,362,269	49,900	40,242	43,944	388	
2月	1,208,696	47,070	40,343	43,168	382	
3月	1,318,427	46,700	39,508	42,530	376	最小平25.3.27
計	16,187,011					
平均	1,348,918			44,348	392	

(2) 年度別総取水量

年度 月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度比較	
					増△減	比率
4月	1,271,326	1,235,619	1,249,944	1,278,714	28,770	102.3 %
5月	1,346,609	1,316,842	1,303,053	1,351,937	48,884	103.8 %
6月	1,339,516	1,325,636	1,302,575	1,327,735	25,160	101.9 %
7月	1,338,492	1,383,126	1,412,185	1,429,524	17,339	101.2 %
8月	1,400,023	1,476,192	1,419,794	1,480,091	60,297	104.2 %
9月	1,354,101	1,362,853	1,292,212	1,373,449	81,237	106.3 %
10月	1,366,741	1,327,412	1,298,983	1,376,649	77,666	106.0 %
11月	1,288,288	1,270,512	1,251,032	1,299,200	48,168	103.9 %
12月	1,342,947	1,308,549	1,290,419	1,380,320	89,901	107.0 %
1月	1,313,091	1,341,352	1,264,698	1,362,269	97,571	107.7 %
2月	1,168,355	1,184,533	1,234,363	1,208,696	△ 25,667	97.9 %
3月	1,276,192	1,294,856	1,312,981	1,318,427	5,446	100.4 %
計	15,805,681	15,827,482	15,632,239	16,187,011	554,772	103.5 %
平均	1,317,140	1,318,957	1,302,687	1,348,918	46,231	103.5 %



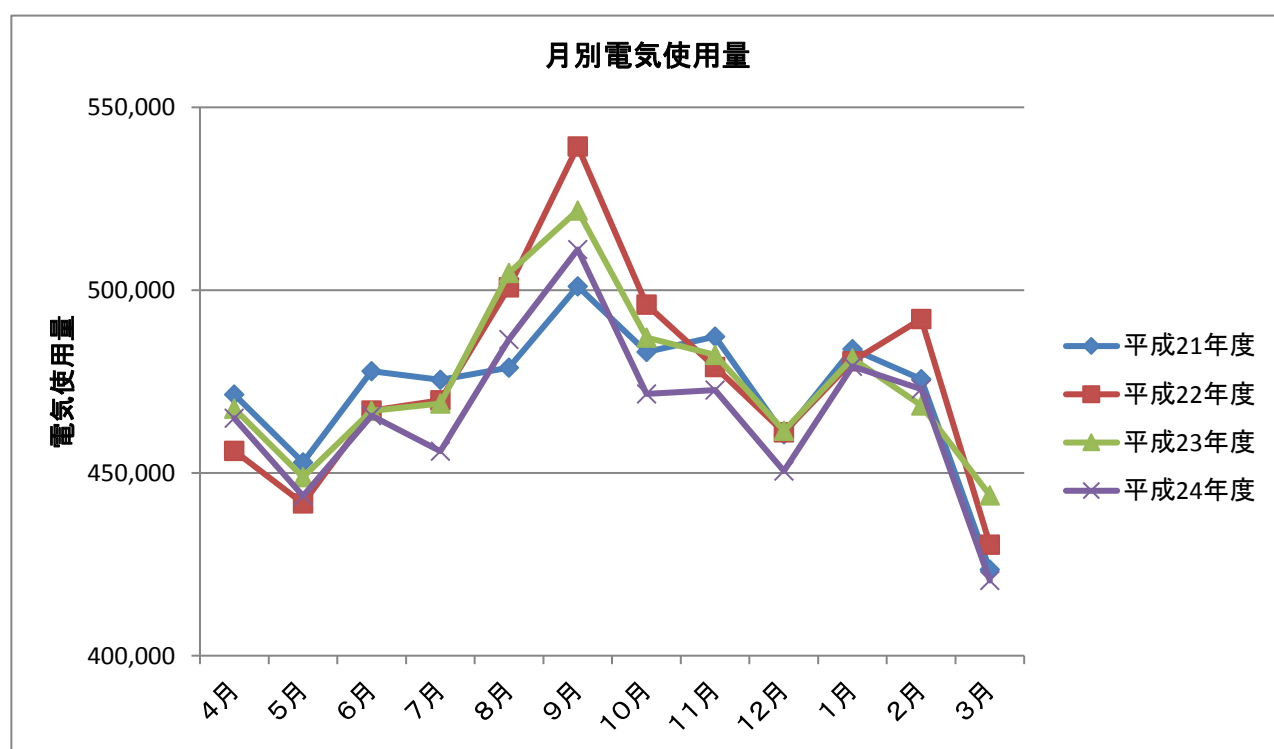
4 電気使用量

(1) 平成24年度月別電気使用量

月 別	錦 見	牛 野 谷	平 田	玖 珂	由 宇	合 計
4 月	294,624 ^{KWH}	78,702 ^{KWH}	21,286 ^{KWH}	25,474 ^{KWH}	44,868 ^{KWH}	464,954 ^{KWH}
5 月	276,024	77,634	20,650	25,891	43,481	443,680
6 月	290,856	82,326	22,128	25,018	45,324	465,652
7 月	287,904	79,992	21,365	23,395	43,296	455,952
8 月	303,792	86,334	22,939	25,613	47,825	486,503
9 月	323,328	88,548	22,807	28,111	48,334	511,128
10 月	299,808	82,212	21,674	25,092	42,821	471,607
11 月	297,576	82,518	21,427	26,309	44,870	472,700
12 月	283,164	77,760	20,347	25,800	43,464	450,535
1 月	302,508	82,008	21,314	27,461	45,857	479,148
2 月	299,340	80,574	21,110	26,110	45,811	472,945
3 月	264,876	71,214	18,838	25,106	40,524	420,558
計	3,523,800	969,822	255,885	309,380	536,475	5,595,362
平均	293,650	80,819	21,324	25,782	44,706	466,280

(2) 年度別電気使用量

年度 月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度比較	
					増△減	比率
4月	471,423	456,015	467,541	464,954	△ 2,587	99.4 %
5月	452,901	441,707	448,819	443,680	△ 5,139	98.9 %
6月	477,808	467,072	466,934	465,652	△ 1,282	99.7 %
7月	475,439	469,818	469,014	455,952	△ 13,062	97.2 %
8月	478,752	500,737	504,726	486,503	△ 18,223	96.4 %
9月	501,028	539,329	521,795	511,128	△ 10,667	98.0 %
10月	483,059	496,067	487,002	471,607	△ 15,395	96.8 %
11月	487,247	478,980	482,253	472,700	△ 9,553	98.0 %
12月	460,612	461,090	461,538	450,535	△ 11,003	97.6 %
1月	483,865	480,533	481,358	479,148	△ 2,210	99.5 %
2月	475,624	492,087	468,435	472,945	4,510	101.0 %
3月	423,534	430,410	443,884	420,558	△ 23,326	94.7 %
計	5,671,292	5,713,845	5,703,299	5,595,362	△ 107,937	98.1 %
平均	472,608	476,154	475,275	466,280	△ 8,995	98.1 %



5 給水状況

(1) 年度別・用途別給水量

種別	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		23年度比較
	給水量	率	給水量	率	給水量	率	給水量	率	増△減
一般用	m ³ 14,234,547	% 99.8	m ³ 14,227,489	% 99.8	m ³ 14,133,624	% 99.8	m ³ 14,389,698	% 99.8	m ³ 256,074
公衆浴場用	14,814	0.1	10,454	0.1	9,362	0.1	5,795	0.1	△ 3,567
臨時用	14,553	0.1	14,115	0.1	17,433	0.1	10,731	0.1	△ 6,702
計	14,263,914	100.0	14,252,058	100.0	14,160,419	100.0	14,406,224	100.0	245,805
有収水量率	93.9%		93.5%		92.1%		92.2%		0.1%
有効水量率	94.0%		93.7%		92.3%		92.7%		0.4%

6 メーター設置状況

(1) 年度別・口径別メーター設置数

口径	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		23年度比較
	個数	率(%)	個数	率(%)	個数	率(%)	個数	率(%)	増△減
13mm	24,058	46.89	24,421	46.87	24,347	46.37	25,268	46.37	921
20mm	24,867	48.47	25,294	48.54	25,778	49.10	26,771	49.13	993
25mm	1,462	2.85	1,467	2.82	1,473	2.81	1,497	2.75	24
30mm	261	0.51	264	0.51	264	0.50	269	0.49	5
40mm	381	0.74	382	0.73	374	0.71	390	0.72	16
50mm	177	0.35	180	0.35	179	0.34	197	0.36	18
75mm	72	0.14	71	0.14	70	0.13	75	0.14	5
100mm	14	0.03	14	0.03	14	0.03	15	0.03	1
150mm	8	0.02	7	0.01	7	0.01	6	0.01	△ 1
200mm	2	0.00	2	0.00	2	0.00	2	0.00	0
250mm	1	0.00	1	0.00	1	0.00	1	0.00	0
300mm	1	0.00	1	0.00	1	0.00	1	0.00	0
計	51,304	100.0	52,104	100.0	52,510	100.0	54,492	100.0	1,982

7 給水収益

(1) 月別収納状況

月別	随 時		口 座 制		和 木 町 委 託		合 計	
			納 付 制					
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
3・4	527	533,642	18,634	76,752,063	1,889	7,301,730	25,518	140,136,193
			4,468	55,548,758				
4・5	444	533,139	20,102	72,837,659			25,062	118,448,411
			4,516	45,077,613				
5・6	348	333,991	18,621	78,827,373	1,896	7,543,026	25,436	150,028,819
			4,571	63,324,429				
6・7	436	462,671	20,115	72,940,241			25,075	128,924,860
			4,524	55,521,948				
7・8	404	1,335,133	18,623	80,816,563	1,908	8,886,642	25,570	162,365,693
			4,635	71,327,355				
8・9	324	939,377	20,084	81,628,252			24,977	131,365,814
			4,569	48,798,185				
9・10	428	706,559	18,628	83,406,600	1,904	7,985,394	25,612	163,235,179
			4,652	71,136,626				
10・11	293	292,981	20,175	76,737,429			25,131	127,427,869
			4,663	50,397,459				
11・12	313	274,690	18,610	79,759,688	1,903	8,203,344	25,508	146,232,604
			4,682	57,994,882				
12・1	306	776,244	20,179	73,272,015			25,163	119,947,199
			4,678	45,898,940				
1・2	354	362,077	18,606	78,927,431	1,903	8,150,086	25,533	153,803,954
			4,670	66,364,360				
2・3	521	493,895	20,178	68,243,209			25,413	114,572,856
			4,714	45,835,752				
計	4,698	7,044,399	232,555	924,148,523	11,403	48,070,222	303,998	1,656,489,451
			55,342	677,226,307				

年度内収納		不納欠損		年度末残高		収納率	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
件	円	件	円	件	円	%	%
25,494	140,093,147			24	43,046	99.91	99.97
25,036	118,418,202			26	30,209	99.90	99.97
25,401	149,851,012			35	177,807	99.86	99.88
25,059	128,898,617			16	26,243	99.94	99.98
25,520	162,254,435			50	111,258	99.80	99.93
24,955	131,318,277			22	47,537	99.91	99.96
25,555	163,099,838			57	135,341	99.78	99.92
25,084	127,065,867			47	362,002	99.81	99.72
25,263	143,979,542			245	2,253,062	99.04	98.46
24,289	117,178,290			874	2,768,909	96.53	97.69
21,294	137,164,318			4,239	16,639,636	83.40	89.18
387	446,513			25,026	114,126,343	1.52	0.39
273,337	1,519,768,058	0	0	30,661	136,721,393	89.91	91.75

8 水道料金早見表

(1) メーター口径13mm

金額は税込み額(下段は消費税額)

(単位:円)

水量	0m ³	1m ³	2m ³	3m ³	4m ³	5m ³	6m ³	7m ³	8m ³	9m ³
0m ³	924 (44)									
10m ³	924 (44)							992 (47)	1,060 (50)	1,128 (53)
20m ³	1,197 (57)	1,265 (60)	1,333 (63)	1,401 (66)	1,470 (70)	1,538 (73)	1,606 (76)	1,674 (79)	1,743 (83)	1,811 (86)
30m ³	1,879 (89)	1,947 (92)	2,016 (96)	2,084 (99)	2,152 (102)	2,220 (105)	2,289 (109)	2,357 (112)	2,425 (115)	2,493 (118)
40m ³	2,562 (122)	2,651 (126)	2,740 (130)	2,829 (134)	2,919 (139)	3,008 (143)	3,097 (147)	3,186 (151)	3,276 (156)	3,365 (160)
50m ³	3,454 (164)	3,543 (168)	3,633 (173)	3,722 (177)	3,811 (181)	3,900 (185)	3,990 (190)	4,079 (194)	4,168 (198)	4,257 (202)
60m ³	4,347 (207)	4,473 (213)	4,599 (219)	4,725 (225)	4,851 (231)	4,977 (237)	5,103 (243)	5,229 (249)	5,355 (255)	5,481 (261)
70m ³	5,607 (267)	5,733 (273)	5,859 (279)	5,985 (285)	6,111 (291)	6,237 (297)	6,363 (303)	6,489 (309)	6,615 (315)	6,741 (321)
80m ³	6,867 (327)	6,993 (333)	7,119 (339)	7,245 (345)	7,371 (351)	7,497 (357)	7,623 (363)	7,749 (369)	7,875 (375)	8,001 (381)
90m ³	8,127 (387)	8,253 (393)	8,379 (399)	8,505 (405)	8,631 (411)	8,757 (417)	8,883 (423)	9,009 (429)	9,135 (435)	9,261 (441)
100m ³	9,387 (447)	9,544 (454)	9,702 (462)	9,859 (469)	10,017 (477)	10,174 (484)	10,332 (492)	10,489 (499)	10,647 (507)	10,804 (514)
110m ³	10,962 (522)	11,119 (529)	11,277 (537)	11,434 (544)	11,592 (552)	11,749 (559)	11,907 (567)	12,064 (574)	12,222 (582)	12,379 (589)
120m ³	12,537 (597)	12,694 (604)	12,852 (612)	13,009 (619)	13,167 (627)	13,324 (634)	13,482 (642)	13,639 (649)	13,797 (657)	13,954 (664)
130m ³	14,112 (672)	14,269 (679)	14,427 (687)	14,584 (694)	14,742 (702)	14,899 (709)	15,057 (717)	15,214 (724)	15,372 (732)	15,529 (739)
140m ³	15,687 (747)	15,844 (754)	16,002 (762)	16,159 (769)	16,317 (777)	16,474 (784)	16,632 (792)	16,789 (799)	16,947 (807)	17,104 (814)
150m ³	17,262 (822)	17,419 (829)	17,577 (837)	17,734 (844)	17,892 (852)	18,049 (859)	18,207 (867)	18,364 (874)	18,522 (882)	18,679 (889)

(2) メーター口径20mm

金額は税込み額(下段は消費税額)

(単位:円)

水量	0m ³	1m ³	2m ³	3m ³	4m ³	5m ³	6m ³	7m ³	8m ³	9m ³
0m ³	1,071 (51)									
10m ³	1,071 (51)							1,139 (54)	1,207 (57)	1,275 (60)
20m ³	1,344 (64)	1,412 (67)	1,480 (70)	1,548 (73)	1,617 (77)	1,685 (80)	1,753 (83)	1,821 (86)	1,890 (90)	1,958 (93)
30m ³	2,026 (96)	2,094 (99)	2,163 (103)	2,231 (106)	2,299 (109)	2,367 (112)	2,436 (116)	2,504 (119)	2,572 (122)	2,640 (125)
40m ³	2,709 (129)	2,798 (133)	2,887 (137)	2,976 (141)	3,066 (146)	3,155 (150)	3,244 (154)	3,333 (158)	3,423 (163)	3,512 (167)
50m ³	3,601 (171)	3,690 (175)	3,780 (180)	3,869 (184)	3,958 (188)	4,047 (192)	4,137 (197)	4,226 (201)	4,315 (205)	4,404 (209)
60m ³	4,494 (214)	4,620 (220)	4,746 (226)	4,872 (232)	4,998 (238)	5,124 (244)	5,250 (250)	5,376 (256)	5,502 (262)	5,628 (268)
70m ³	5,754 (274)	5,880 (280)	6,006 (286)	6,132 (292)	6,258 (298)	6,384 (304)	6,510 (310)	6,636 (316)	6,762 (322)	6,888 (328)
80m ³	7,014 (334)	7,140 (340)	7,266 (346)	7,392 (352)	7,518 (358)	7,644 (364)	7,770 (370)	7,896 (376)	8,022 (382)	8,148 (388)
90m ³	8,274 (394)	8,400 (400)	8,526 (406)	8,652 (412)	8,778 (418)	8,904 (424)	9,030 (430)	9,156 (436)	9,282 (442)	9,408 (448)
100m ³	9,534 (454)	9,691 (461)	9,849 (469)	10,006 (476)	10,164 (484)	10,321 (491)	10,479 (499)	10,636 (506)	10,794 (514)	10,951 (521)
110m ³	11,109 (529)	11,266 (536)	11,424 (544)	11,581 (551)	11,739 (559)	11,896 (566)	12,054 (574)	12,211 (581)	12,369 (589)	12,526 (596)
120m ³	12,684 (604)	12,841 (611)	12,999 (619)	13,156 (626)	13,314 (634)	13,471 (641)	13,629 (649)	13,786 (656)	13,944 (664)	14,101 (671)
130m ³	14,259 (679)	14,416 (686)	14,574 (694)	14,731 (701)	14,889 (709)	15,046 (716)	15,204 (724)	15,361 (731)	15,519 (739)	15,676 (746)
140m ³	15,834 (754)	15,991 (761)	16,149 (769)	16,306 (776)	16,464 (784)	16,621 (791)	16,779 (799)	16,936 (806)	17,094 (814)	17,251 (821)
150m ³	17,409 (829)	17,566 (836)	17,724 (844)	17,881 (851)	18,039 (859)	18,196 (866)	18,354 (874)	18,511 (881)	18,669 (889)	18,826 (896)

9 加入金

(1) 口径別加入金表

給水装置を新設し、又はメーターの口径を増径する者は、メーターの口径の区分に従い、次の表に掲げる額を加入金として納入しなければならない。この場合においてメーターの口径を増径する者が納付する加入金額は、新口径に係る加入金額と旧口径に係る加入金額との差額とする。

メーター口径	加入金額(下段は消費税額)
13mm	52,500 円 (2,500 円)
20mm	94,500 円 (4,500 円)
25mm	178,500 円 (8,500 円)
30mm	294,000 円 (14,000 円)
40mm	493,500 円 (23,500 円)
50mm	882,000 円 (42,000 円)
75mm	1,890,000 円 (90,000 円)
100mm以上	管理者が別に定める

10 職員構成

(1) 職員定数および実数

区 分	定 数	年度当初実数	異 動		年度末実数
			増 加	減 少	
主 事	92 人	36 人	1 人	0 人	37 人
技 師		36	2	0	38
主 事 見 習		1	0	1	0
技 師 見 習		2	0	2	0
小 計	92	75	3	3	75
臨 時 職 員	0	2	0	2	0
合 計	92	77	3	5	75

(2) 年齢別職員構成表

職 種 年 齢	主 事		技 師		主事見習		技師見習		合 計	
	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)
25歳未満	5	6.67	1	1.33	—	—	—	—	6	8.00
25歳以上35歳未満	9	12.00	6	8.00	—	—	—	—	15	20.00
35歳以上45歳未満	16	21.33	15	20.00	—	—	—	—	31	41.33
45歳以上55歳未満	6	8.00	8	10.67	—	—	—	—	14	18.67
55歳以上	1	1.33	8	10.67	—	—	—	—	9	12.00
計	37	49.33	38	50.67	—	—	—	—	75	100.00
平均年齢	37歳8月		44歳0月		—		—		40歳11月	

(3) 勤続年数別職員構成表

職 種 年 数	主 事		技 師		主事見習		技師見習		合 計	
	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)
5年未満	6	8.00	2	2.67	—	—	—	—	8	10.67
5年以上10年未満	4	5.34	4	5.33	—	—	—	—	8	10.67
10年以上15年未満	4	5.33	0	0.00	—	—	—	—	4	5.33
15年以上20年未満	7	9.33	10	13.33	—	—	—	—	17	22.66
20年以上	16	21.33	22	29.34	—	—	—	—	38	50.67
計	37	49.33	38	50.67	—	—	—	—	75	100.00
平均勤続年数	17年1月		23年0月		—		—		20年1月	

1 1 平成24年度建設改良工事

(1) 高所地区配水管等改良事業

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着 工	完 成
		円	平	平
(継続費・予算繰越) 由宇地区給水事業 配水管推進工事 (平成22・23年度)	鑄鉄管φ350 82m " φ300 200m 鋼管450A 124m " 350A 1m	9,883,675	24. 4. 1	25. 2. 28
(予算繰越) 由宇地区給水事業 通津配水管DIPφ300布設工事	鑄鉄管φ300 237m 鋼管400A 8m	6,306,945	24. 4. 1	24. 10. 31
(予算繰越) 由宇地区給水事業 JR推進工事委託	鋼管400A 54m	6,759,001	24. 4. 1	25. 1. 31
(予算繰越) 由宇地区給水事業 JR推進工事に伴う立坑工事	立坑築造 1か所	1,755,705	24. 4. 1	25. 2. 28
由宇地区給水事業 配水管DIP-NSφ350、φ300布設工事 (平成24年度)	鑄鉄管φ350 487m " φ300 314m 鋼管400A 8m	17,528,070	24. 10. 29	25. 3. 27
由宇地区給水事業 配水管DIP-NSφ350、φ300布設付帯工事	ビニール管φ50 4m 舗装 547㎡	767,970	25. 3. 6	25. 3. 27

(2) 配水施設整備事業

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着 工	完 成
		円	平	平
(予算繰越) 新寿橋 配水管SUS250A橋梁添架工事	S U S管 250A 180m	16,379,000	24. 4. 1	24. 8. 31
(継続費) 門前町四丁目 配水管DIPφ150移設工事	鑄鉄管φ150 100m	4,731,500	24. 4. 1	24. 11. 30
南岩国町三丁目 配水管DIPφ100布設替工事 ※	鑄鉄管φ100 61m	5,103,000	24. 5. 14	24. 7. 18
周東町上久原 配水管DIPφ100他移設工事	鑄鉄管φ100 5m 消火栓 1基	1,281,000	24. 5. 21	24. 7. 31
山手町四丁目 配水管支管VPφ50移設工事	ビニール管φ50 40m	141,750	24. 6. 20	24. 7. 17
南岩国町五丁目 配水管DIPφ100移設工事	鑄鉄管φ100 54m	1,995,000	24. 7. 3	24. 8. 31
山手町四丁目 配水管支管VPφ50布設替工事	ビニール管φ50 39m	299,250	24. 7. 23	24. 7. 23
平田四丁目 仕切弁設置工事	仕切弁 1基	175,350	24. 7. 27	24. 8. 13
新寿橋 配水管DIPφ250連結工事	鑄鉄管φ250 33m	3,990,000	24. 7. 30	24. 10. 1
山手町二丁目 配水管DIPφ100布設替工事	鑄鉄管φ100 8m	283,500	24. 8. 1	24. 8. 31
南岩国町二丁目 配水管DIPφ100他移設工事	鑄鉄管φ100 13m ビニール管φ50 6m	997,500	24. 8. 6	24. 12. 14
室の木町一丁目 配水管支管PPφ50移設工事	P P管φ50 80m	267,750	24. 8. 27	24. 9. 13
周東町上久原 配水管支管HPPEφ50移設工事	鑄鉄管φ75 4m P E管φ50 77m	1,417,500	24. 8. 31	25. 1. 11
麻里布町三丁目 配水管DIPφ100他布設替工事 ※	鑄鉄管φ150 25m " φ100 135m " φ75 228m 消火栓 4基	22,627,500	24. 8. 31	25. 3. 15

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着 工	完 成
(予算繰越) 麻里布町五丁目 配水管DIPφ200布設替工事	鑄鉄管φ200 71m	12,500,000 円	平 24. 9. 28	平 25. 3. 31
長野 配水管DIPφ150布設工事	鑄鉄管φ150 754m " φ100 18m SUS管150A 20m 消火栓 2基	46,767,000	24. 10. 4	25. 3. 14
南岩国町二丁目 配水管DIPφ75移設工事	鑄鉄管φ75 61m	2,098,950	24. 10. 17	24. 11. 27
牛野谷町一丁目 配水支管VPφ50移設工事	ビニール管φ50 25m	105,000	24. 10. 22	24. 12. 3
車町三丁目 配水支管VPφ50他移設工事	ビニール管φ50 15m	299,250	24. 11. 1	24. 11. 22
和木町和木五丁目 配水管DIPφ150布設替工事 ※	鑄鉄管φ150 80m " φ75 73m 消火栓 1基	9,114,000	24. 11. 20	25. 1. 18
周東町上久原 配水管DIPφ150他移設工事	鑄鉄管φ150 14m " φ100 13m	2,415,000	24. 11. 26	24. 12. 21
麻里布町四丁目 配水管DIPφ200布設替工事 ※	鑄鉄管φ200 62m	32,009,250	24. 11. 28	25. 3. 29
玖珂町上市 配水支管HPPEφ50布設工事	PE管φ50 145m	1,917,300	24. 12. 4	25. 3. 29
山手町四丁目 バルブ取付工事	バルブ 1基	118,650	24. 12. 17	25. 1. 7
楠町二丁目 配水管DIPφ150移設工事	鑄鉄管φ150 28m " φ100 7m 消火栓 1基	3,265,500	24. 12. 25	25. 3. 25
南岩国町一丁目 配水管DIPφ100布設替工事 ※	鑄鉄管φ100 178m 消火栓 1基	10,290,000	24. 12. 26	25. 2. 28
門前町二丁目 配水管DIPφ100他布設替工事 ※	鑄鉄管φ100 253m " φ75 93m 消火栓 3基	15,918,000	24. 12. 28	25. 3. 25
玖珂町上市 配水管DIPφ100移設工事	鑄鉄管φ100 11m	2,047,500	25. 1. 28	25. 3. 29
保津町一丁目 配水支管PPφ50連結工事	PP管φ50 6m 鋼管50A 7m	1,102,500	25. 2. 7	25. 3. 29

(3) 由宇地区給水事業

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着 工	完 成
(継続費・予算繰越) 由宇地区給水事業 配水管推進工事(平成22・23年度)	鑄鉄管φ350 82m " φ300 200m 鋼管450A 124m " 350A 1m	33,088,825 円	平 24. 4. 1	平 25. 2. 28
(予算繰越) 由宇地区給水事業 通津配水管DIPφ300布設工事	鑄鉄管φ300 237m 鋼管400A 8m	21,114,555	24. 4. 1	24. 10. 31
(予算繰越) 由宇地区給水事業 JR推進工事委託	鋼管400A 54m	22,627,962	24. 4. 1	25. 1. 31
(予算繰越) 由宇地区給水事業 JR推進工事に伴う立坑工事	立坑築造 1か所	5,877,795	24. 4. 1	25. 2. 28
由宇地区給水事業 配水管DIP-NSφ350、φ300布設工事 (平成24年度)	鑄鉄管φ350 487m " φ300 314m 鋼管400A 8m	58,680,930	24. 10. 29	25. 3. 27
由宇地区給水事業 配水管DIP-NSφ350、φ300布設付帯工事	ビニール管φ50 4m 舗装 547㎡	2,571,030	25. 3. 6	25. 3. 27

(4) 浄水施設整備事業

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着 工	完 成
		円	平	平
天日乾燥床5号流入弁φ450取替工事	バタフライ弁 φ450 1基	1,128,750	24. 7. 18	24. 11. 6
錦見1号急速ろ過池更新第3期工事	No. 5～No. 8、No. 13～No. 16号池配管更新、池内面洗浄、排水トラフ塗装、集水ノズル更新、制御・計装配線・コントロールユニット調整、ポンプ室内塗装、屋上部防水塗装、連通ゲート更新、配水池ドレン改造	157,500,000	24. 8. 16	25. 3. 14
錦見電気室用CVC改修工事	受電機器、ポンプ制御機器用無停電電源装置・定電圧装置部品取替 1台	6,300,000	24. 8. 28	25. 2. 6
錦見門扉改修他工事	錦見正門改修 錦見本館階段シート張替・壁改修 大会議室床改修 高度処理実験棟解体撤去	9,450,000	24. 9. 5	25. 1. 15
広域監視システム設置工事	玖珂・高森地区施設監視装置設置 8か所	20,947,500	24. 9. 6	24. 11. 29
錦見水質監視機器用UPS更新工事	水質監視機器用UPS 20kVA 1台	6,195,000	24. 9. 10	25. 2. 27
平田配水池補修工事 ※	屋根防水、外壁補修	7,287,000	24. 11. 15	25. 3. 28
野口ポンプ所改修工事	受水槽流入管一部改造 定水位弁 φ75 1基	4,725,000	24. 12. 17	25. 3. 25
瀬田配水池緊急遮断弁設置工事 ※	緊急遮断弁 φ300 1基 緊急遮断弁制御盤 1面	16,663,500	24. 12. 20	25. 3. 14
野口水質監視装置更新工事	瀬田管末水質計 (濁度・色度・残留塩素) 1台	3,512,250	24. 12. 25	25. 3. 26
錦見次亜注入配管更新工事	次亜注入配管更新(前・中・後次亜)	2,992,500	24. 12. 27	25. 3. 21
上北浄水場他遠方監視制御設備整備工事	テレメータ盤設置 1面 テレメータ装置更新 1か所	16,275,000	24. 12. 28	25. 3. 28
通津配水池遠方監視制御設備整備工事	テレメータ装置更新 2か所	6,394,500	25. 1. 24	25. 3. 27
錦見浄水場他遠方監視制御設備整備工事	テレメータ盤設置 2面 テレメータ装置更新 4か所	30,450,000	25. 2. 28	25. 3. 28
美和中央監視装置移設工事	美和・秋掛地区監視装置移設	1,050,000	25. 3. 7	25. 3. 28

(5) 藤河・御庄地区給水区域拡大事業

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着 工	完 成
		円	平	平
藤河・御庄地区給水事業 配水管DIPφ75布設工事(6工区)	鑄鉄管φ75 59m	703,500	24. 6. 20	24. 9. 11
藤河・御庄地区給水事業 配水管DIPφ75布設工事(2工区)	鑄鉄管φ75 616m PE管φ50 240m	21,042,000	24. 7. 10	24. 11. 20
藤河・御庄地区給水事業 配水管DIPφ75布設工事(3工区)	鑄鉄管φ75 609m PE管φ50 424m	21,346,500	24. 7. 18	24. 11. 28
藤河・御庄地区給水事業 配水管DIPφ150布設工事	鑄鉄管φ150 144m " φ100 118m " φ75 268m PE管φ50 61m 消火栓 2基	16,936,500	24. 8. 22	25. 1. 30

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着 工	完 成
藤河・御庄地区給水事業 配水管DIPφ75布設工事（1工区）	鑄鉄管φ150 485m " φ75 1,648m " φ50 252m 消火栓 6基	95,287,500	24. 9. 5	25. 2. 28
藤河・御庄地区給水事業 配水管DIPφ75布設工事（4工区）	鑄鉄管φ75 1,658m P E 管φ50 736m 消火栓 4基	48,982,500	24. 9. 11	25. 2. 27
藤河・御庄地区給水事業 配水管DIPφ100布設工事（2工区）	鑄鉄管φ150 126m " φ100 328m " φ75 825m P E 管φ50 98m 消火栓 3基	36,855,000	24. 10. 15	25. 2. 27
藤河・御庄地区給水事業 配水管DIPφ100布設工事（1工区）	鑄鉄管φ100 936m " φ75 859m P E 管φ50 429m 消火栓 2基	48,888,000	24. 11. 13	25. 2. 28
藤河・御庄地区給水事業 配水管DIPφ75布設工事（5工区）	鑄鉄管φ150 17m " φ75 907m P E 管φ50 819m 消火栓 1基	39,448,500	24. 11. 13	25. 3. 21

(6) 水道施設耐震化事業

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着 工	完 成
野口配水池基礎耐震補強工事 ※	アンカーボルト追加工事 M16×200L 20本	945,000 円	平 24. 5. 28	平 24. 7. 18

(7) 改良工事

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着 工	完 成
小瀬浄水場エアコン設置工事	次亜注入ポンプ室 温度調整用エアコン1台	199,500 円	平 24. 5. 24	平 24. 6. 18
小瀬浄水場取水用水中ポンプ取替工事	取水ポンプ 1台	407,925	24. 7. 19	24. 9. 25
給水車用車庫設置工事	給水車用車庫（10m×6m×3m）	1,816,500	24. 8. 29	24. 10. 4
錦見大会議室外装補修工事	大会議室屋根・外壁補修、塗装 浄水サンプリング建屋屋根防水・外 壁補修・塗装	4,315,500	24. 11. 27	25. 2. 27
阿品配水池フェンス取替工事	ネットフェンス H=2500×W=2000×34m	1,182,722	24. 12. 6	25. 3. 28
由西残留塩素記録装置設置工事	塩素数値記録装置設置	766,500	25. 1. 25	25. 3. 21

(8) 保存工事

区 分	工 事 内 容	工事請負費	材 料 費	直 営 費
原水及び浄水関係	錦見2号ろ過池補砂工事 ほか4件	9,451,050 円	— 円	— 円
配水及び給水関係	南岩国町一丁目仕切弁BOX嵩上工事 ほか3件	1,270,500	—	—
路面復旧関係	アスファルト舗装補修工事 ほか13件	3,066,968	—	—
総係関係	山手庁舎階段照明器具修繕工事 ほか15件	3,020,812	—	—

※耐震化計画対象工事

(IV) 財 政

- 1 平成24年度財政概況
- 2 平成24年度決算報告書
- 3 年度別収益費用明細書比較
- 4 年度別貸借対照表比較
- 5 経営分析

1 平成24年度財政概況

収益的収支では、収入額 18億937万9,665円に対し、支出額 16億5,511万7,190円で、差引き 1億5,426万2,475円の純利益となりました。

資本的収支では、収入額 8億2,279万2,937円に対し、支出額 13億9,342万2,468円で、差引き 5億7,062万9,531円の不足となりましたが、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,966万2,448円、減債積立金 5,000万円、過年度分損益勘定留保資金 4億3,843万8,181円及び当年度分損益勘定留保資金 4,252万8,902円で補てんしました。

また、当年度未処分利益剰余金は 2億2,366万8,482円となりましたが、地方公営企業法第32条第2項及び地方公営企業法施行令第24条第1項の規定に基づき、減債積立金に 5,000万円建設改良積立金に 1億2,000万円を積み立てる予定のため、翌年度繰越利益剰余金は、5,366万8,482円となります。

2 平成24年度決算報告書

(1) 収入及び支出

収益的収入

区 分	予 算		地 方 公 営 企 業 法 第 24 条 第 3 項 の 規 定 に よ る 支 出 額 に 係 る 財 源 充 当 額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	
	円	円	円
第 1 款 水 道 事 業 収 益	1,851,645,000	14,581,000	—
第 1 項 営 業 収 益	1,685,886,000	669,000	—
第 2 項 営 業 外 収 益	165,658,000	13,912,000	—
第 3 項 特 別 利 益	101,000	—	—

収益的支出

区 分	予 算				地 方 公 営 企 業 法 第 24 条 第 3 項 の 規 定 に よ る 支 出 額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	
	円	円	円	円	円
第 1 款 水 道 事 業 費 用	1,809,225,000	△ 44,472,000	0	—	—
第 1 項 営 業 費 用	1,712,462,000	△ 39,027,000	2,122,055	—	—
第 2 項 営 業 外 費 用	65,210,000	△ 5,445,000	9,365,922	—	—
第 3 項 特 別 損 失	1,553,000	—	—	—	—
第 4 項 予 備 費	30,000,000	—	△ 11,487,977	—	—

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計				
円	円	円		
1,866,226,000	1,878,705,151	12,479,151		
1,686,555,000	1,689,128,441	2,573,441	(うち、仮受消費税65,150,826円)	
179,570,000	189,551,865	9,981,865	(うち、仮受消費税 4,174,660円)	
101,000	24,845	△ 76,155		

額			決 算 額	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 第 2 項 の 規 定 に よ る 繰 越 額	不 用 額	備 考
小 計	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 第 2 項 の 規 定 に よ る 繰 越 額	合 計				
円	円	円	円	円	円	
1,764,753,000	—	1,764,753,000	1,683,735,528	—	81,017,472	
1,675,557,055	—	1,675,557,055	1,614,359,409	—	61,197,646	(うち、仮払消費税 20,556,884円)
69,130,922	—	69,130,922	68,146,794	—	984,128	
1,553,000	—	1,553,000	1,229,325	—	323,675	(うち、仮払消費税 4,517円)
18,512,023	—	18,512,023	0	—	18,512,023	

資本的收入

区 分	予 算		
	当初予算額	補正予算額	小 計
第1款 資本的收入	円 1,004,923,000	円 △ 135,497,000	円 869,426,000
第1項 固定資産売却代金	10,000	—	10,000
第2項 企業債	594,000,000	△ 86,000,000	508,000,000
第3項 国庫補助金	181,350,000	△ 15,208,000	166,142,000
第4項 工事負担金	108,182,000	△ 24,174,000	84,008,000
第5項 他会計補助金	6,081,000	—	6,081,000
第6項 出資金	105,300,000	△ 10,115,000	95,185,000
第7項 寄附金	10,000,000	—	10,000,000

資本の支出

区 分	予 算 額				
	当初予算額	補正予算額	流 用 増 減 額	小 計	地 方 公 營 企 業 法 第 26 条 の 規 定 に よ る 繰 越 額
第1款 資本の支出	円 1,721,508,000	円 △ 292,858,000	円 —	円 1,428,650,000	円 192,389,000
第1項 建設改良費	1,486,935,000	△ 283,052,000	—	1,203,883,000	192,389,000
第2項 企業債償還金	233,573,000	△ 9,806,000	—	223,767,000	—
第3項 予備費	1,000,000	—	—	1,000,000	—

額			決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に係 る財源充当額	継続費通 次繰越額 に係る財 源充当額	合 計			
円	円	円	円	円	(うち、仮受消費税 400,000円)
119,859,000	—	989,285,000	822,792,937	△ 166,492,063	
—	—	10,000	0	△ 10,000	
26,000,000	—	534,000,000	387,000,000	△ 147,000,000	
54,659,000	—	220,801,000	208,044,000	△ 12,757,000	
—	—	84,008,000	83,365,673	△ 642,327	
—	—	6,081,000	6,081,264	264	
39,200,000	—	134,385,000	128,302,000	△ 6,083,000	
—	—	10,000,000	10,000,000	0	

継 続 費 通 次 繰 越 額	合 計	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
			地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 の 規 定 に よ る 繰 越 額	継 続 費 通 次 繰 越 額	合 計		
円	円	円	円	円	円	円	(うち、仮払消費税 53,412,698)
—	1,621,039,000	1,393,422,468	18,895,000	—	18,895,000	208,721,532	
—	1,396,272,000	1,174,688,301	18,895,000	—	18,895,000	202,688,699	
—	223,767,000	218,734,167	—	—	—	5,032,833	
—	1,000,000	0	—	—	—	1,000,000	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 570,629,531円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 39,662,448円、減債積立金 50,000,000円、過年度分損益勘定留保資金 438,438,181円及び当年度分損益勘定留保資金 42,528,902円で補てんした。

(2) 損益計算書

(単位 円)

1	営業収益			
(1)	給水収益	1,592,724,145		
(2)	受託工事収益	0		
(2)	その他営業収益	<u>31,253,470</u>	1,623,977,615	
2	営業費用			
(1)	原水及び浄水費	307,579,189		
(2)	配水及び給水費	303,664,385		
(3)	受託工事費	0		
(4)	業務費	179,834,715		
(5)	総係費	324,721,003		
(6)	減価償却費	469,046,400		
(7)	資産減耗費	<u>8,956,833</u>	<u>1,593,802,525</u>	
	営業利益			30,175,090
3	営業外収益			
(1)	受取利息及び配当金	436,816		
(2)	他会計補助金	9,791,988		
(3)	雑収益	<u>175,148,401</u>	185,377,205	
4	営業外費用			
(1)	支払利息及び 企業債取扱諸費	58,770,872		
(2)	雑支出	<u>1,318,985</u>	<u>60,089,857</u>	<u>125,287,348</u>
	経常利益			155,462,438
5	特別利益			
(1)	過年度損益修正益	<u>24,845</u>	24,845	
6	特別損失			
(1)	過年度損益修正損	<u>1,224,808</u>	<u>1,224,808</u>	<u>△ 1,199,963</u>
	当年度純利益			154,262,475
	前年度繰越利益 剰余金			<u>69,406,007</u>
	当年度未処分利 益剰余金			<u><u>223,668,482</u></u>

(3) 剰余金処分計算書

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	6,907,119,621	6,464,464,995	223,668,482
議会の議決による処分数額	0	0	170,000,000
減債積立金の積立て	0	0	50,000,000
建設改良積立金の積立て	0	0	120,000,000
処分後残高	6,907,119,621	6,464,464,995	(繰越利益剰余金) 53,668,482

(4) 剰余金計算書

	資本金	資本剰余金			
		工事負担金	受贈財産評価額	国庫補助金	他会計補助金
前年度末残高	6,282,561,474	2,336,254,358	1,294,681,886	2,027,464,988	125,195,438
前年度処分額	0	0	0	0	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0
減債積立金の積立て	0	0	0	0	0
建設改良積立金の積立て	0	0	0	0	0
処分後残高	6,282,561,474	2,336,254,358	1,294,681,886	2,027,464,988	125,195,438
当年度変動額	624,558,147	79,565,056	0	198,705,156	0
一般会計出資の受入れ	245,645,605	0	0	0	0
自己資本金への組入れ	50,000,000	0	0	0	0
企業債の借入れ	547,646,709	0	0	0	0
企業債の償還	△ 218,734,167	0	0	0	0
資本剰余金の受入れ	0	79,565,056	0	198,705,156	0
国庫補助金の返還	0	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0
当年度末残高	6,907,119,621	2,415,819,414	1,294,681,886	2,226,170,144	125,195,438

(単位 円)

剰余金			利益剰余金				資本合計
その他 資本 剰余金	寄附金	資本 剰余金 合計	減債 積立金	建設改良 積立金	未処分 利益 剰余金	利益 剰余金 合計	
386,991,682	0	6,170,588,352	0	200,431,079	219,406,007	419,837,086	12,872,986,912
0	0	0	50,000,000	100,000,000	△ 150,000,000	0	0
0	0	0	50,000,000	100,000,000	△ 150,000,000	0	0
0	0	0	50,000,000	0	△ 50,000,000	0	0
0	0	0	0	100,000,000	△ 100,000,000	0	0
					(繰越利益 剰余金)		
386,991,682	0	6,170,588,352	50,000,000	300,431,079	69,406,007	419,837,086	12,872,986,912
6,081,264	9,525,167	293,876,643	△ 50,000,000	0	154,262,475	104,262,475	1,022,697,265
0	0	0	0	0	0	0	245,645,605
0	0	0	△ 50,000,000	0	0	△ 50,000,000	0
0	0	0	0	0	0	0	547,646,709
0	0	0	0	0	0	0	△ 218,734,167
6,081,264	9,525,167	293,876,643	0	0	0	0	293,876,643
0		0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	154,262,475	154,262,475	154,262,475
					(当年度未処分 利益剰余金)		
393,072,946	9,525,167	6,464,464,995	0	300,431,079	223,668,482	524,099,561	13,895,684,177

(5) 貸借対照表

資産の部

(単位 円)

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 土地		877,698,191
イ 立木		7,554,335
ウ 建物	600,331,117	
減価償却累計額	<u>290,392,505</u>	309,938,612
エ 建物附属設備	109,728,829	
減価償却累計額	<u>78,204,540</u>	31,524,289
オ 構築物	15,017,099,749	
減価償却累計額	<u>6,477,012,287</u>	8,540,087,462
カ 機械及び装置	4,447,708,888	
減価償却累計額	<u>2,418,294,732</u>	2,029,414,156
キ 車両運搬具	45,834,633	
減価償却累計額	<u>32,713,776</u>	13,120,857
ク 工具・器具及び備品	144,913,416	
減価償却累計額	<u>125,849,126</u>	19,064,290
ケ 建設仮勘定		<u>1,042,645,703</u>

有形固定資産合計

12,871,047,895

(2) 無形固定資産

ア 電話加入権		4,276,244
イ 商標権		<u>52,800</u>

無形固定資産合計

4,329,044

固定資産合計

12,875,376,939

2 流動資産

(1) 現金預金	1,092,447,304
(2) 未収金	626,077,444
(3) 貯蔵品	9,147,086
(4) 前払金	316,000
(5) 前払費用	1,237,286
(6) その他流動資産	<u>200,000</u>

流動資産合計

1,729,425,120

資産合計

14,604,802,059

負債の部

3 固定負債

(1) 引当金	<u>177,945,942</u>
---------	--------------------

固定負債合計

177,945,942

4 流動負債			
(1) 未払金		499,796,506	
(2) 未払費用		26,589,905	
(3) 前受金		61,049	
(4) その他流動負債		<u>4,724,480</u>	
流動負債合計			<u>531,171,940</u>
負債合計			<u>709,117,882</u>
資本の部			
5 資本金			
(1) 自己資本金		3,603,341,619	
(2) 借入資本金			
ア 企業債	<u>3,303,778,002</u>		
借入資本金合計		<u>3,303,778,002</u>	
資本金合計			6,907,119,621
6 剰余金			
(1) 資本剰余金			
ア 工事負担金	2,415,819,414		
イ 受贈財産評価額	1,294,681,886		
ウ 国庫補助金	2,226,170,144		
エ 他会計補助金	125,195,438		
オ その他資本剰余金	393,072,946		
キ 寄附金	<u>9,525,167</u>		
資本剰余金合計		6,464,464,995	
(2) 利益剰余金			
ア 建設改良積立金	300,431,079		
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>223,668,482</u>		
利益剰余金合計		<u>524,099,561</u>	
剰余金合計			<u>6,988,564,556</u>
資本合計			<u>13,895,684,177</u>
負債資本合計			<u>14,604,802,059</u>

(6) 固定資産明細書

有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初の 現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	856,535,134	21,163,057	0	877,698,191
立木	7,554,335	0	0	7,554,335
建物	600,331,117	0	0	600,331,117
建物附属設備	109,728,829	0	0	109,728,829
構築物	14,212,701,777	809,410,391	5,012,419	15,017,099,749
機械及び装置	4,217,175,514	292,027,488	61,494,114	4,447,708,888
車両運搬具	35,680,109	12,136,694	1,982,170	45,834,633
工具・器具及び備品	143,015,716	2,784,200	886,500	144,913,416
建設仮勘定	780,901,616	1,121,900,263	860,156,176	1,042,645,703
計	20,963,624,147	2,259,422,093	929,531,379	22,293,514,861

無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
電話加入権	4,276,244	0	0
商標権	79,200	0	0
計	4,355,444	0	0

(単位 円)

減 価 償 却 累 計 額			年度末償却 未 済 高	備考
当年度増加額	当年度減少額	累 計		
—	—	—	877,698,191	
—	—	—	7,554,335	
13,934,471	0	290,392,505	309,938,612	
4,602,544	0	78,204,540	31,524,289	
273,662,912	4,612,146	6,477,012,287	8,540,087,462	
167,858,287	53,154,702	2,418,294,732	2,029,414,156	
3,577,195	1,883,062	32,713,776	13,120,857	
5,384,591	768,460	125,849,126	19,064,290	
—	—	—	1,042,645,703	
469,020,000	60,418,370	9,422,466,966	12,871,047,895	

(単位 円)

当年度減価償却高	年 度 末 現 在 高	備 考
—	4,276,244	
26,400	52,800	
26,400	4,329,044	

(7) 企業債明細書

種 類	発行年月日	発行総額	償 還	
			当年度償還高	円
		円		円
配水管整備事業	昭 58. 3.25	31,900,000	2,648,181	
旧玖珂町水源池改良事業	平 4. 3.25	90,000,000	3,928,697	
旧由宇町上水道事業	5. 3.25	5,400,000	224,428	
"	5. 3.30	2,100,000	99,934	
"	"	300,000	14,269	
"	6. 3.23	7,200,000	288,687	
"	"	2,900,000	131,749	
"	"	2,000,000	90,879	
"	7. 3.27	8,100,000	306,862	
"	"	3,200,000	138,981	
"	"	3,200,000	139,050	
"	8. 3.22	2,700,000	114,749	
"	"	2,700,000	114,749	
"	"	200,000	8,506	
旧由宇町老朽管更新事業	8. 3.25	4,200,000	157,728	
旧由宇町老配水管整備事業	"	4,000,000	150,216	
旧浄水施設整備事業	9. 3.25	177,000,000	13,516,393	
旧由宇町老朽管更新事業	"	7,100,000	263,312	
旧由宇町上水道事業	9. 3.26	118,000,000	9,072,446	
"	"	2,000,000	83,059	
"	"	2,700,000	112,006	
浄水施設整備事業	10. 3.25	174,000,000	12,399,081	
"	"	116,000,000	8,315,651	
薬品注入設備整備事業	"	85,800,000	6,114,029	
"	"	57,200,000	4,100,477	
旧由宇町老朽管更新事業	"	5,700,000	211,738	
旧由宇町上水道事業	"	2,800,000	115,309	
"	"	600,000	24,745	
浄水施設整備事業	11. 3.24	42,000,000	2,931,007	
旧由宇町上水道事業	11. 3.24	2,600,000	105,163	
"	"	700,000	28,314	
浄水施設整備事業	11. 3.25	63,000,000	4,396,511	
旧由宇町安全対策事業	11. 4.30	5,100,000	186,465	
旧浄水施設安全対策事業	12. 3.22	39,600,000	2,695,514	
旧由宇町安全対策事業	"	2,600,000	103,489	
"	"	1,800,000	71,647	
浄水施設整備事業	12. 3.24	59,400,000	4,043,272	
旧由宇町安全対策事業	"	6,700,000	240,137	
旧由宇町上水道事業	13. 3.22	3,900,000	154,826	
浄水施設整備事業	13. 3.26	10,500,000	744,309	
旧由宇町老朽管更新事業	"	4,900,000	176,957	
旧浄水施設整備事業	13. 3.29	8,500,000	604,747	
旧玖珂町施設整備事業	14. 3.22	100,400,000	3,788,154	
旧由宇町上水道事業	"	11,000,000	415,036	
浄水施設整備事業	14. 3.25	78,300,000	2,323,379	
通津地区給水区域拡大事業	"	33,100,000	1,121,965	
旧玖珂町施設整備事業	"	123,600,000	4,189,576	
旧由宇町老朽管更新事業	"	13,600,000	460,989	
浄水施設整備事業	14. 3.28	63,700,000	2,084,784	
通津地区給水区域拡大事業	"	26,900,000	1,014,954	
浄水施設整備事業	15. 3.25	166,300,000	5,162,584	
水質検査機器整備事業	"	15,500,000	1,585,063	
通津地区給水区域拡大事業	"	31,900,000	1,155,229	
浄水施設整備事業	"	156,700,000	5,250,619	

高 償還高累計	未償還残高	発行価額	利率	償還終期	備考
円	円	円	年 %	平	
31,900,000	0	-	7.30	25. 3.25	財務省理財局
43,165,870	46,834,130	-	5.50	34. 3.25	"
2,526,419	2,873,581	-	4.40	35. 3.25	"
1,118,190	981,810	-	4.50	33. 3.20	地方公共団体金融機構
160,140	139,860	-	4.45	"	"
3,228,902	3,971,098	-	3.65	36. 3. 1	財務省理財局
1,469,314	1,430,686	-	3.70	34. 3.20	地方公共団体金融機構
1,010,585	989,415	-	3.75	"	"
3,072,627	5,027,373	-	4.65	37. 3. 1	財務省理財局
1,384,363	1,815,637	-	4.75	35. 3.20	地方公共団体金融機構
1,388,676	1,811,324	-	4.70	"	"
1,160,412	1,539,588	-	3.25	36. 3.20	"
1,160,412	1,539,588	-	"	"	"
86,233	113,767	-	3.20	"	"
1,583,056	2,616,944	-	3.40	38. 3. 1	財務省理財局
1,507,670	2,492,330	-	"	"	"
177,000,000	0	-	2.80	25. 3. 1	"
2,530,240	4,569,760	-	"	39. 3. 1	"
118,000,000	0	-	2.90	25. 3.20	地方公共団体金融機構
796,283	1,203,717	-	2.85	37. 3.20	"
1,071,300	1,628,700	-	2.90	"	"
161,339,172	12,660,828	-	2.10	26. 3. 1	財務省理財局
107,500,398	8,499,602	-	2.20	26. 3.20	地方公共団体金融機構
79,556,901	6,243,099	-	2.10	26. 3. 1	財務省理財局
53,008,817	4,191,183	-	2.20	26. 3.20	地方公共団体金融機構
1,930,878	3,769,122	-	2.10	40. 3. 1	財務省理財局
1,047,029	1,752,971	-	2.20	38. 3.20	地方公共団体金融機構
225,170	374,830	-	2.15	"	"
35,951,056	6,048,944	-	2.10	27. 3.20	"
871,867	1,728,133	-	2.10	39. 3.20	地方公共団体金融機構
234,733	465,267	-	"	"	"
53,926,585	9,073,415	-	"	27. 3. 1	財務省理財局
1,551,820	3,548,180	-	2.00	41. 3.25	"
31,184,000	8,416,000	-	"	28. 3.20	地方公共団体金融機構
773,017	1,826,983	-	"	40. 3.20	"
535,166	1,264,834	-	"	"	"
46,775,999	12,624,001	-	"	28. 3. 1	財務省理財局
1,793,702	4,906,298	-	"	42. 3. 1	"
1,030,705	2,869,295	-	1.70	41. 3.20	地方公共団体金融機構
8,194,562	2,305,438	-	1.60	28. 3. 1	財務省理財局
1,181,467	3,718,533	-	"	43. 3. 1	"
6,623,104	1,876,896	-	1.70	28. 3.20	地方公共団体金融機構
21,534,077	78,865,923	-	2.20	42. 3.20	"
2,359,310	8,640,690	-	"	"	"
22,963,606	55,336,394	-	"	44. 3. 1	財務省理財局
6,377,907	26,722,093	-	"	"	"
23,815,994	99,784,006	-	"	"	"
2,620,531	10,979,469	-	"	"	"
20,703,224	42,996,776	-	2.10	42. 3.20	地方公共団体金融機構
5,769,589	21,130,411	-	2.20	"	"
48,948,758	117,351,242	-	1.20	45. 3. 1	財務省理財局
15,500,000	0	-	0.50	25. 3. 1	"
5,640,378	26,259,622	-	1.20	45. 3. 1	"
49,566,384	107,133,616	-	1.30	43. 3.20	地方公共団体金融機構

種 類	発行年月日	発行総額	償 還	
			当年度償還高	円
	平	円		円
水質検査機器整備事業	15. 3.25	14,500,000		1,512,618
通津地区給水区域拡大事業	"	30,100,000		1,186,335
旧玖珂町施設整備事業	"	191,000,000		7,527,909
"	15. 5.26	236,900,000		8,800,673
"	15. 5.29	32,100,000		1,308,301
浄水施設整備事業	16. 3.23	108,000,000		3,435,905
通津地区給水区域拡大事業	"	123,500,000		4,579,590
監視設備等整備事業	16. 3.23	3,500,000		403,003
浄水施設整備事業	16. 3.25	108,000,000		3,141,365
監視設備等整備事業	"	5,000,000		575,719
通津地区給水区域拡大事業	"	122,000,000		4,038,056
浄水施設整備事業	17. 3.23	22,200,000		2,286,054
浄水処理施設整備事業	"	109,100,000		6,749,202
監視設備等整備事業	"	15,100,000		1,735,738
通津地区給水区域拡大事業	"	28,500,000		1,016,955
浄水施設整備事業	17. 3.25	21,800,000		2,234,131
浄水処理施設整備事業	"	106,900,000		6,615,804
監視設備等整備事業	"	14,900,000		1,700,305
通津地区給水区域拡大事業	"	28,000,000		898,617
"	18. 3.17	10,900,000		302,286
"	18. 3.30	9,100,000		276,355
高所地区配水管等改良事業	19. 3.26	12,700,000		341,520
水質監視機器整備事業	"	16,100,000		1,619,969
高所地区配水管等改良・由宇地区給水事業	19. 3.29	22,800,000		672,192
水質監視機器整備事業	"	12,900,000		1,299,659
高所地区配水管等改良・由宇地区給水事業	19. 8.20	32,700,000		869,750
"	19. 8.31	13,800,000		402,892
第三次浄水施設整備事業	20. 3.25	48,000,000		2,851,132
高所地区配水管等改良・由宇地区給水事業	"	10,700,000		285,161
"	20. 3.28	8,700,000		252,543
第三次浄水施設整備事業	"	38,800,000		2,278,552
水質監視機器整備事業	21. 3.25	8,300,000		817,338
"	"	6,700,000		659,779
第三次浄水施設整備事業	"	83,100,000		8,183,227
"	"	66,900,000		6,587,941
高所地区配水管等改良・由宇地区給水事業	"	14,400,000		381,061
"	"	11,600,000		339,661
浄水施設整備事業	22. 3.25	19,100,000		1,399,172
"	"	12,900,000		944,991
配水施設整備事業	22. 3.25	28,000,000		717,098
"	"	19,000,000		486,603
高所地区配水管等改良・由宇地区給水事業	"	7,200,000		184,397
"	"	4,800,000		122,931
藤河・御庄地区給水事業	"	16,700,000		427,698
"	"	11,300,000		289,400
配水施設整備事業	23. 3.25	65,000,000		1,656,226
高所地区配水管等改良・由宇地区給水事業	"	52,000,000		1,324,980
藤河・御庄地区給水事業	"	115,000,000		2,930,245
簡易水道事業（小瀬分）	23. 4. 1	12,852,428		504,611
"	"	1,200,000		0
"	"	10,560,132		353,668
"	"	10,061,332		681,594
簡易水道事業（高森南分）	24. 4. 1	62,705,992		4,542,574
"	"	81,272,412		5,302,324
"	"	16,668,305		777,756
上水道事業	25. 3.25	411,000,000		0
"	"	361,000,000		0
合 計		5,058,920,601		218,734,167

高 償還高累計	未償還残高	発行価額	利率	償還終期	備考
円	円	円	年 %	平	
14,500,000	0	-	0.95	25. 3.20	地方公共団体金融機構
5,775,234	24,324,766	-	1.35	43. 3.20	"
36,646,831	154,353,169	-	"	"	"
43,223,618	193,676,382	-	0.90	45. 3.25	財務省理財局
6,425,591	25,674,409	-	"	43. 3.20	地方公共団体金融機構
28,704,543	79,295,457	-	1.90	44. 3.20	"
17,810,033	105,689,967	-	"	"	"
3,500,000	0	-	0.90	25. 3.20	地方公共団体金融機構
26,243,870	81,756,130	-	1.90	46. 3. 1	財務省理財局
5,000,000	0	-	0.90	25. 3. 1	"
15,681,071	106,318,929	-	2.00	46. 3. 1	"
17,545,017	4,654,983	-	1.20	27. 3.20	地方公共団体金融機構
51,185,215	57,914,785	-	1.55	33. 3.20	"
13,344,243	1,755,757	-	1.15	26. 3.20	"
2,988,226	25,511,774	-	2.10	45. 3.20	"
17,264,324	4,535,676	-	1.00	27. 3. 1	財務省理財局
50,258,766	56,641,234	-	1.50	33. 3. 1	"
13,184,358	1,715,642	-	0.90	26. 3. 1	"
2,640,504	25,359,496	-	2.10	47. 3. 1	"
1,994,949	8,905,051	-	2.00	48. 3. 1	"
1,823,811	7,276,189	-	"	46. 3.20	地方公共団体金融機構
1,946,085	10,753,915	-	2.10	49. 3. 1	財務省理財局
9,389,315	6,710,685	-	1.40	29. 3. 1	"
3,830,358	18,969,642	-	2.10	47. 3.20	地方公共団体金融機構
7,468,877	5,431,123	-	1.75	29. 3.20	"
4,944,165	27,755,835	-	2.20	49. 3.25	財務省理財局
2,290,277	11,509,723	-	"	47. 3.20	地方公共団体金融機構
13,866,086	34,133,914	-	1.40	36. 3. 1	財務省理財局
1,370,713	9,329,287	-	2.00	50. 3. 1	"
1,212,746	7,487,254	-	2.05	48. 3.20	地方公共団体金融機構
11,016,656	27,783,344	-	1.70	36. 3.20	"
3,221,000	5,079,000	-	1.00	31. 3. 1	財務省理財局
2,600,083	4,099,917	-	"	31. 3.20	地方公共団体金融機構
32,248,789	50,851,211	-	"	31. 3. 1	財務省理財局
25,962,022	40,937,978	-	"	31. 3.20	地方公共団体金融機構
1,481,945	12,918,055	-	1.90	51. 3. 1	財務省理財局
1,322,877	10,277,123	-	1.80	49. 3.20	地方公共団体金融機構
4,147,793	14,952,207	-	1.20	35. 3. 1	財務省理財局
2,801,390	10,098,610	-	"	35. 3.20	地方公共団体金融機構
2,109,185	25,890,815	-	2.00	52. 3. 1	財務省理財局
1,431,234	17,568,766	-	"	52. 3.20	地方公共団体金融機構
542,362	6,657,638	-	"	52. 3. 1	財務省理財局
361,574	4,438,426	-	"	52. 3.20	地方公共団体金融機構
1,257,977	15,442,023	-	"	52. 3. 1	財務省理財局
851,206	10,448,794	-	"	52. 3.20	地方公共団体金融機構
3,281,426	61,718,574	-	1.90	53. 3. 1	財務省理財局
2,625,140	49,374,860	-	"	"	"
5,805,599	109,194,401	-	"	"	"
1,001,736	11,850,692	-	1.50	45. 3.25	"
0	1,200,000	-	2.00	52. 3.25	"
700,368	9,859,764	-	"	47. 3.25	"
1,334,159	8,727,173	-	4.40	35. 3.25	"
4,542,574	58,163,418	-	"	"	"
5,302,324	75,970,088	-	4.30	36. 3.25	"
777,756	15,890,549	-	2.00	42. 3.25	"
0	411,000,000	-	1.50	55. 3. 1	"
0	361,000,000	-	"	"	"
1,755,142,599	3,303,778,002				

3 年度別収益費用明細書比較

科 目	年 度		年 度	
	平 成 21	平 成 22	平 成 21	平 成 22
	金 額(円)	金 額(円)	比 率(%)	比 率(%)
水道事業収益	1,671,004,305	1,726,827,141	100.00	100.00
営業収益	1,586,866,720	1,593,900,048	94.96	92.30
給水収益	1,551,508,270	1,560,336,960	92.85	90.36
受託工事収益	0	584,188	0.00	0.03
その他営業収益	35,358,450	32,978,900	2.12	1.91
営業外収益	81,775,045	132,521,843	4.89	7.67
受取利息及び配当金	736,672	534,361	0.04	0.03
他会計補助金	260,778	13,283,761	0.02	0.83
雑収益	80,777,595	118,703,721	4.83	6.87
特別利益	2,362,540	405,250	0.14	0.02
固定資産売却益	2,362,540	365,420	0.14	0.02
過年度損益修正益	0	39,830	0.00	0.00
水道事業費用	1,584,954,378	1,577,968,050	100.00	100.00
営業費用	1,524,875,250	1,523,094,122	96.21	96.52
原水及び浄水費	357,691,561	364,045,068	22.57	23.07
配水及び給水費	281,791,626	297,980,942	17.78	18.88
受託工事費	0	538,770	0.00	0.03
業務費	192,101,503	176,197,111	12.12	11.17
総係費	239,105,519	240,687,284	15.09	15.25
減価償却費	425,168,439	433,746,397	26.83	27.49
資産減耗費	29,016,602	9,898,550	1.83	0.63
営業外費用	56,791,131	53,703,604	3.58	3.40
支払利息及び企業債取扱諸費	55,251,991	50,405,709	3.49	3.19
雑支出	1,539,140	3,297,895	0.10	0.21
特別損失	3,287,997	1,170,324	0.21	0.07
過年度損益修正損	3,287,997	1,170,324	0.21	0.07
当年度純利益	86,049,927	148,859,091	—	—

平成 23 年 度		平成 24 年 度		すう勢比率(21年度=100)			備考
金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)	22年度	23年度	24年度	
1,739,167,830	100.00	1,809,379,665	100.00	103.3	104.1	108.3	
1,572,967,420	90.44	1,623,977,615	89.75	100.4	99.1	102.3	
1,542,720,440	88.70	1,592,724,145	88.03	100.6	99.4	102.7	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
30,246,980	1.74	31,253,470	1.73	93.3	85.5	88.4	
166,170,331	9.55	185,377,205	10.25	162.1	203.2	226.7	
395,845	0.02	436,816	0.02	72.5	53.7	59.3	
6,567,131	0.42	9,791,988	0.60	5093.9	2518.3	3754.9	
159,207,355	9.15	175,148,401	9.68	147.0	197.1	216.8	
30,079	0.00	24,845	0.00	17.2	1.3	1.1	
0	0.00	0	0.00	15.5	0.0	0.0	
30,079	0.00	24,845	0.00	—	—	—	
1,592,619,420	100.00	1,655,117,190	100.00	99.6	100.5	104.4	
1,540,375,699	96.72	1,593,802,525	96.30	99.9	101.0	104.5	
367,508,257	23.08	307,579,189	18.58	101.8	102.7	86.0	
287,559,835	18.06	303,664,385	18.35	105.7	102.0	107.8	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
153,738,888	9.65	179,834,715	10.87	91.7	80.0	93.6	
285,771,119	17.94	324,721,003	19.62	100.7	119.5	135.8	
439,997,889	27.63	469,046,400	28.34	102.0	103.5	110.3	
5,799,711	0.36	8,956,833	0.54	34.1	20.0	30.9	
51,478,809	3.23	60,089,857	3.63	94.6	90.6	105.8	
50,142,858	3.15	58,770,872	3.55	91.2	90.8	106.4	
1,335,951	0.08	1,318,985	0.08	214.3	86.8	85.7	
764,912	0.05	1,224,808	0.07	35.6	23.3	37.3	
764,912	0.05	1,224,808	0.07	35.6	23.3	37.3	
146,548,410	—	154,262,475	—	173.0	170.3	179.3	

4 年度別貸借対照表比較

(1) 資産の部

科 目	平 成 21 年 度		平 成 22 年 度	
	金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)
固 定 資 産	10,555,349,634	90.70	11,136,323,579	89.50
有 形 固 定 資 産	10,551,554,190	90.67	11,132,302,535	89.46
土 地	832,645,617	7.15	850,085,814	6.83
立 木	7,554,335	0.06	7,554,335	0.06
建 物	251,486,585	2.16	239,875,409	1.93
建 物 附 属 設 備	43,928,469	0.38	39,779,453	0.32
構 築 物	7,084,542,345	60.88	7,153,187,031	57.49
機 械 及 び 装 置	1,875,236,628	16.11	1,959,576,827	15.75
車 両 運 搬 具	6,986,088	0.06	5,663,956	0.05
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	35,368,664	0.30	27,770,046	0.22
建 設 仮 勘 定	413,805,459	3.56	848,809,664	6.82
無 形 固 定 資 産	3,795,444	0.03	4,021,044	0.03
電 話 加 入 権	3,663,444	0.03	3,915,444	0.03
商 標 権	132,000	0.00	105,600	0.00
流 動 資 産	1,081,938,770	9.30	1,306,929,031	10.50
現 金 預 金	795,361,920	6.83	702,347,013	5.64
未 収 金	281,242,594	2.42	598,569,377	4.81
貯 蔵 品	4,118,486	0.04	4,758,989	0.04
前 払 金	316,000	0.00	316,000	0.00
前 払 費 用	499,770	0.00	537,652	0.00
そ の 他 流 動 資 産	400,000	0.00	400,000	0.00
資 産 合 計	11,637,288,404	100.00	12,443,252,610	100.00

平成 23 年 度		平成 24 年 度		すう勢比率(21年度=100)			備考
金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)	22年度	23年度	24年度	
11,954,114,255	88.06	12,875,376,939	88.16	105.5	113.3	122.0	
11,949,758,811	88.03	12,871,047,895	88.13	105.5	113.3	122.0	
856,535,134	6.31	877,698,191	6.01	102.1	102.9	105.4	
7,554,335	0.06	7,554,335	0.05	100.0	100.0	100.0	
323,873,083	2.39	309,938,612	2.12	95.4	128.8	123.2	
36,126,833	0.27	31,524,289	0.22	90.6	82.2	71.8	
8,004,740,256	58.97	8,540,087,462	58.47	101.0	113.0	120.5	
1,913,584,367	14.10	2,029,414,156	13.90	104.5	102.0	108.2	
4,660,466	0.03	13,120,857	0.09	81.1	66.7	187.8	
21,782,721	0.16	19,064,290	0.13	78.5	61.6	53.9	
780,901,616	5.75	1,042,645,703	7.14	205.1	188.7	252.0	
4,355,444	0.03	4,329,044	0.03	105.9	114.8	114.1	
4,276,244	0.03	4,276,244	0.03	106.9	116.7	116.7	
79,200	0.00	52,800	0.00	80.0	60.0	40.0	
1,621,184,205	11.94	1,729,425,120	11.84	120.8	149.8	159.8	
873,127,592	6.43	1,092,447,304	7.48	88.3	109.8	137.4	
739,725,924	5.45	626,077,444	4.29	212.8	263.0	222.6	
7,157,636	0.05	9,147,086	0.06	115.6	173.8	222.1	
316,000	0.00	316,000	0.00	100.0	100.0	100.0	
557,053	0.00	1,237,286	0.01	107.6	111.5	247.6	
300,000	0.00	200,000	0.00	100.0	75.0	50.0	
13,575,298,460	100.00	14,604,802,059	100.00	106.9	116.7	125.5	

(2) 負債・資本の部

科 目	平 成 21 年 度		平 成 22 年 度	
	金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)
固 定 負 債	105,277,186	0.90	94,972,552	0.76
引 当 金	105,277,186	0.90	94,972,552	0.76
流 動 負 債	83,605,503	0.72	324,257,192	2.61
未 払 金	67,199,225	0.58	304,829,768	2.45
未 払 費 用	11,524,471	0.10	14,435,214	0.12
前 受 金	15,000	0.00	37,000	0.00
そ の 他 流 動 負 債	4,866,807	0.04	4,955,210	0.04
資 本 金	5,410,470,681	46.49	5,790,216,663	46.53
自 己 資 本 金	2,615,597,331	22.48	3,008,402,331	24.18
借 入 資 本 金	2,794,873,350	24.02	2,781,814,332	22.36
企 業 債	2,794,873,350	24.02	2,781,814,332	22.36
剰 余 金	6,037,935,034	51.88	6,233,806,203	50.10
資 本 剰 余 金	5,473,697,449	47.04	5,800,517,527	46.62
工 事 負 担 金	2,187,469,882	18.80	2,234,524,016	17.96
受 贈 財 産 評 価 額	1,270,222,385	10.92	1,287,611,738	10.35
国 庫 補 助 金	1,506,186,200	12.94	1,767,416,847	14.20
他 会 計 補 助 金	126,244,264	1.08	126,103,640	1.01
そ の 他 資 本 剰 余 金	383,574,718	3.30	384,861,286	3.09
寄 附 金	0	0.00	0	0.00
利 益 剰 余 金	564,237,585	4.85	433,288,676	3.48
減 債 積 立 金	0	0.00	0	0.00
建 設 改 良 積 立 金	290,239,079	2.49	160,431,079	1.29
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	273,998,506	2.35	272,857,597	2.19
負 債 ・ 資 本 合 計	11,637,288,404	100.00	12,443,252,610	100.00

平成 23 年 度		平成 24 年 度		すう勢比率(21年度=100)			備考
金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)	22年度	23年度	24年度	
100,521,618	0.74	177,945,942	1.22	90.2	95.5	169.0	
100,521,618	0.74	177,945,942	1.22	90.2	95.5	169.0	
601,789,930	4.43	531,171,940	3.64	387.8	719.8	635.3	
563,009,031	4.15	499,796,506	3.42	453.6	837.8	743.8	
14,431,157	0.11	26,589,905	0.18	125.3	125.2	230.7	
10,004,000	0.07	61,049	0.00	246.7	66693.3	407.0	
14,345,742	0.11	4,724,480	0.03	101.8	294.8	97.1	
6,282,561,474	46.28	6,907,119,621	47.29	107.0	116.1	127.7	
3,307,696,014	24.37	3,603,341,619	24.67	115.0	126.5	137.8	
2,974,865,460	21.91	3,303,778,002	22.62	99.5	106.4	118.2	
2,974,865,460	21.91	3,303,778,002	22.62	99.5	106.4	118.2	
6,590,425,438	48.55	6,988,564,556	47.85	103.2	109.2	115.7	
6,170,588,352	45.45	6,464,464,995	44.26	106.0	112.7	118.1	
2,336,254,358	17.21	2,415,819,414	16.54	102.2	106.8	110.4	
1,294,681,886	9.54	1,294,681,886	8.86	101.4	101.9	101.9	
2,027,464,988	14.93	2,226,170,144	15.24	117.3	134.6	147.8	
125,195,438	0.92	125,195,438	0.86	99.9	99.2	99.2	
386,991,682	2.85	393,072,946	2.69	100.3	100.9	102.5	
0	0.00	9,525,167	0.07	—	—	—	
419,837,086	3.09	524,099,561	3.59	76.8	74.4	92.9	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
200,431,079	1.48	300,431,079	2.06	55.3	69.1	103.5	
219,406,007	1.62	223,668,482	1.53	99.6	80.1	81.6	
13,575,298,460	100.00	14,604,802,059	100.00	106.9	116.7	125.5	

5 経営分析

(1) 施設効率

項 目	単 位	平 成 年 度			
		21	22	23	24
有 収 率	%	93.8	93.5	92.1	92.2
施 設 利 用 率	%	50.2	50.5	50.5	51.2
最 大 稼 働 率	%	55.7	58.4	59.0	59.7
負 荷 率	%	90.2	86.5	85.5	85.9
配 水 管 使 用 効 率	m ³ /m	25.6	25.0	24.1	22.4
固 定 資 産 使 用 効 率	m ³ /万円	14.4	13.7	12.9	12.1

(2) 生産性

項 目	単 位	平 成 年 度			
		21	22	23	24
職 員 一 人 当 たり 給 水 人 口	人	1,842	1,925	2,139	2,095
職 員 一 人 当 たり 給 水 量	m ³	233,835	246,587	272,316	266,782
職 員 一 人 当 たり 営 業 収 益	千円	26,014	27,471	30,249	30,074
有 収 水 量 1 m ³ 当 たり 供 給 単 価	円・銭	108.77	109.10	108.95	110.56
有 収 水 量 1 m ³ 当 たり 給 水 原 価	円・銭	110.89	110.21	112.42	114.80
給 水 量 1 万 m ³ 当 たり 職 員 数	人	16	15	13	14
料 金 徴 収 委 託 率	%	82.6	89.6	90.9	91.6

算 式	説 明
$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	総配水量に対する料金収入となった水量の割合を示すもので、高いほど良好であり、低下すれば配水施設の更新等が必要となる。
$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	水道施設の経済性を総括的に判断する指標。数値が大きいほど効率的とされている。この施設利用率は、最大稼働率と負荷率に分解することができる。
$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	水道施設の利用及び投資の適正化を判断する指標。大きいほど良好であるが、数値が100%に近づきすぎると配水能力のアップが必要となる。
$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	水道事業の施設効率を判断する指標。数値が大きいほど効率的とされている。水道事業のような季節的な需要変動がある事業については、給水需要のピーク時に合わせて施設を建設するため、需要変動が大きいほど施設の効率が悪くなり、負荷率が小となる。このことから負荷率を大にすることが経営の一つの目標となる。
$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	配水管が効率的に使用されているかを判断する指標。数値が大きいほど良好とされているが、給水区域の人口密度によって影響を受け、一般的に数値が大きいほど人口密度が高いと考えられる。
$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	有形固定資産に着目して施設の効率性を判断する指標。数値が大きいほど良好とされている。

算 式	説 明
$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	職員数が適正であるかを判断する指標。数値が大きいほど良好とされている。
$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性(職員一人当たりの生産性)を判断する指標で、大きいほど良好とされている。
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性(職員一人当たりの売上高)を判断する指標で、大きいほど良好とされている。
$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけの収益を得ているかを表すもの。
$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}}{\text{年間総有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもの。
$\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{年間総有収水量(千m}^3\text{)} \div 365 \times 0.1}$	事業規模に対する職員数が適正か判断する指標。小さいほど良好とされている。
$\frac{\text{口座振替数}+\text{徴収委託数}}{\text{全調定件数}} \times 100$	料金徴収における口座振替及び徴収委託(コンビニ含む)の割合を示すもの。

(3) 収益性

項 目	単 位	平 成 年 度			
		21	22	23	24
自己資本回転率	回	0.2	0.2	0.2	0.2
固定資産回転率	回	0.2	0.1	0.1	0.1
減価償却率	%	4.2	4.4	4.1	4.1
流動資産回転率	回	1.3	1.3	1.1	1.0
未収金回転率	回	5.6	3.6	2.4	2.4
総資本利益率	%	0.7	1.2	1.1	1.1
経常収支比率	%	105.5	109.5	109.3	109.4
営業収支比率	%	104.1	104.6	102.1	101.9

算 式	説 明
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})\div 2}$	<p>自己資本に対する営業収益の割合であり、期間中に自己資本の何倍の営業収益があったかを示すものである。この比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発であることを意味する。</p>
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})\div 2}$	<p>この回転率が低いことは、固定資産への投資が過大であり、固定資産の利用度が少ないことを示す。</p>
$\frac{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	<p>固定資産に投下された資本の回収状況を判断する指標。数値が高いほど投下資本が貨幣性資産として回収され、資本として内部留保されていることを示す。</p>
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})\div 2}$	<p>短期資産の活動状況を示し、比率が高いほど収益の回収が早く、健全性を示す。</p>
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})\div 2}$	<p>未収金の回収速度を示し、この比率が高いほど回転が早く、未回収のまま残留する期間が短いことを示す。</p>
$\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})\div 2} \times 100$	<p>企業の収益性を示し、この比率が高いほど投下資本に比べ営業活動が活発で経営成績が良好である。</p>
$\frac{\text{営業収益}+\text{営業外収益}}{\text{営業費用}+\text{営業外費用}} \times 100$	<p>企業の経常的な活動における収益性を示し、100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表すことになる。</p>
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	<p>営業収益とそれに要した営業費用を対比することにより、営業活動の能率を示し、大きいほど良好であることを表し、これが100%未満であることは営業損失が生じていることを意味する。</p>

(4) 財務狀況

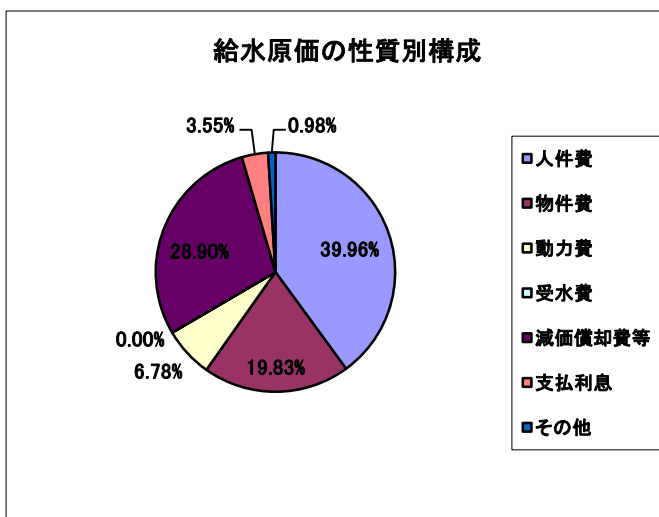
項目	單位	平成年度			
		21	22	23	24
固定資産構成比率	%	90.7	89.5	88.1	88.2
固定負債構成比率	%	24.9	23.1	22.7	23.8
自己資本構成比率	%	74.4	74.3	72.9	72.5
固定資産対長期資本比率	%	91.4	91.9	92.1	91.5
固定比率	%	122.0	120.5	120.8	121.6
流動比率	%	1,294.1	403.1	269.4	325.6
酸性試験比率	%	1,287.7	401.2	268.0	323.5
現金比率	%	951.3	216.6	145.1	205.7
利子負担率	%	2.0	1.8	1.7	1.8
企業債償還額対減価償却費比率	%	70.0	56.5	51.5	46.6
累積欠損金比率	%	—	—	—	—
不良債務比率	%	—	—	—	—
企業債元金対給水収益比率	%	19.2	15.7	14.7	13.7
企業債利息対給水収益比率	%	3.6	3.2	3.3	3.7
企業債元利償還金対給水収益比率	%	22.8	18.9	17.9	17.4
職員給与対給水収益比率	%	44.2	42.8	38.3	38.9

算式	説明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	総資産に対する固定資産の占める割合を示し、大であれば、資本が固定化の傾向にある。
$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	総資本に対する固定負債の占める割合を示し、低いほど経営の安全性は大きい。
$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	総資本に対する自己資本の占める割合を示し、大であるほど経営の安全性は大きい。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$	自己資本と固定負債の範囲内で固定資産の調達をすべきとの立場から、100%以下が好ましい。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	固定資産は自己資本によってまかなわれるべきとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期債務に対して応ずべき流動資産が十分あるかどうかを示し、理想比は200%といわれている。
$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比とされている。
$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	現金預金のみによる流動資産の支払能力を測定するもので、20%以上が理想比とされている。
$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{他会計借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$	負債に対する支払利息の割合を示す。
$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	企業債償還能力を示し、比率が低いほど償還能力は高い。
$\frac{\text{累積欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	累積欠損金が発生している以上、その企業はすでに健全なものとはいえないが、その比率は累積欠損金と営業収益との関係から、経営の悪化状況を計測しようとするもので、数値が高いほど経営が悪化していることを示す。
$\frac{\text{流動負債} - (\text{流動資産} - \text{翌年度繰越財源})}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	不良債務とは、資金的にみて当面の支払能力を超える債務の額、つまり支払不可能の負債であることから、この数値が高いほど経営状況が悪化していることを示す。累積欠損金比率とともに地方公営企業の経営診断のポイントとされている。
$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	この比率は、企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、比率が小さいほど良好である。
$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	この比率は、企業債利息がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、比率が小さいほど良好である。
$\frac{\text{企業債利息} + \text{企業債償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	この比率は小さいほどよく、数値が大きいほど償還金負担が経営の圧迫要因となっていることを示す。
$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	職員数及び給与が適正であるかを判断する指標。

(5) 給水原価の性質別構成内容

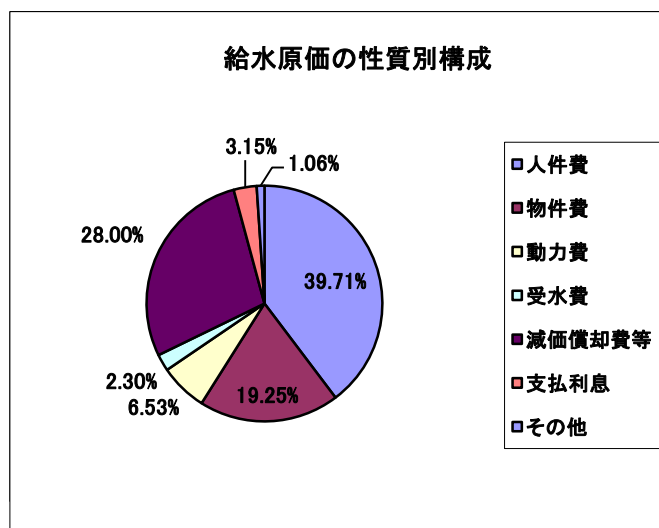
平成24年度

区 分	金 額
	円
人 件 費	45,87
物 件 費	22,77
動 力 費	7,78
受 水 費	0,0
減 価 償 却 費 等	33,18
支 払 利 息	4,08
そ の 他	1,12
計	114,80



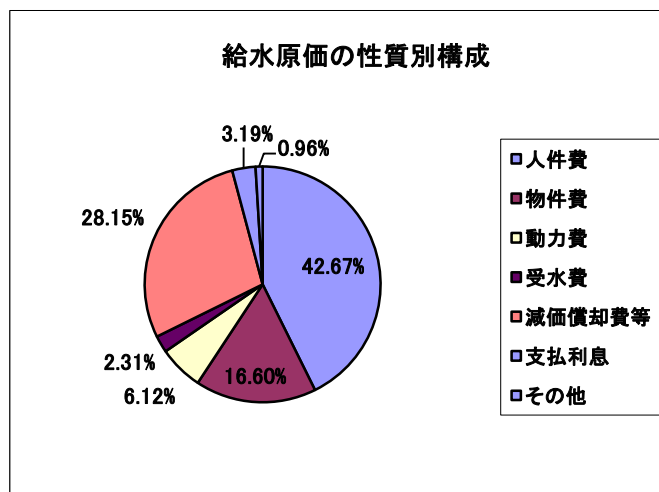
平成23年度

区 分	金 額
	円
人 件 費	44,64
物 件 費	21,64
動 力 費	7,34
受 水 費	2,59
減 価 償 却 費 等	31,48
支 払 利 息	3,54
そ の 他	1,19
計	112,42



平成22年度

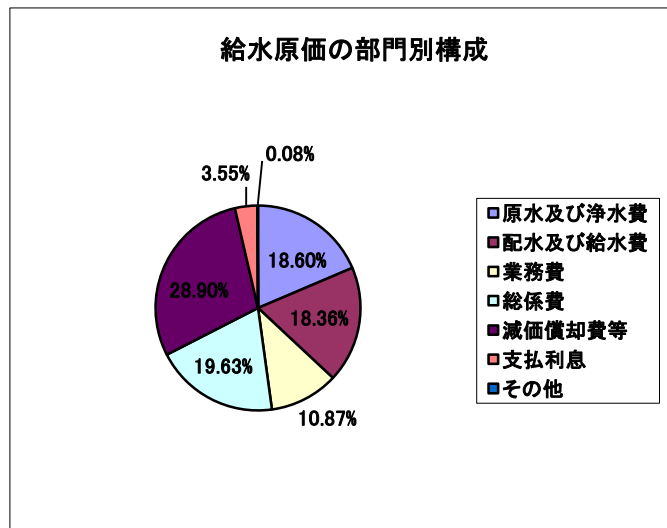
区 分	金 額
	円
人 件 費	47,03
物 件 費	18,29
動 力 費	6,74
受 水 費	2,55
減 価 償 却 費 等	31,02
支 払 利 息	3,52
そ の 他	1,06
計	110,21



(6) 給水原価の部門別構成内容

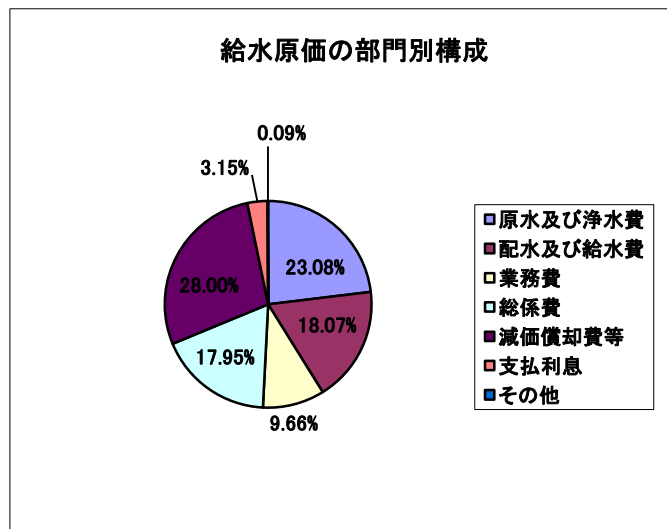
平成24年度

区 分	金 額
	円
原水及び浄水費	21,35
配水及び給水費	21,08
業 務 費	12,48
総 係 費	22,54
減価償却費等	33,18
支 払 利 息	4,08
そ の 他	0,09
計	114,80



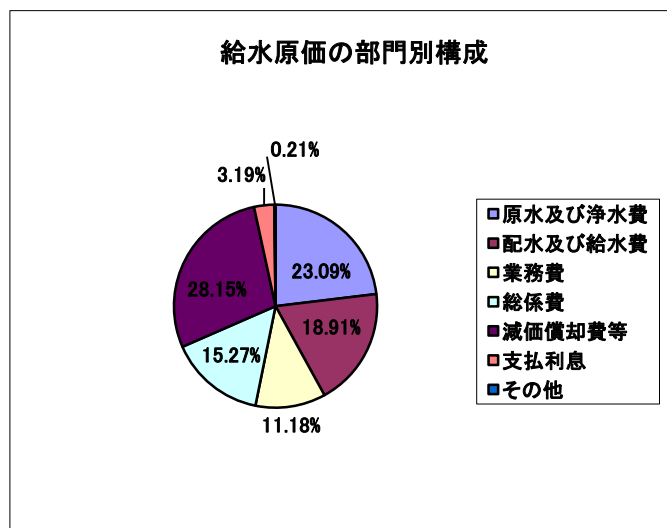
平成23年度

区 分	金 額
	円
原水及び浄水費	25,95
配水及び給水費	20,31
業 務 費	10,86
総 係 費	20,18
減価償却費等	31,48
支 払 利 息	3,54
そ の 他	0,10
計	112,42



平成22年度

区 分	金 額
	円
原水及び浄水費	25,45
配水及び給水費	20,84
業 務 費	12,32
総 係 費	16,83
減価償却費等	31,02
支 払 利 息	3,52
そ の 他	0,23
計	110,21



工業用水道事業

- (I) 概 要
- (II) 施 設
- (III) 業 務
- (IV) 財 政

(I) 概 要

- 1 工業用水道事業の沿革
- 2 工業用水道事業の歩み
- 3 平成24年度事業概況
- 4 写真で見る概要

1 工業用水道事業の沿革

昭和40年代に入り岩国市の産業誘致政策の一環として、本市南部通津地区の海面を埋め立て工場敷地を造成することになり、旭化成(株)をはじめ数社の進出が決定していた。これらの工場に工場用水を給水するため、工業用水道布設事業として昭和45年10月に着工、昭和49年3月に完成し、同年10月より旭化成(株)・旧モラルコ(株)の二つの企業に給水を開始した。

その後、岩国市三角町三丁目地内の岩国市第二工場より工業用水道の給水申し込みがあり、第一次拡張事業として配水池から門前町三丁目の国道手前までの配水管布設工事を水道局発注で昭和52年3月に完成した。また、門前町三丁目の国道から三角町三丁目の同工場までの配水管を岩国市の発注で昭和54年3月に完成し、同年4月より給水を開始した。以降、中国電力(株)をはじめとして数社に給水し現在では12企業・工場となっている。

平成10年6月、上水道事業の水利権変更に伴い工業用水道事業の水利権も30,070 m^3 から28,570 m^3 に変更した。また、平成12年8月から老朽化した工業用水道ポンプ室の取水施設整備事業に着手し、平成14年2月に完成した。

平成12年11月4日の県道拡幅工事、平成13年3月24日の芸予地震による配水管漏水事故がそれぞれに発生したが、工業用水を利用している各企業の理解を得て、半日程度の断水で修理工事を完了し、送水を再開した。

平成16年7月、(株)岩国ウッドパワーの進出に伴い、旭化成建材(株)の保有分を12,500 m^3 /日から11,708 m^3 /日に変更し、(株)岩国ウッドパワーに792 m^3 /日の給水を許可し、本稼働となる平成17年10月からは1,100 m^3 /日の給水を許可した。

平成21年1月、昭和48年に布設された ϕ 600mm配水管にて漏水事故が発生し、断水となったが各企業の協力のもと約2週間の復旧工事を経て、送水を再開した。

平成21年4月、岩国市第二工場の岩国市みすみクリーンセンターへの名称変更と同時に1,000 m^3 /日に変更した。

平成23年7月、日本製紙クレシア(株)の基本使用水量の変更を行い、8,000 m^3 /日から6,000 m^3 /日とした。

平成25年1月、日本製紙クレシア(株)が生産設備を停止したため、基本使用水量を6,000 m^3 /日から100 m^3 /日へと大幅に減量した。

2 工業用水道事業の歩み

年 月	事 項
昭和 44 年 9 月	工業用水道事業認可申請
昭和 45 年 9 月	工業用水道事業認可
昭和 45 年 10 月	工業用水道事業起工
昭和 49 年 3 月	工業用水道事業完成
昭和 49 年 8 月	工業用水道通水開始(旭化成(株)・旧モラルコ(株))
昭和 51 年 4 月	岩国市第一工場給水開始
昭和 51 年 12 月	工業用水道第1次拡張事業認可申請
昭和 51 年 12 月	工業用水道第1次拡張事業起工(設計を含む)
昭和 52 年 3 月	工業用水道第1次拡張事業認可
昭和 53 年 1 月	工業用水道料金改定
昭和 54 年 4 月	岩国市第二工場給水開始
昭和 54 年 9 月	中国電力(株)給水開始
昭和 60 年 4 月	工業用水道料金改定
平成 元年 7 月	前川原水源地高圧水中ポンプ改修工事着工
平成 2 年 3 月	前川原水源地高圧水中ポンプ改修工事完成
平成 4 年 4 月	東洋自動機(株)給水開始
平成 4 年 6 月	朝日鉄工(株)給水開始
平成 4 年 7 月	大邦工業(株)給水開始
平成 5 年 1 月	旭興産(株)給水開始
平成 5 年 11 月	(株)クレシア給水開始
平成 9 年 10 月	平田五丁目工業用水道配水管移設工事着工
平成 9 年 10 月	藤生町三丁目工業用水道配水管移設工事着工
平成 10 年 6 月	水利権変更許可申請(28,570m ³)山口県より許可
平成 10 年 9 月	平田五丁目工業用水道配水管移設工事完成
平成 10 年 10 月	藤生町三丁目工業用水道配水管移設工事完成
平成 12 年 2 月	平田五丁目工業用水道配水管移設工事完成
平成 12 年 2 月	山口県住宅供給公社給水開始
平成 12 年 8 月	取水施設整備事業着工
平成 12 年 11 月	県道拡幅工事に起因する配水管漏水事故
平成 13 年 3 月	芸予地震発生国道188号線陥没による配水管漏水事故
平成 14 年 2 月	取水施設整備事業完成
平成 16 年 7 月	(株)岩国ウッドパワー給水開始
平成 19 年 6 月	牛野谷町三丁目送水管、配水管移設工事完成
平成 20 年 3 月	牛野谷町三丁目送水管移設工事完成
平成 20 年 3 月	取水ポンプ取替工事完成
平成 20 年 11 月	門前三丁目配水管移設工事完成
平成 21 年 1 月	φ 600mm配水管漏水事故
平成 21 年 4 月	岩国市みすみクリーンセンター(旧第二工場)基本使用水量変更
平成 23 年 7 月	日本製紙クレシア(株)基本使用水量変更
平成 24 年 7 月	(株)ミツウロコ岩国発電所(旧(株)岩国ウッドパワー)社名変更
平成 25 年 1 月	日本製紙クレシア(株)基本使用水量変更(生産設備停止)
平成 25 年 3 月	南岩国町四丁目工業用水道配水管布設替工事完成

3 平成24年度事業概況

平成24年度の基本使用水量は、日本製紙クレシア株式会社が生産設備を停機したことにより日量6,000m³から5,900m³減量したため、1万6,958m³となりました。

平成20年度に大規模な配水管漏水があったため、平成21年度から全管路を対象に漏水調査を行い、漏水の早期発見に努めております。

本年度の建設改良事業は、南岩国町四丁目工業用水道配水管DIPφ400布設替工事を8,262万4,500円で施工しました。

4 写真で見る概要

(1) 水源



錦川（伏流水 集水埋管にて取水）

(2) 給水先



通津沖工業団地



中国電力(株) 岩国発電所



岩国市第一工場

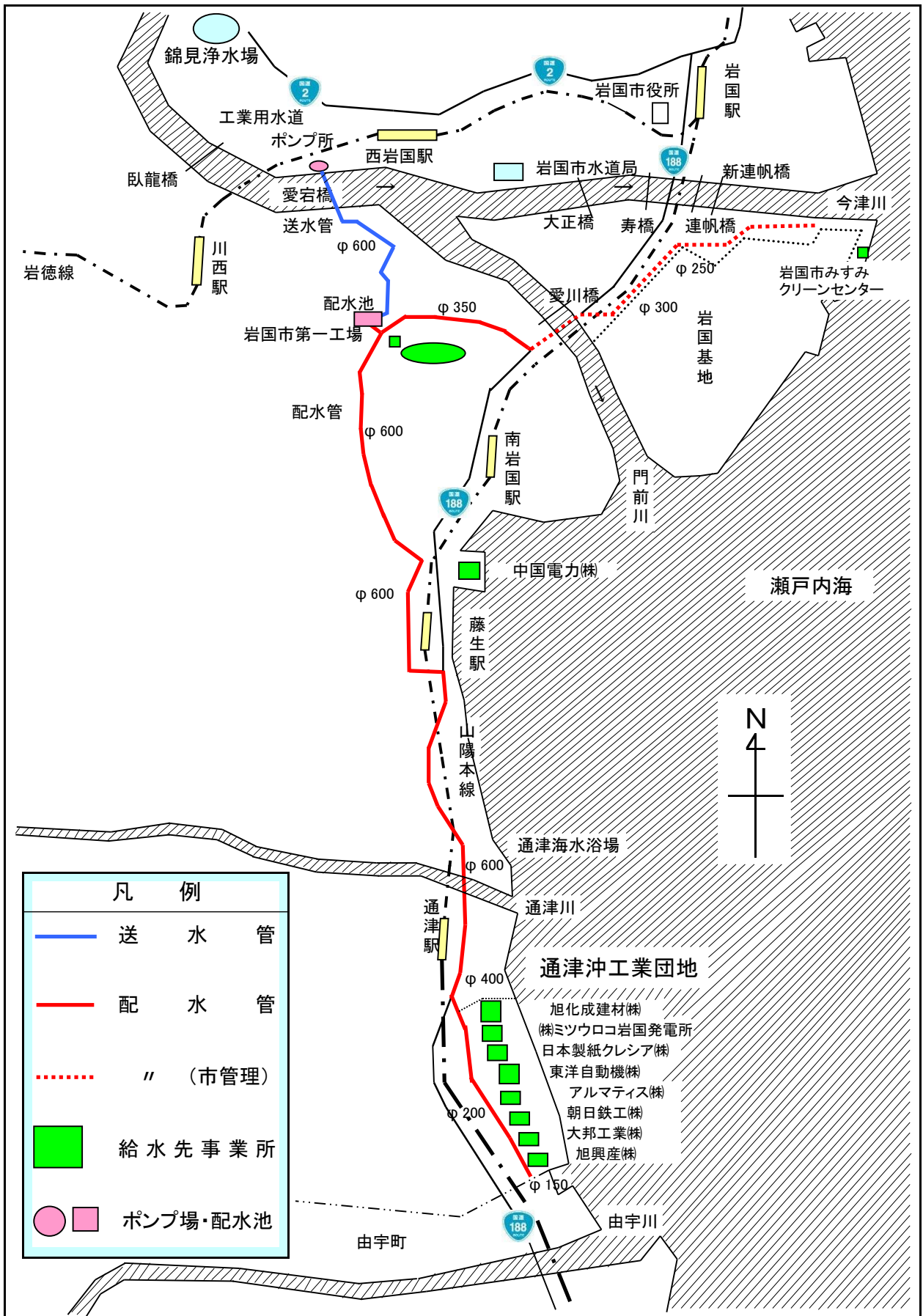


岩国市みすみクリーンセンター

(Ⅱ) 施 設

- 1 各施設及び給水先事業所位置図
- 2 工業用水道施設
- 3 工業用水道管路施設
- 4 施設写真

1 各施設及び給水先事業所位置図



2 工業用水道施設

位 置	ポンプ所 ----- 岩国市錦見七丁目31-7
	配水池 ----- 岩国市平田五丁目92
面 積	ポンプ所 ----- 337.42㎡
	配水池 ----- 644.00㎡
施設能力	28,570㎡/日

名 称	構 造	能 力 ・ 寸 法
導 水 管	FCD φ 800 φ 500	
送 水 ポ ン プ	水中モーターポンプ	380kw Q=20.0m ³ /分 H=80.0m 2台
送 水 管	FCD・GP φ 600	総延長=2,665m
配 水 池	RC造フラットスラブ	No.1 H=65.0m 幅27.85m 長23.10m 有効深4.20m 有効容量 2,700m ³
配 水 管	FCD・GPφ 600・φ 400 φ 350・φ 200・φ 150	総延長=14,320m

3 工業用水道管路施設

(1) 送水管

(単位: m)

管種	口径(mm)	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度	
					当年度分	年度末累計
鑄鉄管	600	2,298.0	2,298.0	2,298.0	0.0	2,298.0
	小計	2,298.0	2,298.0	2,298.0	0.0	2,298.0
鋼管	600	367.0	367.0	367.0	0.0	367.0
	小計	367.0	367.0	367.0	0.0	367.0
合計		2,665.0	2,665.0	2,665.0	0.0	2,665.0

(2) 配水管

(単位: m)

管種	口径(mm)	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度	
					当年度分	年度末累計
鑄鉄管	600	10,121.0	10,121.0	10,121.0	0.0	10,121.0
	400	1,024.0	1,024.0	1,024.0	0.0	1,024.0
	350	2,263.0	2,277.0	2,277.0	0.0	2,277.0
	200	578.0	578.0	578.0	0.0	578.0
	150	240.0	240.0	240.0	0.0	240.0
	100	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0
	小計	14,230.0	14,244.0	14,244.0	0.0	14,244.0
	鋼管	600	46.0	46.0	46.0	0.0
小計	46.0	46.0	46.0	0.0	46.0	
合計		14,276.0	14,290.0	14,290.0	0.0	14,290.0

4 施設写真



ポンプ所外観



ポンプ室内



配水池



愛宕橋添架配水管

(Ⅲ) 業 務

- 1 給水普及状況
- 2 取水量
- 3 配水量
- 4 基本使用(契約)水量
- 5 工業用水道料金
- 6 職員構成

1 給水普及状況

(1) 給水先事業所数及び配水量

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度比較	
					増 △ 減	比率(%)
給水先事業所数	11事業所	11事業所	12事業所	12事業所	0事業所	100.0%
一日基本使用水量(m ³)	22,758	22,758	22,858	16,958	△ 5,900	74.2
年間総配水量(m ³)	2,722,747	3,016,181	3,140,889	2,536,665	△ 604,224	80.8
一日最大配水量(m ³)	11,256	11,945	11,793	11,750	△ 43	99.6
一日最小配水量(m ³)	3,298	3,945	4,088	1,658	△ 2,430	40.6
一日平均配水量(m ³)	7,460	8,264	8,582	6,950	△ 1,632	81.0

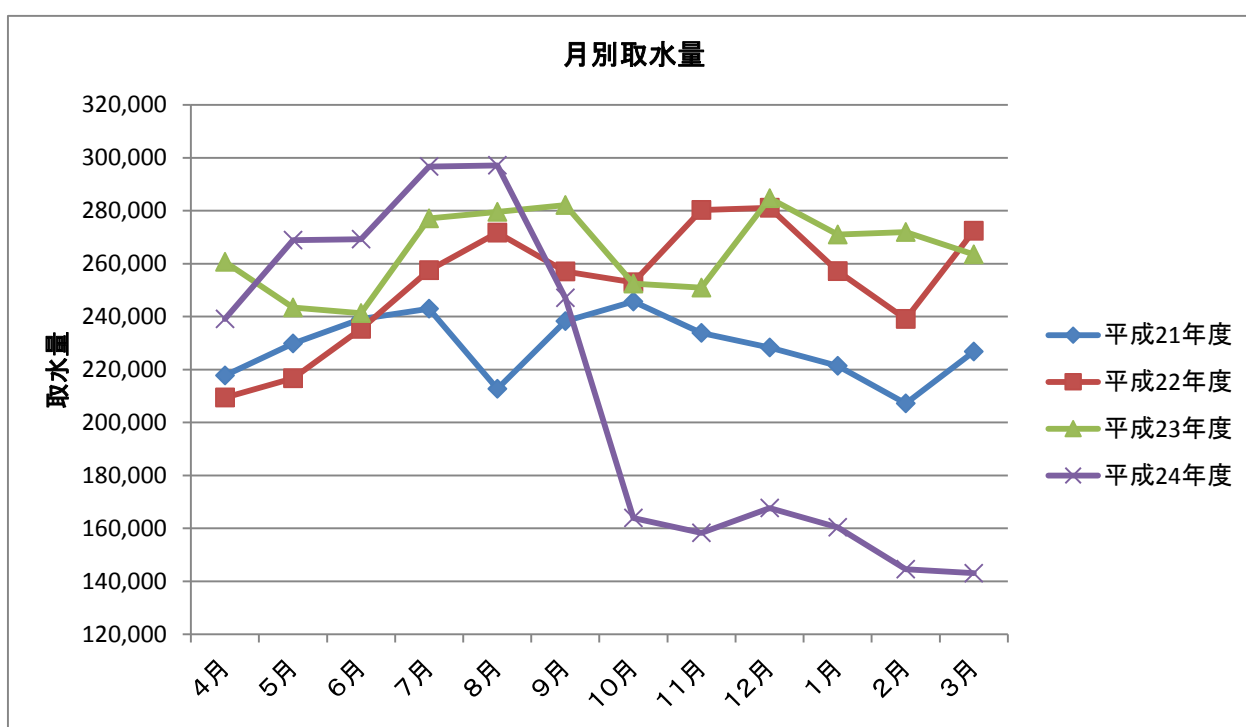
(2) 給水状況

事業所名	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度比較	
					増 △ 減	比率(%)
旭化成建材株式会社	812,604	983,498	1,029,432	1,005,648	△ 23,784	97.7
アルマティス株式会社	11,377	14,988	15,906	16,465	559	103.5
岩国市第一工場	77,212	78,580	72,879	75,681	2,802	103.8
岩国市みすみクリーンセンター	160,492	151,082	149,277	149,563	286	100.2
中国電力株式会社	350,252	309,900	295,569	366,020	70,451	123.8
朝日鉄工株式会社	1,291	1,433	1,532	1,588	56	103.7
旭興産株式会社	8,230	6,056	4,932	6,291	1,359	127.6
大邦工業株式会社	475	337	428	368	△ 60	86.0
東洋自動機株式会社	6,230	7,609	17,069	6,983	△ 10,086	40.9
日本製紙クレシア株式会社	1,077,853	1,216,024	1,301,733	643,866	△ 657,867	49.5
株式会社ミウロ岩国発電所	212,001	246,319	249,275	260,228	10,953	104.4
愛宕山まちづくり安全協議会	—	—	1,674	1,481	△ 193	88.5
計	2,718,017	3,015,826	3,139,706	2,534,182	△ 605,524	80.7

2 取水量

(1) 平成24年度月別取水量

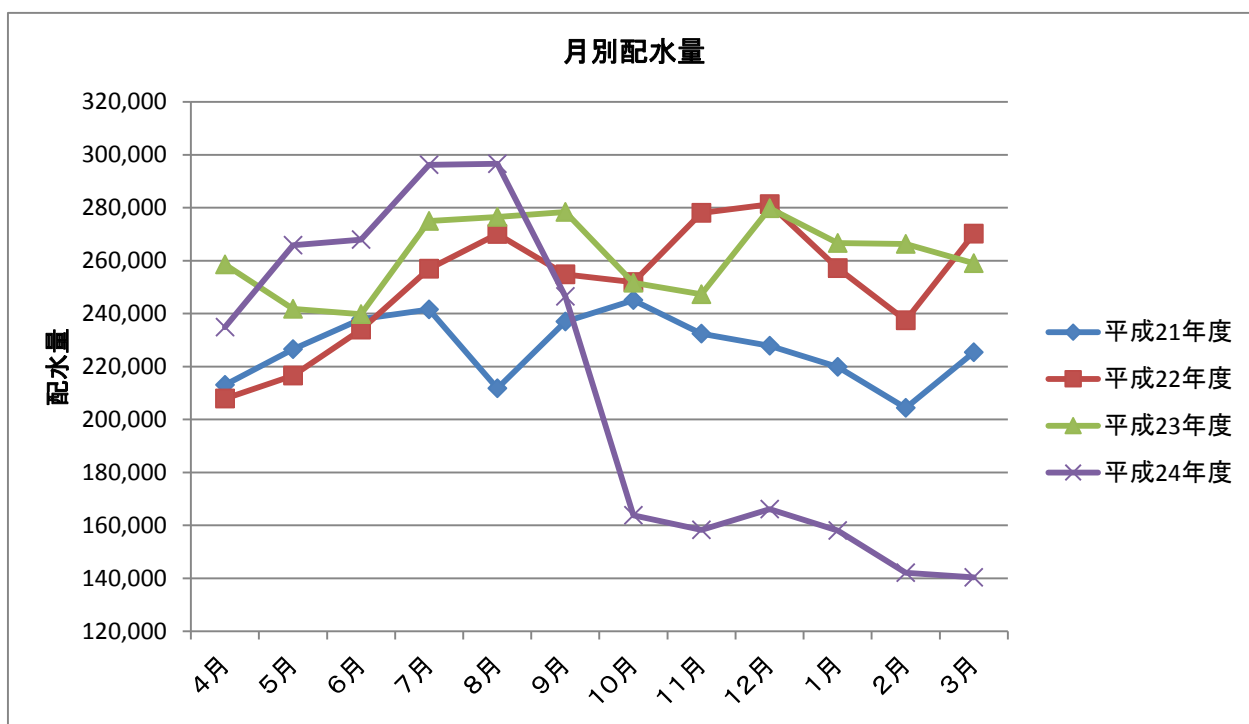
年度 月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度比較	
					増△減	比 率
4月	217,804	209,403	260,694	239,069	△ 21,625	91.7 %
5月	229,823	216,747	243,418	268,915	25,497	110.5 %
6月	239,157	235,302	241,294	269,230	27,936	111.6 %
7月	242,921	257,565	277,135	296,742	19,607	107.1 %
8月	212,767	271,761	279,531	297,117	17,586	106.3 %
9月	238,260	257,099	282,102	247,038	△ 35,064	87.6 %
10月	245,715	252,977	252,477	163,891	△ 88,586	64.9 %
11月	233,782	280,298	250,893	158,253	△ 92,640	63.1 %
12月	228,288	281,114	284,730	167,708	△ 117,022	58.9 %
1月	221,356	257,223	271,042	160,440	△ 110,602	59.2 %
2月	207,194	239,062	272,001	144,513	△ 127,488	53.1 %
3月	226,764	272,441	263,452	143,095	△ 120,357	54.3 %
計	2,743,831	3,030,992	3,178,769	2,556,011	△ 622,758	80.4 %
平均	228,653	252,583	264,897	213,001	△ 51,897	80.4 %



3 配水量

(1) 平成24年度月別配水量

年度 月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度比較	
					増△減	比率
4月	213,053	207,872	258,578	234,869	△ 23,709	90.8 %
5月	226,501	216,531	241,756	265,898	24,142	110.0 %
6月	237,887	233,979	239,787	267,930	28,143	111.7 %
7月	241,535	256,906	274,939	296,235	21,296	107.7 %
8月	211,797	270,094	276,497	296,613	20,116	107.3 %
9月	237,022	254,782	278,384	246,438	△ 31,946	88.5 %
10月	245,039	251,845	251,683	163,831	△ 87,852	65.1 %
11月	232,402	278,037	247,373	158,313	△ 89,060	64.0 %
12月	227,873	281,310	279,789	166,097	△ 113,692	59.4 %
1月	219,875	257,175	266,695	158,021	△ 108,674	59.3 %
2月	204,365	237,445	266,331	142,054	△ 124,277	53.3 %
3月	225,398	270,205	259,077	140,366	△ 118,711	54.2 %
計	2,722,747	3,016,181	3,140,889	2,536,665	△ 604,224	80.8 %
平均	226,896	251,348	261,741	211,389	△ 50,352	80.8 %



4 基本使用（契約）水量

(1) 事業所別基本使用(契約)水量

給水契約事業所名	契約水量(m ³ /日)	備 考
旭化成建材(株)	11,708	20,000m ³ (S49.8)→17,576m ³ (S60.4)→15,876m ³ (H4.4)→12,500m ³ (H5.11)→11,708m ³ (H16.7)
アルマティス(株)	100	100m ³ (S49.9) (旧会社名 モラルコ(株)→アルコアケミカルズ(株))
岩国市第一工場	500	266m ³ (S51.4)→500m ³ (H3.4)
岩国市みすみ クリーンセンター	1,000	4,000m ³ (S54.4)→3,000m ³ (H18.4)→1,000m ³ (H21.4) (旧施設名 第二工場)
中国電力(株)	2,000	500m ³ (S54.9)→2,000m ³ (S55.8)
朝日鉄工(株)	100	100m ³ (H4.6)
旭興産(株)	100	100m ³ (H5.1)
大邦工業(株)	50	50m ³ (H4.7)
東洋自動機(株)	100	1,700m ³ (H4.4)→100m ³ (H8.7)
日本製紙クレシア(株)	100	3,376m ³ (H5.11)→8,000m ³ (H8.7)→6,000m ³ (H23.7)→100m ³ (H25.1) (旧会社名 (株)クレシア)
愛宕山まちづくり 安全協議会	100	100m ³ (H23.6)
山口県 住宅供給公社	中止	250m ³ (H12.2)→1,100m ³ (H12.4)→500m ³ (H13.1)→中止(H20.4)
(株)ミツウロコ 岩国発電所	1,100	792m ³ (H16.7)→1,100m ³ (H17.10) (旧会社名 (株)岩国ウッドパワー H24.7変更)
未 売 水	11,612	9,970m ³ (S49.9)→9,704m ³ (S51.4)→5,204m ³ (S54.9)→3,704m ³ (S55.8) →6,128m ³ (S60.4)→5,894m ³ (H3.4)→5,644m ³ (H5.1)→2,620m ³ (H8.7) →1,120m ³ (H10.6)→870m ³ (H12.2)→20m ³ (H12.4)→620m ³ (H13.1) →312m ³ (H17.10)→1,312m ³ (H18.4)→1,812m ³ (H20.4)→3,812m ³ (H21.4) →3,712m ³ (H23.6)→5,712m ³ (H23.7)→11,612m ³ (H25.1)
水 利 権	28,570	30,070m ³ (S49.8)→28,570m ³ (H10.6)

5 工業用水道料金

(1) 工業用水道料金改定表

種 別	昭和49年8月1日～	昭和53年1月1日～	昭和60年4月1日～	現 在 カッコ内は消費税額
基本料金 (1m ³ につき)	9円00銭	16円50銭	20円20銭	21円21銭 (1円01銭)
特定料金 (1m ³ につき)	9円00銭	16円50銭	20円20銭	21円21銭 (1円01銭)
超過料金 (1m ³ につき)	18円00銭	33円00銭	40円40銭	42円42銭 (2円02銭)

6 職員構成

(1)職員定数および実数

区 分	定 数	年度当初実数	異 動		年度末実数
			増 加	減 少	
主 事	10 人	5 人	0 人	0 人	5 人
技 師		5	0	0	5
主 事 見 習		0	0	0	0
技 師 見 習		0	0	0	0
小 計	10	10	0	0	10
臨 時 職 員	0	0	0	0	0
合 計	10	10	0	0	10

(2) 年齢別職員構成表

職 種 年 齢	主 事		技 師		主事見習		技師見習		合 計	
	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)
25歳未満	—	—	1	10.00	—	—	—	—	1	10.00
25歳以上35歳未満	4	40.00	—	—	—	—	—	—	4	40.00
35歳以上45歳未満	1	10.00	3	30.00	—	—	—	—	4	40.00
45歳以上55歳未満	—	—	1	10.00	—	—	—	—	1	10.00
55歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5	50.00	5	50.00	—	—	—	—	10	100.00
平均年齢	31歳7月		38歳2月		—		—		34歳11月	

(3) 勤続年数別職員構成表

職 種 年 数	主 事		技 師		主事見習		技師見習		合 計	
	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)
5年未満	1	10.00	1	10.00	—	—	—	—	2	20.00
5年以上10年未満	2	20.00	—	—	—	—	—	—	2	20.00
10年以上15年未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15年以上20年未満	2	20.00	3	30.00	—	—	—	—	5	50.00
20年以上	—	—	1	10.00	—	—	—	—	1	10.00
計	5	50.00	5	50.00	—	—	—	—	10	100.00
平均勤続年数	10年7月		17年4月		—		—		14年0月	

(IV) 財 政

- 1 平成24年度財政概況
- 2 平成24年度決算報告書
- 3 年度別収益費用明細書比較
- 4 年度別貸借対照表比較
- 5 経営分析

1 平成24年度財政概況

収益的収支では、収入額 1億6,582万1,776円に対し、支出額 1億4,410万1,935円で、差引き 2,171万9,841円の純利益となりました。

資本的収支では、収入はなく、支出額 1億158万7,296円の不足となりましたが、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 393万4,500円、減債積立金 1,896万2,796円及び過年度分損益勘定留保資金 7,869万円で補てんしました。

2 平成24年度決算報告書

(1) 収入及び支出

収益的収入

区 分	予 算		地 方 公 営 企 業 法 第 24 条 第 3 項 の 規 定 に よ る 支 出 額 に 係 る 財 源 充 当 額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	
	円	円	円
第1款 工業用水道事業収益	162,611,000	11,682,000	—
第1項 営業収益	154,683,000	11,682,000	—
第2項 営業外収益	7,878,000	—	—
第3項 特別利益	50,000	—	—

収益的支出

区 分	予 算				
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地 方 公 営 企 業 法 第 24 条 第 3 項 の 規 定 に よ る 支 出 額
	円	円	円	円	円
第1款 工業用水道事業費用	155,838,000	4,294,000	—	—	—
第1項 営業費用	151,332,000	3,749,000	—	—	—
第2項 営業外費用	3,456,000	545,000	830,000	—	—
第3項 特別損失	50,000	—	—	—	—
第4項 予備費	1,000,000	—	△ 830,000	—	—

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ		備 考
合 計	増 減		増	減	
円	円	円	円		
174,293,000	174,089,084	△	203,916		
166,365,000	165,865,792	△	499,208		(うち、仮受消費税 7,898,363円)
7,878,000	8,222,427		344,427		(うち、仮受消費税 369,056円)
50,000	865	△	49,135		

額			決 算 額	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 第 2 項 の 規 定 に よ る 繰 越 額	不 用 額	備 考
小 計	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 第 2 項 の 規 定 に よ る 繰 越 額	合 計				
円	円	円	円	円	円	
160,132,000	—	160,132,000	148,434,743	—	11,697,257	
155,081,000	—	155,081,000	143,604,081	—	11,476,919	(うち、仮払消費税 1,199,808円)
4,831,000	—	4,831,000	4,830,662	—	338	
50,000	—	50,000	0	—	50,000	
170,000	—	170,000	0	—	170,000	

資本的支出

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	流 用 増 減 額	小 計	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 の 規 定 に よ る 繰 越 額	継 続 費 通 次 繰 越 額
	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的支出	113,563,000	—	—	113,563,000	—	—
第1項 建設改良費	94,500,000	—	—	94,500,000	—	—
第2項 企業債償還金	18,963,000	—	—	18,963,000	—	—
第3項 予備費	100,000	—	—	100,000	—	—

合 計	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			合 計	不 用 額	備 考
		地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 の 規 定 に よ る 繰 越 額	繼 続 費 通 次 繰 越 額				
円	円	円	円	円	円		
113,563,000	101,587,296	—	—	—	11,975,704		
94,500,000	82,624,500	—	—	—	11,875,500	(うち、仮払消費税 3,934,500円)	
18,963,000	18,962,796	—	—	—	204		
100,000	0	—	—	—	100,000		

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 101,587,296円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,934,500円、減債積立金 18,962,796円及び過年度分損益勘定留保資金 78,690,000円で補てんした。

(2) 損益計算書

(単位 円)

1 営業収益

(1) 給水収益 157,967,429 157,967,429

2 営業費用

(1) 原水及び配水費 73,201,161

(2) 総係費 15,530,144

(3) 減価償却費 53,672,968 142,404,273

営業利益 15,563,156

3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金 183,610

(2) 他会計補助金 268,000

(3) 雑収益 7,401,872 7,853,482

4 営業外費用

(1) 支払利息及び
企業債取扱諸費 1,697,662 1,697,662 6,155,820

経常利益 21,718,976

5 特別利益

(1) 過年度損益修正益 865 865 865

当年度純利益 21,719,841

前年度繰越利益剰余金

26,798,707

当年度未処分利益剰余金 48,518,548

(3) 剰余金処分計算書

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	757,480,114	143,495,923	48,518,548
議会の議決による処分額	0	0	0
減債積立金の積立て	0	0	0
利益積立金の積立て	0	0	0
建設改良積立金の積立て	0	0	0
処分後残高	757,480,114	143,495,923	(繰越利益剰余金) 48,518,548

(4) 剰余金計算書

	資本金	資本剰余金		
		工事負担金	受贈財産評価額	資本剰余金合計
前年度末残高	757,480,114	131,591,181	11,904,742	143,495,923
前年度処分額	0	0	0	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0
減債積立金の積立て	0	0	0	0
利益積立金の積立て	0	0	0	0
建設改良積立金の積立て	0	0	0	0
処分後残高	757,480,114	131,591,181	11,904,742	143,495,923
当年度変動額	0	0	0	0
自己資本金への組入れ	18,962,796	0	0	0
企業債の償還	△ 18,962,796	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0
当年度末残高	757,480,114	131,591,181	11,904,742	143,495,923

(単位 円)

剰余金					資本合計
利益剰余金					
減債積立金	利益積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
109,203,633	13,409,650	104,616,689	26,798,707	254,028,679	1,155,004,716
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
			(繰越利益剰余金)		
109,203,633	13,409,650	104,616,689	26,798,707	254,028,679	1,155,004,716
△ 18,962,796	0	0	21,719,841	2,757,045	2,757,045
△ 18,962,796	0	0	0	△ 18,962,796	0
0	0	0	0	0	△ 18,962,796
0	0	0	21,719,841	21,719,841	21,719,841
			(当年度未処分利益剰余金)		
90,240,837	13,409,650	104,616,689	48,518,548	256,785,724	1,157,761,761

(5) 貸借対照表

資産の部

(単位 円)

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 土地		17,457,297	
イ 建物	34,259,394		
減価償却累計額	<u>9,157,533</u>	25,101,861	
ウ 建物附属設備	4,122,885		
減価償却累計額	<u>2,693,889</u>	1,428,996	
エ 構築物	903,065,726		
減価償却累計額	<u>650,030,907</u>	253,034,819	
オ 機械及び装置	578,925,856		
減価償却累計額	<u>391,939,096</u>	186,986,760	
カ 車両運搬具	1,628,600		
減価償却累計額	<u>1,324,662</u>	303,938	
キ 工具・器具及び備品	5,877,100		
減価償却累計額	<u>4,960,745</u>	916,355	
ク 建設仮勘定		<u>80,509,048</u>	
有形固定資産合計		<u>565,739,074</u>	
固定資産合計			565,739,074

2 流動資産

(1) 現金預金		682,146,138	
(2) 未収金		13,601,676	
(3) 貯蔵品		56,646	
(4) 前払費用		<u>26,860</u>	
流動資産合計			<u>695,831,320</u>
資産合計			<u>1,261,570,394</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 引当金		<u>20,672,907</u>	
固定負債合計			20,672,907

4 流動負債

(1) 未払金		82,687,479	
(2) 未払費用		248,322	
(3) その他流動負債		<u>199,925</u>	
流動負債合計			<u>83,135,726</u>
負債合計			103,808,633

資本の部

5 資 本 金

(1) 自己資本金	667,239,277	
(2) 借入資本金		
ア 企 業 債	<u>90,240,837</u>	
借入資本金合計		<u>90,240,837</u>
資本金合計		757,480,114

6 剰 余 金

(1) 資本剰余金		
ア 工 事 負 担 金	131,591,181	
イ 受贈財産評価額	<u>11,904,742</u>	
資本剰余金合計		143,495,923
(2) 利益剰余金		
ア 減 債 積 立 金	90,240,837	
イ 利 益 積 立 金	13,409,650	
ウ 建設改良積立金	104,616,689	
エ 当年度未処分利益		
剰 余 金	<u>48,518,548</u>	
利益剰余金合計		<u>256,785,724</u>
剰 余 金 合 計		<u>400,281,647</u>
資 本 合 計		<u>1,157,761,761</u>
負 債 資 本 合 計		<u>1,261,570,394</u>

(6) 固定資産明細書

有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初の 現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	17,457,297	0	0	17,457,297
建物	34,259,394	0	0	34,259,394
建物附属設備	4,122,885	0	0	4,122,885
構築物	903,065,726	0	0	903,065,726
機械及び装置	578,925,856	0	0	578,925,856
車両運搬具	1,628,600	0	0	1,628,600
工具・器具及び備品	5,877,100	0	0	5,877,100
建設仮勘定	1,819,048	78,690,000	0	80,509,048
計	1,547,155,906	78,690,000	0	1,625,845,906

(単位 円)

減 価 償 却 累 計 額			年度末償却 未 済 高	備考
当年度増加額	当年度減少額	累 計		
—	—	—	17,457,297	
832,503	0	9,157,533	25,101,861	
244,899	0	2,693,889	1,428,996	
20,746,645	0	650,030,907	253,034,819	
31,186,618	0	391,939,096	186,986,760	
153,803	0	1,324,662	303,938	
508,500	0	4,960,745	916,355	
—	—	—	80,509,048	
53,672,968	0	1,060,106,832	565,739,074	

(7) 企業債明細書

種 類		発行年月日	発行総額	償 還 高	
				当年度償還高	償還高累計
借 入 資 本 金	取水施設整備事業	平 13. 3.26	円 50,300,000	円 3,315,130	円 36,498,316
	"	13. 3.29	79,700,000	5,269,242	57,707,964
	"	14. 3.25	65,800,000	4,268,127	43,408,623
	"	14. 3.28	94,200,000	6,110,297	62,144,260
合 計			290,000,000	18,962,796	199,759,163

未償還残高	発行価額	利率	償還終期	備考
円	円	年 % 平		
13,801,684	-	1.60	29. 3. 1	財 務 省 理 財 局
21,992,036	-	1.70	29. 3.20	地 方 公 共 団 体 金 融 機 構
22,391,377	-	1.60	30. 3. 1	財 務 省 理 財 局
32,055,740	-	〃	30. 3.20	地 方 公 共 団 体 金 融 機 構
90,240,837				

3 年度別収益費用明細書比較

科 目	年 度		年 度	
	平 成 21	年 度	平 成 22	年 度
	金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)
工業用水道事業収益	176,724,023	100.00	177,367,407	100.00
営 業 収 益	167,915,929	95.02	168,016,929	94.73
給 水 収 益	167,915,929	95.02	168,016,929	94.73
受 託 工 事 収 益	0	0.00	0	0.00
営 業 外 収 益	8,805,147	4.98	9,339,599	5.27
受 取 利 息 及 び 配 当 金	213,711	0.12	223,059	0.13
雑 収 益	8,591,436	4.86	8,596,540	4.85
他 会 計 補 助 金	0	0.00	520,000	0.29
特 別 利 益	2,947	0.00	10,879	0.01
過 年 度 損 益 修 正 益	2,947	0.00	10,879	0.01
そ の 他 特 別 利 益	0	0.00	0	0.00
工業用水道事業費用	157,623,928	100.00	158,875,538	100.00
営 業 費 用	155,026,079	98.35	156,572,895	98.55
原 水 及 び 配 水 費	79,203,009	50.25	79,852,592	50.26
受 託 工 事 費	0	0.00	0	0.00
総 係 費	16,695,853	10.59	14,719,286	9.26
減 価 償 却 費	59,127,217	37.51	61,157,066	38.49
資 産 減 耗 費	0	0.00	843,951	0.53
営 業 外 費 用	2,597,849	1.65	2,302,643	1.45
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,597,849	1.65	2,302,643	1.45
雑 支 出	0	0.00	0	0.00
特 別 損 失	0	0.00	0	0.00
過 年 度 損 益 修 正 損	0	0.00	0	0.00
臨 時 損 失	0	0.00	0	0.00
当 年 度 純 利 益	19,100,095	—	18,491,869	—

平成 23 年 度		平成 24 年 度		すう勢比率(21年度=100)			備考
金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)	22年度	23年度	24年度	
178,086,384	100.00	165,821,776	100.00	100.4	100.8	93.8	
169,240,201	95.03	157,967,429	95.26	100.1	100.8	94.1	
169,240,201	95.03	157,967,429	95.26	100.1	100.8	94.1	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
8,838,579	4.96	7,853,482	4.74	106.1	100.4	89.2	
171,793	0.10	183,610	0.11	104.4	80.4	85.9	
7,558,786	4.24	7,401,872	4.46	100.1	88.0	86.2	
1,108,000	0.62	268,000	0.16	—	—	—	
7,604	0.00	865	0.00	369.2	258.0	29.4	
7,604	0.00	865	0.00	369.2	258.0	29.4	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
157,046,396	100.00	144,101,935	100.00	100.8	99.6	91.4	
155,043,791	98.72	142,404,273	98.82	101.0	100.0	91.9	
78,197,486	49.79	73,201,161	50.80	100.8	98.7	92.4	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
15,547,157	9.90	15,530,144	10.78	88.2	93.1	93.0	
61,299,148	39.03	53,672,968	37.25	103.4	103.7	90.8	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
2,002,605	1.28	1,697,662	1.18	88.6	77.1	65.3	
2,002,605	1.28	1,697,662	1.18	88.6	77.1	65.3	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
21,039,988	—	21,719,841	—	96.8	110.2	113.7	

4 年度別貸借対照表比較

(1) 資産の部

科 目	平 成 21 年 度		平 成 22 年 度	
	金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)
固 定 資 産	624,299,159	52.66	569,702,142	47.40
有 形 固 定 資 産	624,299,159	52.66	569,702,142	47.40
土 地	17,457,297	1.47	17,457,297	1.45
建 物	27,599,370	2.33	26,766,867	2.23
建 物 附 属 設 備	2,163,693	0.18	1,918,794	0.16
構 築 物	309,479,367	26.11	294,579,622	24.51
機 械 及 び 装 置	264,944,066	22.35	226,308,722	18.83
車 両 運 搬 具	40,930	0.00	701,485	0.06
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	2,614,436	0.22	1,969,355	0.16
建 設 仮 勘 定	0	0.00	0	0.00
無 形 固 定 資 産	0	0.00	0	0.00
電 話 加 入 権	0	0.00	0	0.00
流 動 資 産	561,164,478	47.34	632,239,958	52.60
現 金 預 金	539,629,986	45.52	609,986,289	50.75
未 収 金	21,464,416	1.81	22,183,593	1.85
貯 蔵 品	56,646	0.00	56,646	0.00
前 払 金	13,430	0.00	13,430	0.00
資 産 合 計	1,185,463,637	100.00	1,201,942,100	100.00

平成 23 年 度		平成 24 年 度		すう勢比率(21年度=100)			備考
金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)	22年度	23年度	24年度	
540,722,042	45.03	565,739,074	44.84	91.3	86.6	90.6	
540,722,042	45.03	565,739,074	44.84	91.3	86.6	90.6	
17,457,297	1.45	17,457,297	1.38	100.0	100.0	100.0	
25,934,364	2.16	25,101,861	1.99	97.0	94.0	91.0	
1,673,895	0.14	1,428,996	0.11	88.7	77.4	66.0	
273,781,464	22.80	253,034,819	20.06	95.2	88.5	81.8	
218,173,378	18.17	186,986,760	14.82	85.4	82.3	70.6	
457,741	0.04	303,938	0.02	1713.9	1118.4	742.6	
1,424,855	0.12	916,355	0.07	75.3	54.5	35.0	
1,819,048	0.15	80,509,048	6.38	—	—	—	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
0	0.00	0	0.00	—	—	—	
660,140,453	54.97	695,831,320	55.16	112.7	117.6	124.0	
641,418,426	53.41	682,146,138	54.07	113.0	118.9	126.4	
18,651,951	1.55	13,601,676	1.08	103.4	86.9	63.4	
56,646	0.00	56,646	0.00	100.0	100.0	100.0	
13,430	0.00	26,860	0.00	100.0	100.0	200.0	
1,200,862,495	100.00	1,261,570,394	100.00	101.4	101.3	106.4	

(2) 負債・資本の部

科 目	平 成 21 年 度		平 成 22 年 度	
	金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)
固 定 負 債	37,762,907	3.19	45,462,907	3.78
引 当 金	37,762,907	3.19	45,462,907	3.78
流 動 負 債	1,806,203	0.15	3,856,612	0.32
未 払 金	1,203,675	0.10	3,154,962	0.26
未 払 費 用	344,218	0.03	463,815	0.04
そ の 他 流 動 負 債	258,310	0.02	237,835	0.02
資 本 金	757,480,929	63.90	757,480,114	63.02
自 己 資 本 金	611,261,628	51.56	629,618,628	52.38
借 入 資 本 金	146,219,301	12.33	127,861,486	10.64
企 業 債	146,219,301	12.33	127,861,486	10.64
剰 余 金	388,413,598	32.76	395,142,467	32.88
資 本 剰 余 金	136,901,923	11.55	143,495,923	11.94
工 事 負 担 金	131,591,181	11.10	131,591,181	10.95
受 贈 財 産 評 価 額	5,310,742	0.45	11,904,742	0.99
利 益 剰 余 金	251,511,675	21.22	251,646,544	20.94
減 債 積 立 金	129,385,241	10.91	121,028,241	10.07
利 益 積 立 金	8,409,650	0.71	13,409,650	1.12
建 設 改 良 積 立 金	94,616,689	7.98	94,616,689	7.87
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	19,100,095	1.61	22,591,964	1.88
負 債 資 本 合 計	1,185,463,637	100.00	1,201,942,100	100.00

平成 23 年 度		平成 24 年 度		すう勢比率(21年度=100)			備考
金 額(円)	比率(%)	金 額(円)	比率(%)	22年度	23年度	24年度	
13,062,907	1.09	20,672,907	1.64	120.4	34.6	54.7	
13,062,907	1.09	20,672,907	1.64	120.4	34.6	54.7	
32,794,872	2.73	83,135,726	6.59	213.5	1815.7	4602.8	
32,384,332	2.70	82,687,479	6.55	262.1	2690.5	6869.6	
203,535	0.02	248,322	0.02	134.7	59.1	72.1	
207,005	0.02	199,925	0.02	92.1	80.1	77.4	
757,480,114	63.08	757,480,114	60.04	100.0	100.0	100.0	
648,276,481	53.98	667,239,277	52.89	103.0	106.1	109.2	
109,203,633	9.09	90,240,837	7.15	87.4	74.7	61.7	
109,203,633	9.09	90,240,837	7.15	87.4	74.7	61.7	
397,524,602	33.10	400,281,647	31.73	101.7	102.3	103.1	
143,495,923	11.95	143,495,923	11.37	104.8	104.8	104.8	
131,591,181	10.96	131,591,181	10.43	100.0	100.0	100.0	
11,904,742	0.99	11,904,742	0.94	224.2	224.2	224.2	
254,028,679	21.15	256,785,724	20.35	100.1	101.0	102.1	
109,203,633	9.09	90,240,837	7.15	93.5	84.4	69.7	
13,409,650	1.12	13,409,650	1.06	159.5	159.5	159.5	
104,616,689	8.71	104,616,689	8.29	100.0	110.6	110.6	
26,798,707	2.23	48,518,548	3.85	118.3	140.3	254.0	
1,200,862,495	100.00	1,261,570,394	100.00	101.4	101.3	106.4	

5 経営分析

(1) 施設効率

項 目	単 位	平 成 年 度			
		21	22	23	24
有 収 率	%	99.1	99.4	99.9	99.9
施 設 利 用 率	%	26.1	29.1	30.0	24.3

(2) 生産性

項 目	単 位	平 成 年 度			
		21	22	23	24
職 員 一 人 当 たり 配 水 量	m ³	302,527	336,777	314,089	253,667
職 員 一 人 当 たり 営 業 収 益	千円	18,657	18,669	16,924	15,797
有 収 水 量 1 m ³ 当 たり 供 給 単 価	円・銭	61.78	61.78	53.90	62.33
有 収 水 量 1 m ³ 当 たり 給 水 原 価	円・銭	57.99	57.99	50.02	61.97

算 式	説 明
$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	総配水量に対する料金収入となった水量の割合を示すもので、高いほど良好で、低下すれば配水施設の更新等が必要となる。
$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	水道施設の経済性を総括的に判断する指標。数値が大きいほど効率的とされている。この施設利用率は、最大稼働率と負荷率に分解することができる。

算 式	説 明
$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性(職員一人当たりの生産性)を判断する指標で、大きいほど良好とされている。
$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性(職員一人当たりの売上高)を判断する指標で、大きいほど良好とされている。
$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけの収益を得ているかを表すもの。
$\frac{\text{経常費用－受託工事費}}{\text{年間総有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもの。

(3) 収益性

項 目	単 位	平 成 年 度			
		21	22	23	24
自 己 資 本 回 転 率	回	0.2	0.2	0.2	0.1
固 定 資 産 回 転 率	回	0.3	0.3	0.3	0.3
減 価 償 却 率	%	8.9	10.0	10.5	10.3
流 動 資 産 回 転 率	回	0.3	0.3	0.3	0.2
未 収 金 回 転 率	回	7.8	7.7	8.3	9.8
総 資 本 利 益 率	%	1.6	1.5	1.8	1.8
経 常 収 支 比 率	%	89.2	89.6	88.2	94.7
営 業 収 支 比 率	%	108.3	107.3	109.2	110.9

算 式	説 明
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})\div 2}$	<p>投下した自己資本の活動能力を示し、比率が高いほど資本の回収が早い。</p>
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})\div 2}$	<p>この回転率が低いことは、固定資産への投資が過大であり、固定資産の利用度が少ないことを示す。</p>
$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$	<p>固定資産に投下された資本の回収状況を判断する指標。数値が高いほど投下資本が貨幣性資産として回収され、資本として内部留保されていることを示す。</p>
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})\div 2}$	<p>短期資産の活動状況を示し、比率が高いほど収益の回収が早く、健全性を示す。</p>
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})\div 2}$	<p>未収金の回収速度を示し、この比率が高いほど回転が早く、未回収のまま残留する期間が短いことを示す。</p>
$\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})\div 2} \times 100$	<p>企業の収益性を示し、この比率が高いほど投下資本に比べ営業活動が活発で経営成績が良好である。</p>
$\frac{\text{営業収益}+\text{営業外収益}}{\text{営業費用}+\text{営業外費用}} \times 100$	<p>企業の経常的な活動における収益性を示し、100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表すことになる。</p>
$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	<p>営業収益とそれに要した営業費用を対比することにより、営業活動の能率を示し、大きいほど良好である。</p>

(4) 財務狀況

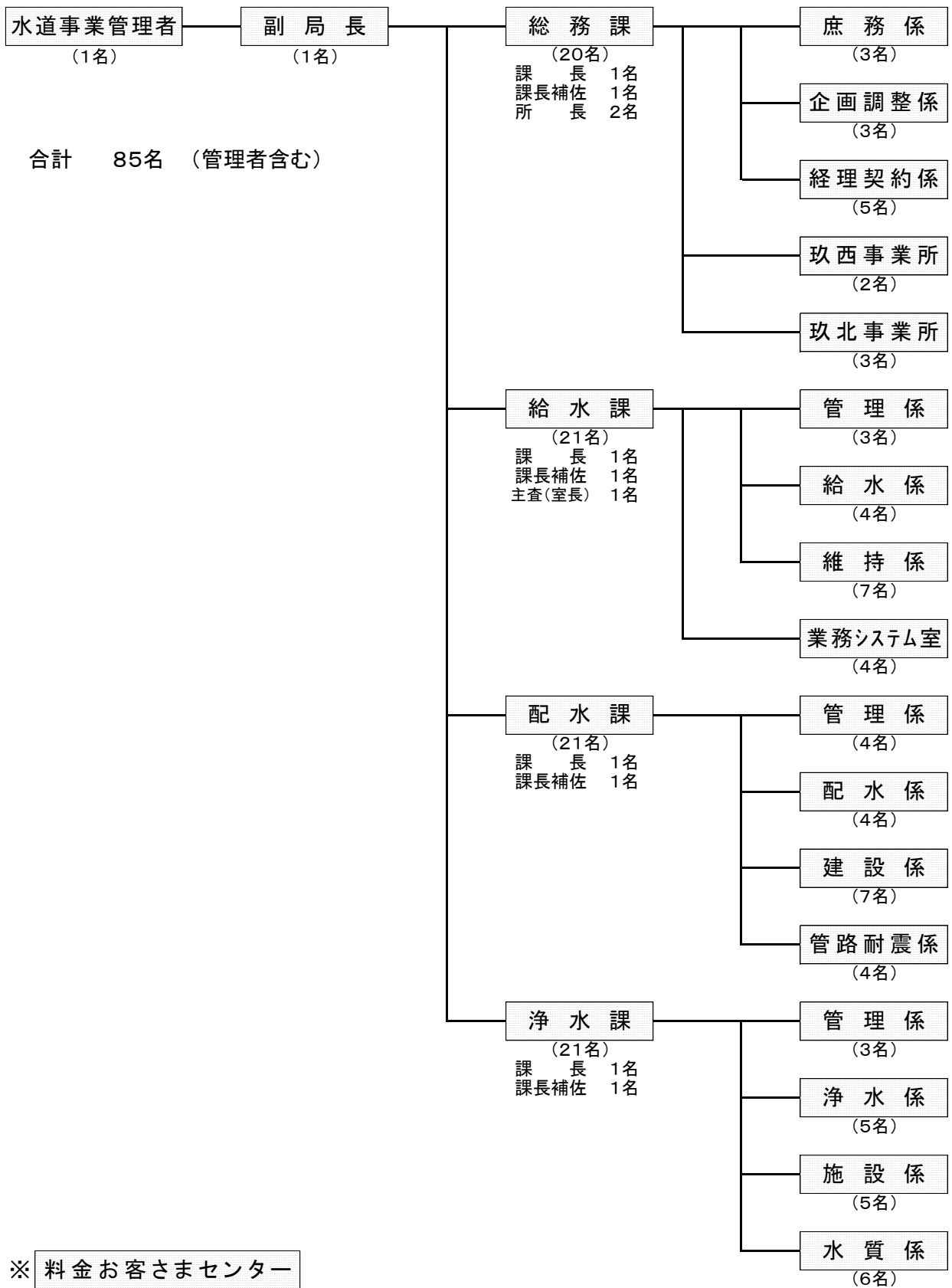
項目	單位	平成年度			
		21	22	23	24
固定資産構成比率	%	52.7	47.4	45.0	44.8
固定負債構成比率	%	15.5	14.4	10.2	8.8
自己資本構成比率	%	84.3	85.3	87.1	84.6
固定資産対長期資本比率	%	60.2	47.6	46.3	48.0
固定比率	%	62.5	55.6	51.7	53.0
流動比率	%	31,068.7	16,393.7	2,012.9	837.0
酸性試験比率	%	31,064.9	16,391.8	2,012.7	836.9
現金比率	%	29,876.5	15,816.6	1,955.8	820.5
利子負担率	%	1.8	1.8	1.8	1.9
企業債償還額対減価償却費比率	%	30.5	30.5	30.4	35.3
累積欠損金比率	%	—	—	—	—
不良債務比率	%	—	—	—	—
企業債元金対給水収益比率	%	10.0	10.9	11.0	12.0
企業債利息対給水収益比率	%	1.6	1.4	1.2	1.1
企業債元利償還金対給水収益比率	%	11.6	12.3	12.2	13.1
職員給与費対給水収益比率	%	45.1	40.8	36.6	41.0

算 式	説 明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	総資産に対する固定資産の占める割合を示し、大であれば資本が固定化の傾向にある。
$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	総資本に対する固定負債の占める割合を示し、低いほど経営の安全性は大きい。
$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	総資本に対する自己資本の占める割合を示し、大であるほど経営の安全性は大きい。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$	自己資本と固定負債の範囲内で固定資産の調達をすべきとの立場から、100%以下が好ましい。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	固定資産は自己資本によってまかなわれるべきとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期債務に対して応ずべき流動資産が十分あるかどうかを示し、理想比は200%以上といわれている。
$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比とされている。
$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	現金預金のみによる流動資産の支払能力を測定するもので、20%以上が理想比とされている。
$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{他会計借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$	負債に対する支払利息の割合を示す。
$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	企業債償還能力を示し、比率が低いほど償還能力は高い。
$\frac{\text{累積欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	累積欠損金が発生している以上、その企業はすでに健全なものとはいえないが、その比率は累積欠損金と営業収益との関係から、経営の悪化状況を計測しようとするもので、数値が高いほど経営が悪化していることを示す。
$\frac{\text{流動負債} - (\text{流動資産} - \text{翌年度繰越財源})}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	不良債務とは、資金的にみて当面の支払能力を超える債務の額、つまり支払不可能の負債であることから、この数値が高いほど経営状況が悪化していることを示す。累積欠損金比率とともに地方公営企業の経営診断のポイントとされている。
$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	この比率は、企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、比率が小さいほど良好である。
$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	この比率は、企業債利息がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、比率が小さいほど良好である。
$\frac{\text{企業債利息} + \text{企業債償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	この比率は小さいほどよく、数値が大きいほど償還金負担が経営の圧迫要因となっていることを示す。
$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	職員数及び給与が適正であるかを判断する指標。

そ の 他

- 1 水道局の機構
- 2 職員構成
- 3 事務分掌
- 4 防災関係

1 水道局の機構 (平成25年4月1日現在)



2 職員構成

(1) 年齢別職員構成表

年度	職 種 年 齡	主 事		技 師		主 事 見 習		技 師 見 習	
		職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)
平成 21 年 度	25歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
	25歳以上～35歳未満	13	15.29	9	10.59	—	—	—	—
	35歳以上～45歳未満	15	17.64	11	12.94	—	—	—	—
	45歳以上～55歳未満	4	4.71	15	17.65	—	—	—	—
	55歳以上	4	4.71	8	9.41	—	—	—	—
	計	36	42.35	43	50.59	—	—	—	—
平成 22 年 度	25歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
	25歳以上～35歳未満	12	13.95	9	10.47	—	—	—	—
	35歳以上～45歳未満	15	17.44	12	13.95	—	—	—	—
	45歳以上～55歳未満	5	5.81	12	13.95	—	—	—	—
	55歳以上	3	3.49	10	11.63	—	—	—	—
	計	35	40.69	43	50.00	—	—	—	—
平成 23 年 度	25歳未満	5	—	2	—	—	—	—	—
	25歳以上～35歳未満	13	15.66	4	4.82	—	—	—	—
	35歳以上～45歳未満	16	19.27	18	21.69	—	—	—	—
	45歳以上～55歳未満	6	7.23	11	13.25	—	—	—	—
	55歳以上	1	1.20	7	8.43	—	—	—	—
	計	41	49.40	42	50.60	—	—	—	—
平成 24 年 度	25歳未満	5	—	2	—	—	—	—	—
	25歳以上～35歳未満	13	15.29	6	7.06	—	—	—	—
	35歳以上～45歳未満	17	20.00	18	21.18	—	—	—	—
	45歳以上～55歳未満	6	7.06	9	10.59	—	—	—	—
	55歳以上	1	1.18	8	9.41	—	—	—	—
	計	42	49.41	43	50.59	—	—	—	—

主 事 補		技 師 補		主事補見習		技師補見習		合 計	
職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職 員 数 (人)	比 率 (%)
4	4.71	2	2.35	—	—	—	—	6	7.06
—	—	—	—	—	—	—	—	22	25.88
—	—	—	—	—	—	—	—	26	30.59
—	—	—	—	—	—	—	—	19	22.35
—	—	—	—	—	—	—	—	12	14.12
4	4.71	2	2.35	—	—	—	—	85	100.00
5	5.82	1	1.18	—	—	—	—	6	6.98
1	1.17	1	1.18	—	—	—	—	23	26.74
—	—	—	—	—	—	—	—	27	31.40
—	—	—	—	—	—	—	—	17	19.76
—	—	—	—	—	—	—	—	13	15.12
6	5.82	2	1.18	—	—	—	—	86	100.00
—	—	—	—	—	—	—	—	7	8.44
—	—	—	—	—	—	—	—	17	20.48
—	—	—	—	—	—	—	—	34	40.96
—	—	—	—	—	—	—	—	17	20.48
—	—	—	—	—	—	—	—	8	9.64
—	—	—	—	—	—	—	—	83	100.00
—	—	—	—	—	—	—	—	7	8.24
—	—	—	—	—	—	—	—	19	22.35
—	—	—	—	—	—	—	—	35	41.18
—	—	—	—	—	—	—	—	15	17.64
—	—	—	—	—	—	—	—	9	10.59
—	—	—	—	—	—	—	—	85	100.00

(2) 勤続年数別職員構成表

年度	職 種 年 齡	主 事		技 師		主 事 見 習		技 師 見 習	
		職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)
平成 21 年 度	5年未満	—	—	—	—	—	—	—	—
	5年以上～10年未満	6	7.06	3	3.53	—	—	—	—
	10年以上～15年未満	9	10.59	10	11.76	—	—	—	—
	15年以上～20年未満	4	4.71	4	4.71	—	—	—	—
	20年以上	17	20.00	26	30.59	—	—	—	—
	計	36	42.35	43	50.59	—	—	—	—
平成 22 年 度	5年未満	—	—	—	—	—	—	—	—
	5年以上～10年未満	5	5.81	3	3.49	—	—	—	—
	10年以上～15年未満	8	9.30	8	9.30	—	—	—	—
	15年以上～20年未満	6	6.98	5	5.82	—	—	—	—
	20年以上	16	18.60	27	31.40	—	—	—	—
	計	35	40.70	43	50.00	—	—	—	—
平成 23 年 度	5年未満	8	9.64	1	1.21	—	—	—	—
	5年以上～10年未満	4	4.82	4	4.82	—	—	—	—
	10年以上～15年未満	8	9.64	5	6.02	—	—	—	—
	15年以上～20年未満	7	8.43	10	12.05	—	—	—	—
	20年以上	14	16.87	22	26.51	—	—	—	—
	計	41	49.40	42	50.60	—	—	—	—
平成 24 年 度	5年未満	7	8.24	3	3.53	—	—	—	—
	5年以上～10年未満	6	7.06	4	4.71	—	—	—	—
	10年以上～15年未満	4	4.71	0	0.00	—	—	—	—
	15年以上～20年未満	9	10.59	13	15.30	—	—	—	—
	20年以上	16	18.82	23	27.06	—	—	—	—
	計	42	49.41	43	50.59	—	—	—	—

主 事 補		技 師 補		主事補見習		技師補見習		合 計	
職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職員数 (人)	比 率 (%)	職 員 数 (人)	比 率 (%)
4	4.71	2	2.35	—	—	—	—	6	7.06
—	—	—	—	—	—	—	—	9	10.59
—	—	—	—	—	—	—	—	19	22.35
—	—	—	—	—	—	—	—	8	9.41
—	—	—	—	—	—	—	—	43	50.59
4	4.71	2	2.35	—	—	—	—	85	100.00
6	6.98	2	2.33	—	—	—	—	8	9.30
—	—	—	—	—	—	—	—	8	9.30
—	—	—	—	—	—	—	—	16	18.60
—	—	—	—	—	—	—	—	11	12.80
—	—	—	—	—	—	—	—	43	50.00
6	6.98	2	2.33	—	—	—	—	86	100.00
—	—	—	—	—	—	—	—	9	10.84
—	—	—	—	—	—	—	—	8	9.64
—	—	—	—	—	—	—	—	13	15.66
—	—	—	—	—	—	—	—	17	20.49
—	—	—	—	—	—	—	—	36	43.37
—	—	—	—	—	—	—	—	83	100.00
—	—	—	—	—	—	—	—	10	11.76
—	—	—	—	—	—	—	—	10	11.76
—	—	—	—	—	—	—	—	4	4.71
—	—	—	—	—	—	—	—	22	25.89
—	—	—	—	—	—	—	—	39	45.88
—	—	—	—	—	—	—	—	85	100.00

3 事務分掌

(平成25年4月1日現在)

(1) 総務課

ア 庶務係

- (ア) 文書の受発に関する事。
- (イ) 公印に関する事。
- (ウ) 条例、規則及び規程に関する事。
- (エ) 職員の採用及び任免に関する事。
- (オ) 職員の分限、懲戒及び褒賞等身分取扱いに関する事。
- (カ) 組織及び機構に関する事。
- (キ) 職員の定数及び配置に関する事。
- (ク) 職員の初任給、昇格、昇給及び給与に関する事。
- (ケ) 源泉徴収及び特別徴収に関する事。
- (コ) 児童手当に関する事。
- (サ) 公務旅行及び旅費に関する事。
- (シ) 労働組合に関する事。
- (ス) 労務管理に関する事。
- (セ) 公務災害補償に関する事。
- (ソ) 市町村職員共済組合に関する事。
- (タ) 職員の安全衛生管理に関する事。
- (チ) 職員の福利厚生に関する事。
- (ツ) 局日誌に関する事。
- (テ) 局所管の土地の管理に関する事。
- (ト) 庁舎及び構内の管理に関する事。
- (ナ) 局内の取締り、管理及び宿日直に関する事。
- (ニ) 公舎の維持管理及び入居に関する事。
- (ヌ) 局車両の総括管理に関する事。
- (ネ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関する事。
- (ノ) 課所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (ハ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関する事。
- (ヒ) 課主管の入札に関する事。
- (フ) 課主管の入札を伴わない契約に関する事。
- (ヘ) 主管事務に関する文書の整理及び保存に関する事。
- (ホ) 他課及び課内他係に属さない事。

イ 企画調整係

- (ア) 企画に関する事。
- (イ) 中長期基本計画の策定に関する事。
- (ウ) 行財政改革の策定及び評価に関する事。
- (エ) 防災計画及び危機管理に関する事。
- (オ) 情報処理システムの構築及び管理運用に関する事。
- (カ) 事業年報に関する事。
- (キ) 日本水道協会の事務に関する事。
- (ク) 局主管の調査及び研究に関する事。
- (ケ) 職員の研修に関する事。
- (コ) 局内の行事に関する事。
- (サ) 局主管の広報及び統計に関する事。
- (シ) 建物火災及び自動車損害賠償責任保険の契約に関する事。
- (ス) その他総務に関する事。

ウ 経理契約係

- (ア) 予算の編成及び執行並びに決算に関する事。
- (イ) 資金計画及び借入金に関する事。
- (ウ) 企業債及び一時借入金に関する事。
- (エ) 剰余金の処分及び積立金に関する事。
- (オ) 収納取扱金融機関に関する事。
- (カ) 原価計算に関する事。
- (キ) 収入支出主計簿及び関係証拠書類の整理保管に関する事。
- (ク) 財産の取得及び維持管理並びに処分等総合調整に関する事。
- (ケ) 資産の評価及び償却に関する事。
- (コ) 金銭及び諸証券の出納保管に関する事。

- (サ) 財務諸表の作成に関する事。
- (シ) 業務状況の公表及び経理状況の報告に関する事。
- (ス) 不用品の処分に関する事。
- (セ) 資材及び物品の統計に関する事。
- (ソ) 建設業者及び物品納入業者等の指名願に関する事。
- (タ) 建設工事及び物品購入等の指名入札に関する事。
- (チ) 課及び他課の入札に伴う契約に関する事。
- (ツ) 工業用水道事業の前各号経理に関する事。
- (テ) 工業用水道料金の調定、収納及び還付に関する事。
- (ト) その他工業用水道に関する事。
- (ナ) その他総務に関する事。

エ 玖西事業所

- (ア) 玖珂町、周東町地区（以下「玖西地域」という。）の浄水施設の運転、維持管理、保守点検業務委託、修繕、設計及び監督に関する事。
- (イ) 玖西地域の水質管理に関する事。
- (ウ) 玖西地域の施設の巡回及び環境整備に関する事。
- (エ) 玖西事業所所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (オ) 玖西事業所の物品等の購入、保管、修繕及び支出負担行為伺書並びに検収に関する事。
- (カ) 玖西地域の送水管、配水管及び給水施設の維持管理に関する事。
- (キ) 玖西地域の送水管、配水管及び給水施設に係る修繕工事の設計、施工並びに監督に関する事。
- (ク) 玖西地域の工事に係る広報及び統計に関する事。
- (ケ) 玖西地域の管路の集計、調査及び整備に関する事。
- (コ) 玖西地域の管路及び附属設備の管理図面の作成に関する事。
- (サ) 玖西地域の占用及び一時使用に関する事。
- (シ) 玖西地域の埋設物の立会いに関する事。
- (ス) 玖西地域の給水に関する事。
- (セ) 玖西地域の水道メーターの撤去及び取付けに関する事。
- (ソ) 玖西地域の水道メーターの検定有効期間満了に伴う取替えに関する事。
- (タ) 災害時における修繕工事費の調定、徴収及び還付に関する事。
- (チ) 指定給水装置工事事業者の指導に関する事。
- (ツ) 水道不正使用の取締りに関する事。
- (テ) 水道メーター設置場所の環境整備及び保全に関する事。
- (ト) 河川の水質保全に関する事。
- (ナ) その他玖西地域の水道に関する事。

オ 玖北事業所

- (ア) 美和町地区（以下「玖北地域」という。）の浄水施設の運転、維持管理、保守点検業務委託、修繕、設計及び監督に関する事。
- (イ) 玖北地域の水質管理に関する事。
- (ウ) 玖北地域の施設の巡回及び環境整備に関する事。
- (エ) 玖北事業所所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (オ) 玖北事業所の物品等の購入、保管、修繕及び支出負担行為伺書並びに検収に関する事。
- (カ) 玖北地域の送水管、配水管及び給水施設の維持管理に関する事。
- (キ) 玖北地域の送水管、配水管及び給水施設に係る修繕工事の設計、施工並びに監督に関する事。
- (ク) 玖北地域の工事に係る広報及び統計に関する事。
- (ケ) 玖北地域の管路の集計、調査及び整備に関する事。
- (コ) 玖北地域の管路及び附属設備の管理図面の作成に関する事。
- (サ) 玖北地域の占用及び一時使用に関する事。
- (シ) 玖北地域の埋設物の立会いに関する事。
- (ス) 玖北地域の給水に関する事。
- (セ) 玖北地域の水道メーターの撤去及び取付けに関する事。
- (ソ) 玖北地域の水道メーターの検定有効期間満了に伴う取替えに関する事。
- (タ) 災害時における修繕工事費の調定、徴収及び還付に関する事。
- (チ) 指定給水装置工事事業者の指導に関する事。
- (ツ) 水道不正使用の取締りに関する事。
- (テ) 水道メーター設置場所の環境整備及び保全に関する事。
- (ト) 河川の水質保全に関する事。

- (ナ) 簡易水道の統合に関する事。
- (ニ) その他玖北地域の水道に関する事。
- (2) 給水課
 - ア 管理係
 - (ア) 課主管の文書の受発に関する事。
 - (イ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関する事。
 - (ウ) 課専用の公印に関する事。
 - (エ) 課主管の入札に関する事。
 - (オ) 課主管の入札を伴わない契約に関する事。
 - (カ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関する事。
 - (キ) 課主管工事の受託費及び負担金に関する事。
 - (ク) 課所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
 - (ケ) 手数料及び加入金等の収納及び還付に関する事。
 - (コ) 災害時における修繕工事費の徴収及び還付に関する事。
 - (サ) 指定給水装置工事事業者に関する事。
 - (シ) 課主管の広報及び統計に関する事。
 - (ス) 簡易水道統合に伴う負担金等に関する事。
 - (セ) 水道メーターの管理に関する事。
 - (ソ) 水道メーターの流量検査に関する事。
 - (タ) 水道メーターの購入、修理及び検収に関する事。
 - (チ) 水道メーターの検定有効期間満了に伴う取替えに関する事。
 - (ツ) 課の主管事務に関する文書の整理及び保存に関する事。
 - (テ) その他給水に関する事。
 - イ 給水係
 - (ア) 給水管の調査、設計、施工及び監督に関する事。
 - (イ) 工事に係る受託費及び負担金に関する事。
 - (ウ) 給水に係る諸届の受付処理に関する事。
 - (エ) 手数料、加入金、負担金等の調定に関する事。
 - (オ) 給水装置の審査、指導及び検査に関する事。
 - (カ) 給水装置台帳に関する事。
 - (キ) 水道メーターの取付けに関する事。
 - (ク) 指定給水装置工事事業者の指導及び監督に関する事。
 - (ケ) 給水に係る広報及び統計に関する事。
 - (コ) 給水装置所有者の登録及び修正に関する事。
 - (サ) 貯水槽水道の審査及び小規模貯水槽水道台帳に関する事。
 - (シ) 小規模貯水槽水道設置者に対する管理の指導、助言及び勧告に関する事。
 - (ス) 埋設物の立会いに関する事。
 - (セ) 水道不正使用の取締りに関する事。
 - (ソ) その他給水に関する事。
 - ウ 維持係
 - (ア) 送水管、配水管及び給水施設の維持管理に関する事。
 - (イ) 送水管、配水管及び給水施設に係る修繕工事の設計、施工並びに監督に関する事。
 - (ウ) 漏水防止の計画及び調査に関する事。
 - (エ) 指定給水装置工事事業者の指導及び監督に関する事。
 - (オ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
 - (カ) 水道不正使用の取締りに関する事。
 - (キ) 工業用水道事業の前各号に関する事。
 - (ク) 水道メーター設置場所の環境整備及び保全に関する事。
 - (ケ) 水道メーターの撤去及び取付けに関する事。
 - (コ) その他給水に関する事。
 - エ 業務システム室
 - (ア) 使用水量の認定に関する事。
 - (イ) 水道料金等の調定に関する事。
 - (ウ) 水道料金納入通知書等の打ち出しに関する事。
 - (エ) 水道料金の収納確認に関する事。
 - (オ) 米海兵隊岩国航空基地、中国電力株式会社岩国発電所及びJ×日鉱日石エネルギー株式会社麻里布製油所の使用水量の計量並びに水道料金等の請求に関する事。
 - (カ) 水道料金の口座振替に関する事。
 - (キ) 水道料金の口座振替手数料の支払いに関する事。
 - (ク) 和木町の水道料金徴収手数料に関する事。

- (ケ) 下水道料金算定資料提供に係る手数料に関する事。
- (コ) 集合住宅及びこれに類するものの諸届の受付処理に関する事。
- (サ) 工業用水道の使用水量の計量に関する事。
- (シ) コンビニエンスストア収納業務委託に関する事。
- (ス) 水道料金の未収及び未還付の年度未処理等に関する事。
- (セ) 水道料金業務システムによる統計に関する事。
- (ソ) 水道料金業務システムの管理運用及び更新等に関する事。
- (タ) 収納取扱金融機関に関する事。
- (チ) 水道料金等徴収業務受託者の指導及び監督に関する事。
- (ツ) 水道料金に係る捜査関係事項照会等に関する事。
- (テ) 室に属する予備部品等の保管に関する事。
- (ト) 主管事務に関する文書の整理及び保存に関する事。
- (ナ) 水道不正使用の取締りに関する事。
- (ニ) その他給水に関する事。

(3) 配水課

ア 管理係

- (ア) 課主管の文書の受発に関する事。
- (イ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関する事。
- (ウ) 課専用の公印に関する事。
- (エ) 課主管の入札に関する事。
- (オ) 課主管の入札を伴わない契約に関する事。
- (カ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関する事。
- (キ) 課主管工事の受託費及び負担金に関する事。
- (ク) 課主管の用地買収及び補償に関する事。
- (ケ) 課所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (コ) 課主管の広報及び統計に関する事。
- (サ) 管路の集計、調査及び整備に関する事。
- (シ) 管路及び附属設備の管理図面の作成に関する事。
- (ス) 占用及び一時使用の整備に関する事。
- (セ) 埋設物の立会いに関する事。
- (ソ) 課の主管事務に関する文書の整理及び保存に関する事。
- (タ) その他配水に関する事。

イ 配水係

- (ア) 送水管及び配水管施設の維持管理に関する事。
- (イ) 送水管及び配水管施設の計画、調査、工事の設計、施工並びに監督に関する事。
- (ウ) 送水管及び配水管施設の移設並びに受託工事に関する事。
- (エ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (オ) 埋設物の立会いに関する事。
- (カ) 水道不正使用の取締りに関する事。
- (キ) 工業用水道事業の前各号に関する事。
- (ク) その他配水に関する事。

ウ 建設係

- (ア) 給水区域拡大事業に関する事。
- (イ) 由宇地区給水事業に関する事。
- (ウ) 高所地区配水管等改良事業に関する事。
- (エ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (オ) 埋設物の立会いに関する事。
- (カ) その他配水に関する事。

エ 管路耐震係

- (ア) 送水管及び配水管施設の耐震化事業計画、調査、工事の設計、施工並びに監督に関する事。
- (イ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (ウ) 埋設物の立会いに関する事。
- (エ) 水道不正使用の取締りに関する事。
- (オ) その他配水に関する事。

(4) 浄水課

ア 管理係

- (ア) 課主管の文書の受発に関する事。
- (イ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関する事。
- (ウ) 課専用の公印に関する事。
- (エ) 課主管の入札に関する事。
- (オ) 課主管の入札を伴わない契約に関する事。
- (カ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関する事。
- (キ) 課所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (ク) 課に属する予備部品等の保管に関する事。
- (ケ) 課主管の広報及び統計に関する事。
- (コ) 施設の電力量及び電力料金の統計に関する事。
- (サ) 水道週間等の行事に関する事。
- (シ) 既設高台団地引取事業に関する事。
- (ス) 安全衛生に関する事。
- (セ) 浄水施設の環境整備に関する事。
- (ソ) 河川の水質保全に関する事。
- (タ) 課の主管事務に関する文書の整理及び保存に関する事。
- (チ) その他浄水に関する事。

イ 浄水係

- (ア) 浄水施設（工業用水道施設を含む）及び各団地施設の運転、運転記録、維持管理、保守点検委託業務、日常点検整備、修繕並びに設計監督に関する事。
- (イ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (ウ) 排水処理施設の運営管理に関する事。
- (エ) 水処理及び塩素滅菌に関する事。
- (オ) 施設に係る研究及び技術改善に関する事。
- (カ) 各浄水場の薬品の検収及び保管に関する事。
- (キ) 係に属する予備部品等の保管に関する事。
- (ク) 河川の水質保全に関する事。
- (ケ) 交替勤務に関する事。
- (コ) その他浄水に関する事。

ウ 施設係

- (ア) 浄水施設（工業用水道施設を含む）及び各団地施設の改良、更新、整備並びに耐震化事業に関する事。
- (イ) 各施設の工事の設計、施工及び監督に関する事。
- (ウ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (エ) 排水処理施設の運営管理に関する事。
- (オ) 施設に係る研究及び技術改善に関する事。
- (カ) 係に属する予備部品等の保管に関する事。
- (キ) 河川の水質保全に関する事。
- (ク) 簡易水道の統合に関する事。
- (ケ) その他浄水に関する事。

エ 水質係

- (ア) 水質の検査に関する事。
- (イ) 塩素滅菌及び薬品処理の研究並びに指導に関する事。
- (ウ) 薬品の検収及び保管に関する事。
- (エ) 水質に係る広報及び統計に関する事。
- (オ) 水質年報に関する事。
- (カ) 水質の研究調査及び技術改善に関する事。
- (キ) 工業用水道の水質に関する事。
- (ク) 係に属する予備部品等の保管に関する事。
- (ケ) 他の地方公共団体からの水質検査の依頼に関する事。
- (コ) 河川の水質保全に関する事。
- (サ) その他浄水に関する事。

4 防災関係

(1) 防災関係物資等の備蓄状況 (平成25年4月1日現在)

項目	内容	保有数量
車 両	給水車(2m ³)	2 台
	トラック	5 台
給水容器	給水タンク(2,000ℓ)	1 基
	給水タンク(1,000ℓ)	3 基
	給水タンク(300ℓ)	4 基
	ポリ容器(18ℓ)	96 個
	ポリ袋(6ℓ)	890 個
機 材	応急給水装置	1 基
	発電機	10 台
	投光機	10 個
	鉄管切断機	3 台
	電動ネジ切機	5 台
	水中ポンプ	7 台
飲料水	ペットボトル(500ml)	3,600 本

(2) 防災関係機材等



給水車(2トン)
平成19年2月購入



給水車(2トン)
平成24年9月購入

(3) 災害備蓄用ペットボトル水



だいぎんじょう みず
大吟浄の水(500ml)

< 一般販売の開始 >

岩国市水道局では、平成18年から、ペットボトル水(500ml)を災害に備えての備蓄用やPR用として、製造し無料頒布してきました。

岩国市の水道水が安全で安心して飲めるおいしい水であることをPRするとともに、直接蛇口の水を飲むことができる水道の歴史と文化を継承しつつ、水道水をおいしく飲んでもらうための啓発活動として、平成25年7月から一般販売を開始しました。

< 商品名の由来 > 平成16年 商標登録

日本酒の大吟醸は有名で、厳選された材料で作られ、おいしい高級酒の代名詞となっていますが、「醸」を「浄」に替え、すみきった、きよらかな、高品質のおいしい水を表現しています。

※岩国市の錦川の水を錦見浄水場で浄水した水道水を原料とし、活性炭処理及び熱処理により、味をまろやかにした飲用水です。

< 販売場所 >

岩国市内の下記販売所および水道局で販売しています。

販売価格 1本(500ml)100円～130円程度(販売所によって異なります)

- ・岩国錦帯橋空港 SkyShopアイアイ
- ・錦帯橋バスセンター2F 橋の駅 展望市場
- ・潮風公園 みなとオアシスゆう
- ・レイクプラザ やさか
- ・岩国市役所1F売店 (平成25年7月現在 順不同)

また、水道局での販売は箱単位となります。

1箱(24本)2400円(税込)

※宅配の場合は全国一律送料込3400円(税込)

平成24年度 岩国市水道事業年報

平成25年11月 発行
発行 岩国市水道局 総務課

〒740-0022 山口県岩国市山手町四丁目4-14

電 話 0827-22-3711

F A X 0827-22-0822

E - mail soumu.water@city.iwakuni.lg.jp

ホームページ <http://waterworks.city.iwakuni.lg.jp/>